

1470迄 (1502件)

- 1451年-08:00|インドネシア| |||<即位>マジャパヒト王国国王「ラジャスワラタナ」(~1453年)
- 1451年-05:30|インド| |||<即位>グジャラート・スルタン朝アフマト・シャー2世(~1458年)
- 1451年-05:30|インド| |||ハフル・ローデイガデー朝(~1526)を創始<即位>ローデイ朝初代スルタン:ハフル・ローデイ(~1489年)
- 1451年-05:30|インド| |||ポーチ国カミールのスルタンがヒンドゥー教の王を打倒
- 1451年-04:00|ジョージア| |||<設立>アブハジア公国(ミングリアから分離)
- 1451年-04:00|オマーン| |||<即位>ハニ王朝イマム「オマル・ビン・アル・ハッタブ」(~1490年)
- 1451年-03:00|イェメン| |||<即位>ラスール朝スルタン「al-Mu' ayyad Husayn」(~1454年)
- 1451年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<死去>アテネ公「ネオ2世」
- 1451年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<即位>アテネ公「クレール・ジヨルジヨ」(~1454年)、「バルトロメオ・コンタリニ」(~1454年)、「フランチェスコ1世」(~1454年)共同統治
- 1451年-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<就任>セータ卿「ステパン・ギルケウイチ」(⇒1452年、専制君主⇒後、ヴェネツィアの支配下~1465年1月没)
- 1451年-01:00|ドイツ| |||<就任>リュッケン公「ヴァルティスラフ9世」(~1457年)
- 1451年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「アルネリオ・ロウレティッチ」
- 1451年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||ウルホーナ(サラエボ)がオスマン帝国に陥落
- 1451年 00:00|イギリス| |||<就任>サリー=ワレン伯「ジョン・ド・モウブレイ」ノーフォーク公(~14760114死去)
- 1451年1月29日-02:00|エジプト| |||<即位>カイロ・アッハース朝カリフ「カーイム」(~1455年)
- 1451年1月29日 00:00|ホルガール| |||<就任>ホルガール公(王位継承者)「ジヨアン」(~2月夭折)
- 1451年2月-05:30|インド| |||<死去>ムファリド朝スルタン「Muhammad Shah2世」
- 1451年2月-05:30|インド| |||<即位>ムファリド朝スルタン「Ahmad Shah2世」(~1458.5死去)
- 1451年2月 00:00|ホルガール| |||<死去>ホルガール公(王位継承者)「ジヨアン」
- 1451年2月 00:00|ホルガール| |||<就任>ホルガール公(王位継承者)「フェルナント」(2度目~14520206)ペーシヤ公・ウァイセウ公
- 1451年2月2日-09:00|日本|愛知県岡崎市|宝徳3年|三河国信光明寺を創建
- 1451年2月2日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|宝徳3年|浄土真宗の芳蘇寺(紺屋町)創建
- 1451年2月2日-08:00|モンゴル| |||明・景泰2年|エセンがモンゴルのトクトフ・ハルーンを暗殺
- 1451年2月3日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第(6)代スルタン「ムラト2世」47歳(誕生1404年)
- 1451年2月3日-02:00|トルコ| |||<復位>オスマン帝国第(7)代スルタン「ムラト2世」(~14810503死去)
- 1451年2月28日-09:00|日本|愛知県北設楽郡設楽町|宝徳3年1月27日|三河国天道社の社殿が建立される
- 1451年3月24日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア、シエナと同盟
- 1451年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「チェッコ・デ・イ・ジヨヴァンニ・ダ・ウァッリ」「シモーネ・デ・イ・アントニオ・ベルツィ」
- 1451年4月2日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル7世の王太子ルイ(のちのフランス王ルイ11世)、「サヴォワ(サヴォイア)公国」ルイ・ド・サヴォワの娘シャルロット・ド・サヴォワと再婚
- 1451年4月19日-05:30|インド| |||<即位>ローデイ朝スルタン「ハフル・ローデイ」(~14890712死去)
- 1451年5月1日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|宝徳3年4月|摩訶耶寺(三ヶ日町)仁王門成就
- 1451年5月12日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア、フォルリの君主カステラフィを保護下に入れる
- 1451年5月30日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ベグ=王「ヒンニャ・ワル」
- 1451年5月30日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ベグ=王「ヒンニャ・チャン」(~1453年6月没)
- 1451年6月-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<死去>ティムール朝アミール「アフドゥッラー」反乱を起こしたアフ=サイト°に敗れ処刑された
- 1451年6月-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝アミール「アフ=サイト°」(~14690208死去)
- 1451年6月10日-09:00|日本|愛媛県|宝徳3年5月11日|小早川盛景ら伊予国に出陣し20余か所の城を攻略
- 1451年6月19日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス軍、フランス西南部のホルド°を占領
- 1451年7月10日 00:00|イギリス| |||<就任>ロス公(スコットランド王位の法定推定相続人)「ジェームス・スチュワート」(~14600803ジェームス3世として即位)
- 1451年7月24日-09:00|日本|愛媛県|宝徳3年6月26日|小早川盛景ら伊予国の合戦で勝利を得る
- 1451年8月2日-01:00|ルクセンブルグ| |||<即位>ルクセンブルク公「ラティスラウス・ホストゥムス」エリザベト1世の息子(~14571123死去)
- 1451年8月20日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス軍、フランス西部のハインヌを制圧/全ギユイヌがフランス王シャルル7世の支配下に入る
- 1451年8月26日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・景泰2年8月|李氏朝鮮の鄭麟趾(テイリンジ)らによって「高麗史」成る
- 1451年9月25日-09:00|日本|京都府京都市|宝徳3年9月|京都で土一揆蜂起
- 1451年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ニコロ・デ・ミケリノ」「ハロ・デ・イ・アンジエロ・デ・イ・シオリ」
- 1451年10月4日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナニ=シュテッティン公「ヨアヒム1世若公」
- 1451年10月15日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ボグダン2世」
- 1451年10月15日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ビョートル4世アロン」(1回目~14520224)
- 1451年10月25日-09:00|日本|長野県|宝徳3年10月|<交替>信濃国守護「小笠原光康」⇒「小笠原持長」(~享徳元年(1452)12月)
- 1451年10月25日-09:00|日本|奈良県|宝徳3年10月1日|大和土一揆徳政を求めて奈良に攻め入り元興寺、興福寺大乗院を焼く
- 1451年11月7日-09:00|日本|奈良県|宝徳3年10月14日|奈良に徳政一揆起こる

1470迄 (1502件)

- 1451年11月10日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ベネチア共和国、教皇よりラヴェンナを領土に受け取る
- 1451年11月19日-09:00|日本/中国| ||<即位>宝徳3年10月26日|幕府僧允澎等を明に遣わす
- 1451年11月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<即位>朝鮮国領議政「皇甫仁」(~14531110)
- 1451年11月22日-09:00|日本|京都府京都市|宝徳3年10月29日|足利義成が学問所を北小路の邸につくる
- 1451年12月15日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>(~19日)ポズナニウのヨハン・ストラスブルグ「ハルニム8世若公」
- 1451年12月21日-09:00|日本|愛知県|宝徳3年11月28日|<死去>尾張国海東郡・智多郡守護「一色教親」
- 1451年12月21日-09:00|日本|愛知県|宝徳3年11月28日|<任命>尾張国知多郡守護「一色義遠」
- 1451年12月21日-09:00|日本|三重県|宝徳3年11月28日|<死去>伊勢北半国守護・志摩国守護・丹後国守護「一色教親」⇒「一色義直」(~応仁元(1467)年3月)
- 1452年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「トクトア・ブハ(タイシ・ハーン)」殺害される
- 1452年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「アクハルジ」(~同年没)
- 1452年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国ハン「カスィム」カザン・ハン国のマムトゥの弟(~1469年死去)
- 1452年-02:00|トルコ| |||<即位>アイユーブ朝(ヒン・カイファ)アミール「Kamil Ahmad2世」(~1455年)
- 1452年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウクライニ公「シウ・イトリカ・イラ・アルキルダ・イテイス」ハルイチ・ウクライニ戦争の結果、リトニア大公国の領土となり、自治権を失ってウクライニ県に改められた
- 1452年-01:00|アルバニア/イタリヤ| |||<即位>ウエネツィアのデューラツツ執達吏・長官「モイセ・スリアノ」(2度目~1454年)
- 1452年-01:00|ポーランド| |||<即位>ピトム公「ホレスワフ3世」(~10.4死去)
- 1452年 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<死去>ラ・コメロ伯「Hernan Peraza "el Viejo"」
- 1452年 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<即位>ラ・コメロ伯「Hernan Peraza "el Joven"」(~1488年)
- 1452年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<即位>アゾレス島・コルヴォ島長官「Diogo de Teive」(~1472年)
- 1452年1月22日-09:00|日本|静岡県磐田市|宝徳4年|川僧慧濟、萬世山一雲齋(豊岡村野辺)を創建
- 1452年1月22日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|宝徳4年|福島伊賀守善忠・石上氏、石叟円柱(福島伊賀守家臣3浦佐渡の兄弟)開山に、久住山洞慶院(静岡市羽鳥)開基
- 1452年1月22日-08:00|中国/ベトナム| ||明・景泰3年:大越・太和10年|チャンパ(占城国)国王摩訶貴由が明の景泰帝によって占城王に封ぜられた
- 1452年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・太和10年|<即位>チャンパ王「摩訶貴來」
- 1452年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・太和10年|<即位>チャンパ王「摩訶貴由」(~1458年死去)
- 1452年2月6日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル公(王位継承者)「ジョナ」(~14550303)
- 1452年2月22日 00:00|イギリス| |||<死去>アグオンテール伯・ダグラス伯「William Douglas」スターリング城でスコットランド王ジェームズ2世に殺害される
- 1452年2月22日 00:00|イギリス| |||<即位>アグオンテール伯・ダグラス伯「James Douglas」(1455年剥奪~1488年死去)
- 1452年2月22日-09:00|日本| ||宝徳4年2月2日|<死去>飛鳥井雅世(63歳)権中納言、歌人
- 1452年2月24日-02:00|ルーマニア| |||<即位>モルダヴィア総督「アレクサンドル2世」(2回目~14540822)
- 1452年3月6日 00:00|イギリス| |||<即位>リッチモンド伯「エドマント・テューダー」イングランド王ヘンリー7世の父(~14561103死去)
- 1452年3月16日-01:00|ドイツ/イタリヤ/オーストリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝「フリードリヒ3世」ドイツ王・イタリヤ王・オーストリア大公(~14930819死去)
- 1452年3月24日-09:00|日本|愛媛県|宝徳4年3月3日|これより先、伊予国の戦闘、守護方の勝利で終熄
- 1452年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<即位>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・ダントロ・サンマリタニ」「アントレ・デ・イ・チッコ」
- 1452年4月19日-01:00|イタリヤ| |||ウエネツィアがミラノに宣戦布告
- 1452年5月16日-01:00|イタリヤ| |||ウエネツィアがフィレンツェに宣戦布告
- 1452年5月18日-01:00|イタリヤ| |||<昇格>フェラーラ・モデナ・レッジョ侯「ホルツ」⇒モデナ・レッジョ公・フェラーラ侯(⇒14710412フェラーラ・モデナ・レッジョ公~14710820死去)
- 1452年5月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ侯「Sigismund2世」
- 1452年6月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰3年5月14日|<死去>李氏朝鮮国王「文宗」健康悪化のため/数え39歳(誕生1414年)
- 1452年6月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰3年5月14日|<即位>李氏朝鮮国王「端宗」(~14550611退位)
- 1452年6月12日 00:00|イギリス| |||<即位>初代エール伯「ウィリアム・ヘイ」(~1462.10死去)
- 1452年7月5日-09:00|日本|京都府京都市左京区|宝徳4年6月18日|南禅寺再建
- 1452年7月9日-09:00|日本|長崎県対馬市|宝徳4年6月22日|<交替>対馬国守護「宗貞盛」⇒「宗成職」(~応仁元(1467)年死去)
- 1452年7月17日-01:00|フランス/イギリス| |||<ステイションの戦い>仏軍、キューエンヌを奪回
- 1452年7月17日-09:00|日本|香川県綾歌郡宇多津町|享徳1年7月|宇多津本妙寺開創
- 1452年8月10日-09:00|日本| ||享徳1年7月25日|「享徳」に改元
- 1452年8月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<即位>アイルランド副王代行「キャスルマーティンのエドワード・フィッツユースタス」(~1453年6月)
- 1452年9月1日-01:00|チェコ| |||ポーミア、ホルムが占領され、内戦が終結
- 1452年9月6日-09:00|日本|兵庫県神戸市|享徳1年8月23日|幕府、摂津国兵庫の新聞を撤廃
- 1452年9月14日-09:00|日本|福井県|享徳1年間8月|若狭で一色牢人が徳政一揆と結んで蜂起
- 1452年9月24日 00:00|チャンル諸島/イギリス| |||<即位>イギリス王領ジャージー-島守護者「John Nanfan」(1期目~1457年)
- 1452年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<即位>サンマリノ共和国執政「チッコ・デ・イ・ジョアンニ・ダ・ウァッレ」「シモネ・デ・マリノ・デ・イ・シヨアンニ」
- 1452年10月4日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「ホレスワフ2世」⇒「シメスワフ2世」単独統治(~1477年)

1470迄 (1502件)

- 1452年10月4日-01:00|ホーランド| |||<死去>ピートル公「ホーレスワ3世」
1452年10月4日-01:00|ホーランド| |||<就任>ピートル公「ウァツワ」(~1459年)
1452年10月7日-09:00|日本|愛媛県東温市|享徳1年閏8月24日|平賀弘宗・小早川盛景ら、重見将監を助けるため、日高城麓に発向し、敵数輩を討取る
1452年10月9日-09:00|日本|福井県小浜市|享徳1年閏8月26日|若狭守護武田氏、遠敷郡太良荘助国名主泉大夫を徳政一揆の加担者として処刑
1452年10月13日-09:00|日本|愛知県|享徳1年9月1日|<死去>越前・遠江・尾張国守護「斯波義健」落馬のため⇒「斯波義敏」が継ぐ(~長禄4(1460)年)
1452年10月17日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランドの「シュルズベリ伯」ジョン・タレット、ホルト-付近に3,000人の武装兵および射手とともに上陸/フランス守備隊はホルト-市民たちにより追い出され、イングランド人たちのために「市の門」が開けられる/フランス南西部がスコニ地方の多くの町が、ホルト-の例に倣って、イングランド人たちを受け入れる
1452年11月23日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ジャスパール・テューター(ヘットフォード公)」(~1461年剥奪)
1452年11月26日-09:00|日本|千葉県松戸市|享徳1年10月15日|平賀本土寺焼失
1452年12月18日-01:00|フランス| |||<死去>オマル伯「John5世」
1452年12月18日-01:00|フランス| |||<就任>オマル伯「Antoine」Maryと結婚(~14580322死去)
1452年12月26日-09:00|日本|京都府京都市|享徳1年11月16日|<任命>室町幕府管領「細川勝元」(~寛正5(1464)年9月12日)
1453年-05:30|インド| |||<即位>サマ朝スルタン「Jam Sanjar」(~1461年)
1453年-03:30|イラン| |||<即位>ハダス・ニコ朝君主「Kayumarth2世」(~不詳)、(Nur)君主「Ka'us2世」(~1467年)、(Kojur)君主「Eskandar4世」(~1476年)
1453年-02:00|ギリシャ| |||<死去>ナクス公「ジャン・ジャコモ」
1453年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ベネット・ウイットリ」(~1456年)
1453年-02:00|ギリシャ| |||<就任>ナクス公「グレゴリオ2世」(~1463年)
1453年-02:00|トルコ/イラン| |||<即位>白羊朝スルタン「ウスン・ハサン」(~14780106)
1453年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||マニは事実上オスマン帝国のモリアの一部
1453年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「ラズロー・フニャチ」(~1457年)
1453年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ニールス・エリクセン・ギルテンストイエルネ」(~1456年)
1453年-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「ヴァロワ家シャルル7世」(~1461年)
1453年-01:00|スペイン| |||<即位>グナタ王国ナル朝アミール「ムハンマド11世」(~1454年死去)
1453年 00:00|イギリス| |||<就任>14代マー伯(デ・ジュリ)「トマス・アースキン」(~1494年死去)
1453年 00:00|ホルトガル| |||<就任>ヘーシヤ公「フェルナント」(~14700918死去)トウアル1世の息子、ウイェウ公
1453年1月6日-01:00|オーストリア| |||神聖ローマ皇帝フリードリヒ3世が、1359年にルドルフ4世が偽造した「大特許状」を確認し、オーストリアを大公国に昇格させる
1453年1月10日-09:00|日本|長野県|享徳1年12月|<交替>信濃国守護「小笠原持長」⇒「小笠原光康」と続く(~寛正2(1461)年11月)
1453年1月10日-08:00|中国| ||明・景泰3年12月|明の于謙が団營を編成し、北京の軍制を改革
1453年2月-02:00|エジプト| |||マムルーク朝スルタン・ジャマク没、国家財政の危機が深刻化
1453年2月1日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「マンスール・ウスマン」(~3.15廃位)
1453年2月1日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<退位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ザーヒル・ジャマク」
1453年2月9日-09:00|日本|京都府京都市北区|享徳2年|真珠庵の一休和尚像できる
1453年2月9日-09:00|日本|静岡県湖西市|享徳2年|延兼山妙立寺(吉美)4世日栄、法蔵坊を開基して閑居
1453年2月9日-09:00|日本|鳥取県|享徳2年|<交替>伯耆国守護「山名教之」隠居⇒「山名豊之」(~文明3年9月18日(14711031)死去)
1453年2月9日-09:00|日本|鳥取県|享徳2年|<死去>因幡国守護「山名熙高」⇒「山名熙幸」が継ぐ(~長禄3年4月14日(14590525)死去)
1453年2月9日-08:00|中国| ||明・景泰4年|北京で大興福寺が建立(大興隆寺のむこうをはって建立された北京の名刹)
1453年2月28日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「ジャン2世」ルネ1世とイザベルの息子(~14701216死去46歳)
1453年3月15日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・イーナル」(~14610226死去)
1453年3月15日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<廃位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「マンスール・ウスマン」
1453年4月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「アーマ大司教ジョン・メイ」(~14540423)
1453年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・デ・アントニオ・ベルツィ」
1453年4月9日-09:00|日本|青森県|享徳2年3月|安藤康季が引根城で病死
1453年4月20日-09:00|日本|奈良県奈良市|享徳2年3月12日|鬼蘭山城の戦いで筒井尊覚が討死
1453年5月9日-08:00|モンゴル| ||明・景泰4年夏|オイラートのイェン、大元天聖大可汗と称し、添元と改元(~1461)
1453年5月26日-09:00|日本|沖縄県|享徳2年4月18日|<死去>琉球国王「尚金福」(56歳、応永5(1398)生)
1453年5月26日-09:00|日本|沖縄県|享徳2年4月18日|<即位>琉球国王「尚泰久」(~1460年死去)
1453年5月29日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<死去>コニア帝国皇帝「コンスタンティノス11世パレオロガス・ドラカセ」乱戦の中で戦死。東ローマ帝国は滅亡
1453年5月29日-02:00|トルコ| |||オスマン帝国第7代スルタンのムフメト2世軍がコンスタンティノポリスを攻略、イスタンブールに改名し、首都とする

1470迄 (1502件)

- 1453年6月-06:30|ミャンマー| |||<死去>ペーゲ王「ヒンヤー・チャン」
- 1453年6月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペーゲ王「レイク・ムントウ」(~1454年1月没)
- 1453年6月5日-09:00|日本|京都府京都市|享徳2年4月28日|<就任>関白「二条持通」(~享徳3年6月30日)
- 1453年7月4日-09:00|日本|愛媛県|享徳2年5月28日|<交替>伊予国守護「河野教通」⇒「河野通春」(~享徳4 (1455) 年12月29日)
- 1453年7月10日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ザガノス・パシャ」(~1456年)
- 1453年7月17日-01:00|フランス/イギリス| |||フランスのカティオンでのフランス軍とイングランド軍の戦いで、フランスが勝利しイングランド軍が一部を除いて退却/116年続いた英仏戦争が終結
- 1453年7月17日 00:00|イギリス| |||<死去>ウォーターウオード伯「ジョン・オブ・ト」
- 1453年7月17日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリー伯「ウォーターウオード伯「ジョン・オブ・ト」先代の息子」(~14600710戦死)
- 1453年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|享徳2年6月13日|<改名>「足利義成」⇒「足利義政」(18歳)
- 1453年7月23日-01:00|フランス| |||ブルゴニュ公フィリップが、ガールでガンの反乱軍を鎮圧
- 1453年9月 00:00|イギリス| |||<死去>4代ウオード伯「アレクサンダー・リンゼー」
- 1453年9月 00:00|イギリス| |||<就任>5代ウオード伯「デヴィッド・リンゼー」(⇒14880518兼初代モントローズ公~14881017剥奪⇒14890919兼初代モントローズ公~14951225死去)
- 1453年9月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰4年8月|<癸酉靖難>朝鮮で幼い国王の叔父にあたる首陽大君(のちの世祖)が、皇甫仁、金宗瑞らの顧命大臣を殺害して政権を奪取/文宗を廃して瑞宗を即位させる
- 1453年9月6日-09:00|日本|京都府京都市北区|享徳2年8月4日|大徳寺焼亡
- 1453年9月12日-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「エセン・ハーン」(~添元2年8月没)
- 1453年9月27日-01:00|フランス/イギリス| |||ガイヤック守備隊は8日間の重砲攻撃に絶えたが無条件降伏
- 1453年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メンギーノ・デ・フランチェスコ・カルチーニ」(フィリップ・デ・アントニオ・マドローニ)
- 1453年10月12日-09:00|日本| ||享徳2年9月10日|<死去>承道法親王(46歳)木寺宮世平王の王子、真言宗の僧
- 1453年10月13日-01:00|トイ| |||<死去>パーテン＝パーテン辺境伯「ヤコブ1世」
- 1453年10月13日-01:00|トイ| |||<就任>パーテン＝パーテン辺境伯「カール1世」(~14750224死去)、「ヘルハルト2世」(~14580715死去)
- 1453年10月13日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「エドワード」ハノーリ6世の子(~14710504死去)
- 1453年10月19日-01:00|チェコ| |||<就任>ホーミア摂政「クシュタートとホジェフ・ラディのジョージ」国家管理者(2期目~14580507)
- 1453年10月19日-01:00|チェコ| |||<即位>ホーミア王・モラヴィア辺境伯「ラジスラフ・ボボク」(ハンガリー王・オーストリア公「ラースロ5世」~14571123死去)
- 1453年10月19日-01:00|フランス/イギリス| |||再度包囲されたフランス西南部のポルトーがフランス軍に降伏/フランス北部のカーエのぞく全フランスからイングランド軍が駆逐される/「百年戦争」が終結
- 1453年11月9日-09:00|日本|青森県|享徳2年10月9日|安藤義季、引根城の峰続きに狼倉(オノクラ)楯を築き旗揚げ後、南部軍に責められ落城、自決
- 1453年11月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李ジユウ」(~14550725)
- 1454年-05:30|インド| |||ガジヤパティ朝がウジャヤガルを攻めコンダグイトウを獲得
- 1454年-04:00|ロシア| |||<即位>リュリスキ公「イヴァン・トミリウイチ」(~1471年)
- 1454年-03:00|ペラルーシ| |||<死去>スルツク公「アレクサンドロス・オルカ」
- 1454年-03:00|ペラルーシ| |||<即位>スルツク公「マイコラス・オルカイチ」(~14810830死去)
- 1454年-03:00|イェメン| |||<即位>タヒト・スルタン「Az-Zafir Amir1世」(~1460年)
- 1454年-02:00|ギリシャ| |||<死去>アテネ公「クレル・ジヨルジョ」
- 1454年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「セメン」(~1471年)
- 1454年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ノヴゴロド・セヴェルスキー公「イワン・セミアキン」(~1471年以降)
- 1454年-01:00|トイ| |||<死去>アーレンベルク伯「エーハート2世」
- 1454年-01:00|スペイン| |||<死去>グナタ王国ナール朝アミール「ムハンマド11世」
- 1454年-01:00|トイ| |||<就任>アーレンベルク伯「ヨハン」(~1480年)
- 1454年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「マルコ・デ・イェト」(~1455年)
- 1454年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Carlo di Paterno」(~1455年)
- 1454年-01:00|クロアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のハンウルク2世「フェリスキ」(~1456年)
- 1454年-01:00|ポーランド| |||<就任>レグニツァ公「フレデリック1世」(~14880509死去)
- 1454年-01:00|スペイン| |||<即位>グナタ王国ナール朝アミール「サート」(~1462年)
- 1454年-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルビツァ大公「ジヤネ・ジヤニッチ」
- 1454年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「オークニーとケイスネス伯爵ウィリアム・シンクレア」(~1456年)
- 1454年 07:00|メキシコ| |||<即位>タラスカ王「ツイツィパングアレ」(~1479年)
- 1454年1月-06:30|ミャンマー| |||<死去>ペーゲ王「レイク・ムントウ」
- 1454年1月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペーゲ王「シンソープ」(~1471年1月没)
- 1454年1月29日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|享徳3年|良全・良賢、根本中堂を再興し、寺号を真言宗般若院から龍宮山山岩水寺(根堅)に改める
- 1454年1月29日-09:00|日本|静岡県浜松市東区|享徳3年|曹洞宗寺院で広沢山普濟寺(広沢町)末の竜泉寺(飯田町)創建

1470迄 (1502件)

- 1454年1月29日-08:00|モンゴル| ||明・景泰5年|オライトのエンが部下によって殺される
1454年1月29日-07:00|ベトナム| ||大越・延寧1年|大越・延寧と改元(-1459)
1454年3月-03:00|イェメン| ||アデンのターヒル朝がラスル朝を滅ぼす
1454年3月16日-09:00|日本|長崎県壱岐市|享徳3年2月17日|新庄村中津宮[北触]を造営し遷宮
1454年3月22日 00:00|イギリス| ||<死去>イングランド 連邦大法官「カンタベリー大主教ジョン・ケフ」
1454年3月27日 00:00|イギリス| ||イングランドのヘンリ8世の精神異常のため、ヨーク公リチャードが摂政となる
1454年3月31日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|享徳3年3月3日|尾張国生路郷一結衆ら、同国八剣大明神の社殿を再興
1454年4月-01:00|イタリヤ/トルコ| ||オスマン朝がヴェネツィアと和平協定締結
1454年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメー・アントニオ・テネキ」「シローラモ・デ・フランチェスコ・ベルツツィ」
1454年4月2日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 連邦大法官「ソールズベリー伯リチャード・ベック」(~14550307)
1454年4月3日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 国守護者「ヨーク公リチャード・プランタジネット」(1期目~1455. 2)
1454年4月11日-01:00|イタリヤ| ||ミラノ公国、ヴェネツィア共和国が、ローマの和約を結ぶ
1454年4月23日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「キャッスルマーティンのエドワード・フィッツユースタス」(~10. 25)
1454年4月30日-09:00|日本|富山県富山市|享徳3年4月3日|前管領畠山持国が、弥三郎擁立を企てた家臣の神保越中守国宗を誅殺、弥三郎・政長兄弟は勝元と宗全の下に逃れた
1454年5月8日-01:00|モロコシ| ||<就任>モロコシ領主「カラーノ」(~14570701没)
1454年5月19日-02:00|キプロス| ||<死去>聖ヨハネ騎士団「ランドマスター」「ジャン・ド・ラステック」
1454年5月28日-09:00|日本|兵庫県|享徳3年5月|播磨国赤穂郡中の土一揆
1454年6月1日-02:00|キプロス| ||<就任>聖ヨハネ騎士団「ランドマスター」「ジャック・ド・ミル」(~14610817没)
1454年6月23日-09:00|日本|静岡県掛川市|享徳3年5月27日|遠江国佐野郡法泉寺開山春屋宗能、境内に鎮守社を創め、太神宮・八幡宮・白山社3神を合祀し遷宮式を挙げる
1454年7月6日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年6月11日|山城国で、醍醐・山科の一揆が起こる
1454年7月18日-09:00|日本|千葉県|享徳3年6月23日|<死去>上総・下総国守護「千葉胤将」(41歳)
1454年7月20日-01:00|スペイン| ||<死去>カスティーリヤ国王「ファン2世」
1454年7月21日-01:00|スペイン| ||<即位>カスティーリヤ国王・カスティーリヤ国王「エンリケ4世無能王」(~14741211死去)
1454年7月24日-09:00|日本| ||享徳3年6月29日|<死去>近衛忠嗣(72歳)元関白、左大臣
1454年7月25日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年6月30日|<辞任>関白「二条持通」
1454年7月26日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年7月1日|<就任>関白「鷹司房平」(~享徳4年6月2日)
1454年8月22日-02:00|ルーマニア| ||<再任>モルダヴィア総督「ビョートル4世アロン」(2回目~14550208)
1454年8月24日-08:00|モンゴル| ||明・景泰5年8月|<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「エン・ハン」殺害される
1454年8月30日-01:00|イタリヤ| ||ベネツィア、フィレンツェとミラノ公の25年の同盟は、フィレンツェ、ローマに拮げられる
1454年9月2日-09:00|日本|愛媛県今治市|享徳3年8月10日|越智郡北浦村八幡神社本殿を再興
1454年9月10日-01:00|ポーランド| ||<死去>ワルシャワ公「ボレスワフ4世」兼統一プウォツク公「ウワデ・イスワフ1世」
1454年9月10日-01:00|ポーランド| ||<即位>プウォツク公「カジミェシュ3世」ボレスワフ4世の息子(~1475年)
1454年9月10日-01:00|ポーランド| ||<即位>マゾフシェ公「コンラト3世ルィ赤公」ボレスワフ4世の息子(~15031028死去)
1454年9月10日-01:00|ポーランド| ||<即位>ワルシャワ公・統一プウォツク公「シモヴィト6世」(~14611231死去);統一プウォツク公「ウワデ・イスワフ2世」(~14620227死去)ウワデ・イスワフ1世の息子
1454年9月11日-01:00|イタリヤ| ||ベネツィア、ヴェネツィア・ランツォならびに兄弟の銀行破産
1454年9月13日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年8月21日|畠山弥三郎派が畠山持国の屋敷を襲撃
1454年9月20日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年8月28日|畠山持国は隠居、畠山義就は京都を追われ、足利義政は畠山弥三郎の家督継承者と認めた
1454年9月20日-09:00|日本|北海道|享徳3年8月28日|若狭武田氏一族武田信広が陸奥国大畑より蝦夷国松前に渡航し、松前武田氏(蝦夷蠣崎氏)を興す
1454年9月22日-09:00|日本| ||享徳3年9月1日|<死去>冷泉持為(54歳)権大納言、歌人
1454年9月29日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年9月8日|山城国、京都で、徳政を求めて土一揆が蜂起
1454年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フェッコ・デ・ジョヴァンニ・ダ・ヴァッリ」「フランチェスコ・デ・ジュリアーノ・リギ」
1454年10月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰5年10月|朝鮮で「高麗史」を刊行
1454年10月25日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「キルデア伯爵トマス・フィッツ・エラルド」(1回目~1459年12月)
1454年11月5日-09:00|日本| ||享徳3年10月15日|幕府の遣明船帰る
1454年11月12日-09:00|日本|静岡県浜松市|享徳3年10月22日|遠江国豊田郡羽鳥庄貴平郷平松次郎大夫朝重、遠江国豊田郡赤佐郷般若院根本中堂を再興
1454年11月19日-09:00|日本| ||享徳3年10月29日|幕府が、初の分一徳政令を出す
1454年11月19日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年10月29日|山城に土一揆起こる
1454年12月12日-09:00|日本|福島県|享徳3年11月23日|<享徳地震>会津で強震、奥州海岸に大津波で人が多く流される
1454年12月22日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年12月3日|山城国土一揆、蜂起/一揆衆は東寺金堂を破壊
1454年12月30日-09:00|日本|岡山県|享徳3年12月11日|<交替>備後・安芸国守護「山名持豊」辞任⇒「山名教豊」(~寛正3(1462)年)
1454年12月30日-09:00|日本|兵庫県|享徳3年12月11日|<交替>但馬・播磨国守護「山名持豊」辞任⇒「山名教豊」(~

1470迄 (1502件)

長祿2 (1458) 年11月)

- 1455年-05:30|インド | ||ジヤラル・ハーンがテランガナー地方の王を宣言
- 1455年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン | ||<死去>ジヨチ・ウルス・ハン「Syed Ahmed1世」
- 1455年-04:00|ジョージア | ||<死去>イメレティ公「テムトリウス1世」
- 1455年-02:00|トルコ | ||<即位>アイユーブ朝 (ヒスン・カイファ) アミール「Adil Khalif」 (~1462年)
- 1455年-02:00|ギリシャ/イタリア | ||<即位>アテネ公「フランチェスコ2世」 (~1458年)
- 1455年-02:00|エジプト | ||<即位>カイロ・アッパース朝カフ「ムスタンジド」 (~14790407)
- 1455年-02:00|ウクライナ | ||<即位>ヘルズ公「ウラディスワフ2世」 (~1462年以降、ポーランド王国に併合)
- 1455年-02:00|ルーマニア/セルビア/トルコ | ||オスマン朝メフメト2世がセルビアに再遠征し、モルダヴィアを属国化
- 1455年-01:00|アルバニア/イタリア | ||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「フランチェスコ・バルバ」 (~1460年)
- 1455年-01:00|マルタ/イタリア | ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Nardo de Bordino」 (~1456年)
- 1455年-01:00|ポーランド | ||<即位>プロウツク公「シモウイト6世」 (~14611231), 「ウラディスワフ2世」ウラディスワフ1世の息子 (~14620227)
- 1455年-01:00|ドイツ | ||ゲーテンベルグが印刷機を発明し聖書を印刷
- 1455年 00:00|イギリス | ||<死去>初代オモンド伯「ヒュー・ダグラス」没収
- 1455年 00:00|モリタニア/ポルトガル | ||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ソエロ・メンデス・デ・エウオラ」 (~1461年頃)
- 1455年 00:00|イギリス | ||<喪失>5代マリ女伯「エリザベス・ダンパー」 (~1485年死去)
- 1455年 00:00|イギリス | ||<剥奪>アヴォンテール伯「ダグラス伯」James Douglas (~1488年死去)
- 1455年 00:00|イギリス | ||イングランドでランカスター家とヨーク家の王位争い、バラ戦争に突入
- 1455年-08:00|モンゴル | ||<即位>モンゴル帝国 (北元) 皇帝「マルコク・スウケト・ハン」 (~1465年没)
- 1455年1月1日-09:00|日本|京都府京都市|享徳3年12月13日|畠山義就が軍勢を率いて上洛して弥三郎は逃走、再び義就が家督継承者となった
- 1455年1月15日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|享徳3年12月27日|<死去>関東管領・上野・武蔵・伊豆国守護「上杉(山内)憲忠」第5代鎌倉公方足利成氏に西御門にある御所に招かれ謀殺される (享徳の乱) =>「上杉(山内)房顕」が継ぐ (~寛正7年2月12日 (14660226) 死去)
- 1455年1月15日 11:00|日本|神奈川県鎌倉市|享徳3年12月27日|<享徳の乱>夜、里見氏、武田氏等の成氏側近が山内上杉邸を襲撃して長尾実景・憲景父子も殺害/在京していた憲忠の弟房顕は、従弟の越後守護上杉房定 (房朝の従弟で養子) と合流して上野平井城に拠る
- 1455年1月18日-09:00|日本|佐賀県|享徳4年|<任命>肥前国守護「大内教弘」 (~不詳)
- 1455年1月18日-09:00|日本|静岡県磐田市|享徳4年|川僧慧濟、野部道安居士の帰信を受けて、萬世山一雲齋 (豊岡村野辺) 開山
- 1455年1月18日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|享徳4年|曹洞宗寺院で広沢山普濟寺 (浜松市広沢町) 末の新豊院 (浜松市砂山町) 創建
- 1455年1月18日-09:00|日本|静岡県袋井市|享徳4年|仏円、広見山龍珍庵 (久能) を建立
- 1455年1月18日-09:00|日本|島根県|享徳4年|<交替>石見国守護「山名教清」=>「山名持豊」 (~寛正6 (1465) 年)
- 1455年1月18日-09:00|日本|福井県大野市|享徳4年|<建立>「洞雲寺」斯波氏被官二宮将監により
- 1455年1月18日-07:00|ベトナム | ||大越・延寧1年|ファン・フウ・ティエン (藩学先) に命じて「大越史記続編」を編纂させる (チャン・タイ・トから明の撤進まで)
- 1455年1月23日-09:00|日本|神奈川県平塚市|享徳4年1月6日|上杉持朝は成氏の留守に鎌倉を奪おうとして出陣したものの、相模国島河原で鎌倉の留守を守っていた武田信長の迎撃にあって敗退
- 1455年1月26日-01:00|パチン/イタリア | ||ベネチア、アルフォンソ・ダ・ラゴーナ及び教皇が同盟を結ぶ
- 1455年1月28日-09:00|日本|京都府京都市上京区|享徳4年1月11日|相国寺大智院焼失
- 1455年2月2日-09:00|日本 | ||享徳4年1月16日|<死去>宗砌 (不明) 連歌師
- 1455年2月2日-09:00|日本|静岡県浜松市|享徳4年1月16日|旱魃や、幕軍による関東足利成氏討伐の為に守護より過分の野伏兵糧米・関東夫の徴発の強行により、浜松庄引馬の土倉 (高利貸業者) に財物を入質していた諸公文名主 (蒲御厨検校一族藤田孫衛門・河井隼人・河井孫六・河井藤五郎・河井刑部・西須賀四郎ら6人) と、作物の種子・保有米を引馬の土倉に質入して窮迫した平百姓が、貸借関係を棒引きにする為引馬の土倉を襲撃した土一揆
- 1455年2月7日-09:00|日本|東京都府中市|享徳4年1月21日|<分倍河原の戦い>府中近郊に結集した上杉軍は2000騎の兵で高安寺に攻め寄せますが、成氏軍は分倍河原に500騎で討って出、先鋒の上杉憲秋は手前の立河原で致命傷を負い高幡不動で自害
- 1455年2月8日-02:00|ルーマニア | ||<再任>モルダヴィア総督「アレクサンドル2世」 (2回目 ~3. 25 死去)
- 1455年2月8日-09:00|日本|東京都府中市|享徳4年1月22日|<分倍河原の戦い>上杉顕房らは新手の500騎をもって分倍河原に進撃/緒戦で上杉軍先鋒の大石房重らが討たれたものの、成氏軍にも多くの犠牲が出たため一進一退。そこへ、結城成朝らの軍勢が上杉軍に襲いかかったために上杉軍は後退をはじめ、更に相模への退路も絶たれたために上杉軍は東に向かって潰走
- 1455年2月10日-09:00|日本|神奈川県|享徳4年1月24日|<死去>相模国守護「上杉顕房」分倍河原の戦いで敗れ、自害 =>「上杉持朝」が復帰 (~応仁元年9月6日 (14671004) 死去)
- 1455年2月10日-09:00|日本|東京都三鷹市|享徳4年1月24日|結城成朝率いる成氏軍に武蔵夜瀬で包囲された上杉顕房・藤朝は自害して果て、難を逃れた長尾景仲は残った軍をまとめて辛うじて常陸国小栗城まで落ち延びた
- 1455年2月17日-09:00|日本|石川県|享徳4年2月|<交替>能登国守護「畠山義忠」隠居 =>「畠山義統」 (~明応6年 (1497) 8月20日)
- 1455年2月17日-09:00|日本|茨城県筑西市|享徳4年2月|足利成氏方の岩松持国が上杉方の深須・赤堀・大胡各氏を

1470迄 (1502件)

- 攻撃/赤堀時綱が善信濃入道を襲って撃破/常陸国小栗城が落城、上杉房顕・長尾景仲らは下野国(足利市)只木山に拠る
- 1455年2月18日-01:00|イタリヤ| |||<死去>伊の画家フエ=アンジ エリコ/作品は全て宗教画
- 1455年2月23日-01:00|ドイツ| |||ドイツのヨハネ・ゲーテンベルクによる最初の印刷聖書「ゲーテンベルク聖書」が完成
- 1455年3月3日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ジヨアン」(1度目~14771111)
- 1455年3月7日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「カンタベリー大主教トマス・ハウチャー」(~14561011)
- 1455年3月24日-01:00|バチカン| |||<死去>第208代ローマ教皇「ニコラス5世」/57歳(誕生13971115)バチカン図書館を創立した
- 1455年3月25日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「アレクサンドル2世」
- 1455年3月25日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ピョートル4世アロン」(3回目~14570412)
- 1455年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・デ・アントニオ・ベルツィ」 「アントレ・デ・イ・チェッコ」
- 1455年4月6日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|享徳4年3月20日|公方側の原胤房が管領側千葉宗家の千葉城を攻略/千葉介胤直、その子胤宣は、香取郡多古に逃げ、志摩城、多古に拠る
- 1455年4月8日-01:00|バチカン| |||<就任>第209代ローマ教皇「カリストゥス3世」(~14580806死去)
- 1455年4月12日-09:00|日本|大阪府|享徳4年3月26日|<死去>河内・紀伊・越中・山城国守護「畠山持国」(58歳)元管領⇒「畠山義就」が継ぐ(~長祿4(1460)年9月16日解任)
- 1455年4月14日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|享徳4年3月28日|<任命>関東管領「上杉房顕(山内)」(~文正1(1466)年2月12日死去)
- 1455年4月14日-09:00|日本|群馬県|享徳4年3月28日|<任命>上野国守護「上杉房顕(山内)」(~文正1(1466)年2月12日死去)
- 1455年4月17日-09:00|日本|愛媛県松山市|享徳4年4月1日|明神原正慶、金剛力士像を大宝寺に奉納
- 1455年4月22日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|享徳4年4月6日|古河公方成氏方の野田持忠が那波郡富塚城攻め、上州一揆の小柴刑部左衛門尉を討ち取る
- 1455年5月17日-09:00|日本|茨城県筑西市|享徳4年閏4月|小栗城が古河勢によって落城/敗残兵が足利に逃げ込み「天命・只木山の陣」を構築
- 1455年5月22日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「エドマント・ホーフォート」
- 1455年5月22日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーサンバラント伯「ヘンリー・パーシー」
- 1455年5月22日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「ヘンリー・ホーフォート」(~14611104剽奪)
- 1455年5月22日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーサンバラント伯「ヘンリー・パーシー」2代伯の子(~14610329戦死没収)
- 1455年5月22日 00:00|イギリス| |||<セント・オールバンスの戦い>イギリス、ヨーク家がランカスター家と王位の譲り渡しをめぐるロンドン北郊のセント・オールバンスで戦い、ヨーク家が勝つ(ハウ戦争)
- 1455年5月25日 00:00|ポルトガル| |||<就任>初代グイラウメス侯「フェルナンド1世」アフォンソ1世の次男(~14780401死去)
- 1455年6月25日-09:00|日本|山梨県|享徳4年5月11日|<死去>甲斐国守護「武田信守」⇒嫡男「武田信昌」が継ぐ(~明応元(1492)年隠居)
- 1455年6月26日-09:00|日本|岡山県|享徳4年5月12日|山名宗全、教豊父子が備前で赤松則尚を破る/則尚は備前に逃亡して鹿久居島で自害
- 1455年7月15日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|享徳4年6月|上杉派の宇都宮等綱が成氏に居城の宇都宮城を包囲され、成氏に寝返った重臣達に追放され流浪、息子の明綱は降伏して成氏に従った
- 1455年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|享徳4年6月5日|<就任>関白「二条持通」(~長祿2年12月)
- 1455年7月25日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭麟趾」(~14580303)
- 1455年7月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰6年閏6月11日|<即位>李氏朝鮮国王「世祖」(~14680922退位)
- 1455年7月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰6年閏6月11日|<廃位>李氏朝鮮国王「端宗」
- 1455年7月30日-09:00|日本|茨城県古河市|享徳4年6月16日|足利成氏は鎌倉に戻るのを断念して下総古河へ逃れ、以後古河公方を称す(~明応6年9月30日(14971025)死去)
- 1455年7月30日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|享徳4年6月16日|今川範忠の軍勢が幕府と対立する鎌倉公方の本拠を攻め占領
- 1455年8月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「マリク・ウル=アデイル・ブン=ムハンマド・ブン=ハラット」(~14970909死去)
- 1455年8月14日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|享徳4年7月2日|<第一次筒井城の戦い>畠山義就軍は筒井城を攻城し、弥三郎方の成身院光宣、筒井順永兄弟は防戦したが緒戦で敗北
- 1455年8月17日-09:00|日本| ||享徳4年7月5日|<死去>堯孝(65歳)僧、歌人
- 1455年9月6日-09:00|日本| ||康正1年7月25日|「康正」に改元
- 1455年9月23日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|康正1年8月12日|妙光寺に逃れていた千葉胤直の嫡子・胤宣も自刃して果てた
- 1455年9月25日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|康正1年8月12日|志摩城落城/常陸大掾親子、円城寺下野妙城、壺岐守妙臺、日向守妙向、狩野日向朗典らが討死
- 1455年9月26日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|康正1年8月15日|<死去>千葉胤直(37歳/元下総守護)馬加康胤・原胤房に攻められ、自害
- 1455年9月30日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|康正1年8月19日|<第一次筒井城の戦い>畠山義就、越智伊予守連合軍の攻撃で筒井城、箸尾城、片岡城が落城。成身院光宣、筒井順永兄弟は福住城へ落ち延びた
- 1455年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・ダントロ・サマリターニ」 「バルトロ・デ・イ・ジョヴァンニ・デ・イ・ガザリ」
- 1455年10月17日-09:00|日本|茨城県古河市|康正1年9月7日|胤直の弟・千葉賢胤(中務大輔)は遂に自刃して小堤

1470迄 (1502件)

城落城/胤直・胤宣の死によって、常胤以来の千葉介嫡流は断絶

- 1455年11月-01:00|ベルギー-| |||<退任>リエージュ公「ヨハネス・ルク」
- 1455年11月3日-09:00|日本|奈良県奈良市|康正1年9月24日|鬼蘭山城が越智氏の支配下に移る
- 1455年11月19日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 国守護者「ヨーク公リチャード・オブ・ランカスター」(2期目~14560225)
- 1455年11月26日-09:00|日本|静岡県牧之原市|康正1年10月17日|勝田播磨守(法名「沢山道勝大禅定門」)、崇芝性岱を開山に、龍門山石雲院(榛原町坂口)切り開き開基
- 1455年12月7日-09:00|日本| |||康正1年10月28日|幕府諸寺祠堂銭の制を定む
- 1455年12月11日-09:00|日本| |||康正1年11月3日|<死去>疋田検校(不明)平曲家
- 1456年-08:00|インドネシア| |||<即位>マジャパヒト王国国王「プーレ・ウエンカー」(~1466年)
- 1456年-08:00|マレーシア/タイ| |||タイのフヤ朝の遠征軍が攻めてきたが、マラッカは独力で国を守り抜く
- 1456年-04:00|ロシア| |||<死去>リザン大公「イヴァン3世ヨード・ロウイチ」
- 1456年-04:00|ロシア| |||<即位>リザン大公「ヴァシーリー・ヴァシリエヴィチ」モスクワ大公(~1462年)
- 1456年-04:00|ロシア| |||<復位>モスコフスキー・ナメストニク「アレクサンドル・ス・チャルトリスキ」(~1460年)
- 1456年-04:00|ロシア| |||モスクワ大公国がツェルビツィ条約でノヴゴロドの自治を制限
- 1456年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ジラルド・ダントーロ」(~1459年)
- 1456年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「マフムト・ハシヤ・アンジエロウイチ」(1期目~1466年)
- 1456年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴォニアのレヴァル司令官「ゲルハルト・フォン・マリクロット」(~1461年)
- 1456年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第2代ハン「ハイトル」(~1456年) => <復位>第3代ハン「ハジ・1世ギレイ」(2期目~1466.8死去)
- 1456年-02:00|トルコ| |||オスマン朝がトレビゾンド帝国を服属させる
- 1456年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラチーナ公「Francesco Orsini」
- 1456年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Stefano Pirrera」(~1457年)
- 1456年-01:00|ベルギー-| |||<就任>リエージュ公「ルイ・ド・ブルボン」(~14820830死去)
- 1456年-01:00|セルビア| |||<即位>第2代セルビア公「ラザル・ブランコヴィチ」ジュラジ・ブランコヴィチの末子(~1458年)
- 1456年-01:00|イタリア| |||<即位>ゲラチーナ公「Giacomo Orsini」(~1472年死去)
- 1456年-01:00|イタリア| |||<即位>スペイン公「Pedro Luis de Borja」(~14580926死去)
- 1456年-01:00|アルバニア| |||アルバニアでスカンデルバグの反乱
- 1456年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「スレイマン・ダマン」(~1464年)
- 1456年 00:00|カシミア/ポルトガル| |||ポルトガルのアルヴァイセ・ダ・カタモストが率いる2回目の遠征隊がジエムス島に到着し、彼はその島をセント・アントニウ島と名付けた
- 1456年 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||ポルトガル船がアフリカ西端ベルデ岬の沖合でカボベルデ群島が発見し、領有宣言、ケープ群島と命名
- 1456年1月1日-09:00|日本|千葉県千葉市花見川区|康正1年11月24日|東常縁・富永駿河入道持資ら、馬加城にて原胤房に勝利
- 1456年1月2日-09:00|日本|千葉県木更津市|康正1年11月25日|千葉実胤・自胤、原氏の拠点、今嶋田正行寺を攻める/原氏方の日心が戦死
- 1456年1月6日-09:00|日本| |||康正1年11月29日|幕府徳政条令を改む
- 1456年1月13日-09:00|日本|埼玉県熊谷市|康生1年12月6日|足利成氏、埼玉城西に上杉房顕・長尾景仲を攻め埼玉西城落城(武蔵崎西郡の合戦、上杉方惨敗)
- 1456年2月5日-09:00|日本|愛媛県|康正1年12月29日|<交替>伊予国守護「河野通春」=>「細川勝元」(~長祿3(1459)年)
- 1456年2月6日-09:00|日本|神奈川県小田原市|康正2年|大森頼春父子小田原城を本拠とする
- 1456年2月6日-09:00|日本|岐阜県|康正2年|<交替>美濃国守護「土岐持益」利永に敗れて隠居=>「土岐成頼」(~明応4(1495)年9月隠居)
- 1456年2月6日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|康正2年|日野法界寺薬師堂できる
- 1456年2月6日-09:00|日本|群馬県沼田市|康正2年|天異慶順、迦葉山弥勒寺の中興開山となり、曹洞宗に改宗
- 1456年2月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|康正2年|各和伊予守道空、大年祥椿を開山に大義山竜昌院(各和)開基
- 1456年2月6日-09:00|日本|千葉県|康正2年|成氏の近臣・武田信長、上総へ打ち入り、長南・真里谷城を取り立て、同国を押領
- 1456年2月6日-09:00|日本|東京都江戸川区|康正2年|天祖神社御鎮座
- 1456年2月6日-09:00|日本|静岡県浜松市|康正2年1月|遠江国蒲御厨の百姓、土倉を襲う
- 1456年2月6日-09:00|日本|北海道|康正2年春|志乃利鍛冶屋がアイヌのオカイ(男・少年だった模様)を殺した事を起因として、東部のアイヌ民族蜂起(シリ事件)
- 1456年2月24日-09:00|日本|神奈川県平塚市|康正2年1月19日|三浦介時高、中郡岡崎を収め、近郷を押領
- 1456年2月24日-09:00|日本|千葉県市川市|康正2年1月19日|古河公方足利成氏、南・築田氏の軍勢をもって千葉胤直の残党実胤・自胤らの拠る下総市河城を攻略、実胤らを武蔵へ追う/市河合戦
- 1456年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シロ・ラモ・ディ・フランチェスコ・ベルツィ」「リッチョ・ディ・アントレア」
- 1456年4月28日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|康正2年3月24日|伊東氏祐、北原貴兼と兵を合わせ、大隅廻・敷根・上井に侵攻/島津忠国、これを撃退し、伊東・北原連合軍退く
- 1456年5月5日-09:00|日本|秋田県仙北郡|康正2年4月|蛸崎軍に呼応し、(湊)安藤堯季が秋田仙北郡の南部領を攻撃/南部光政が応戦/加勢し先陣をつとめた葛西信敏(持信の弟)はじめ南部勢の将兵五十数名が討死、南部軍が敗北し、仙北郡を失う

1470迄 (1502件)

- 1456年5月19日 00:00|宇宙/世界| |||ハレ彗星、出現
- 1456年5月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヤーコフ1世」
- 1456年5月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハン2世」(~15030209死去)
- 1456年6月-02:00|ルーマニア| |||<再任>ワキア総督・領主「ウラド3世突刺し侯」(2回目~1462年7月解任)
- 1456年6月4日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||アテネがオスマン帝国に占領される
- 1456年6月9日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||モルダヴィアはオスマン帝国の家臣(~1471年)
- 1456年7月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・景泰7年6月|朝鮮で成三問らが瑞宗の復位をはかって処刑される
- 1456年7月7日-09:00|日本|奈良県奈良市|康正2年6月5日|興福寺が幕府の用銭賦課を拒否して蜂起。幕府、僧・懐賢を処刑
- 1456年7月21日-01:00|セルビア/トルコ| |||10万のオスマン軍に包囲されたハンガリー王国南端「オグラト」で、ハンガリー王国摂政「フヤデ・イヤーノシュ」が1万の手勢で急行し、敵を破る
- 1456年8月20日-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキア総督・領主「ウラジスラフ2世」戦死
- 1456年8月30日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル7世、王の副官アントワーヌ・ド・シャパンヌに命じ、フランス南東部の王太子ルイ領土に軍を送り占領/王太子ルイ、ブルゴーニュ公領に逃亡
- 1456年8月31日-09:00|日本|秋田県|康正2年8月|南部光政(義政の子)、安藤惟季(鹿季の孫)、と雄物川沿いで対戦。葛西一族の支援を得たが葛西信政が討死
- 1456年9月28日-09:00|日本| ||康正2年8月29日|<死去>伏見宮貞成親王(後崇光院)(85歳)皇族
- 1456年9月28日-09:00|日本| ||康正2年8月29日|幕府、河上五関のほかの新聞を撤廃
- 1456年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ニコロ・デ・イ・ミクリノ」(「ジローモ・デ・イ・アントニオ」)
- 1456年10月11日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ウィンチェスター司教ウィリアム・ウェインフレット」(~14600707)
- 1456年10月16日-09:00|日本|埼玉県深谷市|康正2年9月17日|足利成氏・房顕の党、疋鼻和上杉性順父子と岡部原に戦
- 1456年10月18日-09:00|日本|滋賀県東近江市|康正2年9月19日|近江国土一揆、日吉八王寺社山門使節・山徒が徳政を要求して閉籠
- 1456年10月19日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|康正2年9月20日|吉野金峰山の仁王門が完成
- 1456年10月29日-01:00|ポーランド| |||<死去>ラチブジシュ公「グエンツェスラウス」
- 1456年10月29日-01:00|ポーランド| |||<就任>ラチブジシュ公「ジョン3世」(~1493年)
- 1456年10月30日-09:00|日本|滋賀県|康正2年10月2日|<死去>近江国守護「六角久頼」⇒「六角高頼」が継ぐ(~長禄2(1458)年5月14日解任)
- 1456年11月3日 00:00|イギリス| |||<死去>リッチモンド伯「エドマント・ド・テューダー」
- 1456年11月14日-09:00|日本|群馬県館林市|康正2年10月17日|上野の岩松小五郎・金井新左衛門(上杉側)羽続原にて、足利成氏側に勝つ
- 1456年11月28日-09:00|日本|千葉県市原市|康正2年11月1日|上総国八幡郷(市原市)で千葉康胤と東常縁が戦い千葉康胤討死/千葉輔胤が家督を継ぐ
- 1456年12月4日-01:00|フランス| |||<死去>ブルボン公「シャルル1世」
- 1456年12月4日-01:00|フランス| |||<就任>ブルボン公「ジャン2世」(~14880401死去)
- 1456年12月5日-01:00|イタリア| |||イタリア南部(キャンパニア、バシリカタ)で地震(M7.1)、死者3万人
- 1456年12月19日-09:00|日本|宮崎県|康正2年11月22日|伊東軍、新納目白で土持勢と合戦/土持勢敗北して引き上げる
- 1456年12月24日-01:00|セルビア| |||<即位>セルビア専制君主「ラザール・ブルコウイッチ」(「ジュラジ1世」の息子(~14580119))ブルコウイッチ王朝
- 1457年-05:30|インド| |||<即位>ジャウンプル・スルタン朝「ムハンマド・シャー」(~1458年)
- 1457年-05:30|インド| |||<即位>ファルキ朝ハン「Miran Adil Khan2世」(~1501年)
- 1457年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni de Xabica」(~1458年)
- 1457年-01:00|クロアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のバン「イワン・マルカリ」(~同年)⇒「イワン・ガイウエツ・ド・グレンゲラタ」、「ニコラ・イロチ」(~1463年)
- 1457年-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク=カムハッハ辺境伯「アルブレヒト・アヒルス」(~14860311死去)
- 1457年-01:00|ドイツ| |||<就任>リュッケンブルク「ヴァルティスラフ10世」(~1478年)
- 1457年-01:00|ドイツ| |||<就任>リュネブルク侯「ヘルハルト2世」(~1464年死去),「オット5世」(オットー寛大公)(~14710109死去)
- 1457年-01:00|チェコ/スロバキア| |||フス急進派とヴァルト派が「ヘミア・モラヴィア」兄弟団が成立
- 1457年 00:00|イギリス| |||<就任>初代アール伯「コリン・キャンベル」(~14930510死去)
- 1457年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ビヨルン・リキ・ソレイフソン」(~1467年没)
- 1457年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「ブレチン司教ジョージ・ショアズウット」(~1460年)
- 1457年1月26日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|康正3年|台沙門賢昌房忍禅が修復し東明寺(燈明寺)と改称し三重塔も復旧(京都府→横浜市三溪園に移築)
- 1457年1月26日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|康正3年|扇谷上杉家家宰太田資清(道真)が岩槻城を築城
- 1457年1月26日-05:00|カザフスタン/ウズベキスタン| |||オirat族の来襲でウズベク族が敗退し、カザフ族が分離
- 1457年2月10日-08:00|中国| ||明・天順1年1月16日|<即位>明第8代皇帝「英宗天順帝(朱祁鎮)」(~天順8年1月17日1464年2月23日)第六代正統帝の重祚/于謙を処刑し団營廃止
- 1457年2月10日-08:00|中国| ||明・天順1年1月16日|<廃位>明第7代皇帝「代宗景泰帝(朱祁鈺)」宦官曹吉祥と軍人石亨がクーデターを起こす(奪門の変)

1470迄 (1502件)

- 1457年2月14日-09:00|日本| ||康正3年1月20日|幕府が分一銭の納入を条件として徳制を禁止
- 1457年2月15日-08:00|中国| ||明・天順1年1月21日|明英宗が8代目天順帝 (~1464) に改名、天順と改元
- 1457年3月-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「エンス・ベントソ・オクセンシュルナ」「エリク・アクセルソ・トット」 (~6. 23)
- 1457年3月14日-08:00|中国| ||明・天順1年2月19日|<死去>明第7代皇帝「代宗景泰帝(朱祁鈺)」
- 1457年3月20日-09:00|日本|青森県|康正3年2月25日|<蠣崎蔵人の乱(陸奥国)>陸奥国北郡田名部の領主蠣崎蔵人がその居城(蠣崎城)によって乱をおこしたため八戸南部家が勅命を奉じて八戸湊を出帆して田名部湊に船を着け蠣崎城を攻撃しこれを攻略
- 1457年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ビアンコ・デ・アントニオ」「バルトロ・デ・ミケレ」
- 1457年4月6日-09:00|日本|愛知県津島市|康正3年3月12日|僧澄慶、尾張国祇園牛頭天王・諏訪大明神の社殿を建立
- 1457年4月12日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「ステファン3世偉大侯」ボグダン2世の息子 (~15040702死去)
- 1457年4月15日-09:00|日本|広島県広島市|康正3年3月21日|大内軍、佐東郡釈迦岳の武田軍を追落す
- 1457年4月17日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<死去>ボヘミア公「ヴラディスラフ9世」
- 1457年4月17日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ボヘミア公「ヴラディスラフ10世」 (~14781217死去)
- 1457年4月17日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ボヘミア公「エリク2世」 (⇒14640907ボヘミア公「ヴラディスラフ10世」の弟「エリク2世」)
- 1457年4月24日-09:00|日本|秋田県秋田市|康正3年4月|田名部一帯が根城南部政経により制圧され蠣崎蔵人は蝦夷地に逃れる
- 1457年5月1日-09:00|日本|埼玉県川越市|康正3年4月8日|扇谷上杉持朝が河越城を築城
- 1457年5月1日-09:00|日本|東京都千代田区|康正3年4月8日|太田道灌が江戸湾にのぞむ荏原郡桜田郷に江戸城を築城、完成
- 1457年6月6日-09:00|日本|北海道|康正3年5月14日|<コシャマイの戦い(蝦夷が島)>首領コシャマイを中心にアイヌが団結し和人に向け戦端を開いた/胆振の鷓川から後志の余市までの広い範囲で戦闘が行われ、志濃里に結集したアイヌ軍は小林良景の館を攻め落とし/アイヌ軍はさらに進撃を続け、和人の拠点である花沢と茂別を除く道南十二館の内10までを落とす
- 1457年6月22日-01:00|イタリア/イギリス| ||英国内でのヴエネツィア、フィレンツェ、ジェノヴァ、ルッカ、各商人の協約
- 1457年6月23日-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「クリスティアン1世」 (~14640623~14810521死去55歳)
- 1457年7月1日-01:00|モロコシ| ||<死去>モロコシ領主「カターノ」
- 1457年7月1日-01:00|モロコシ| ||<就任>モロコシ領主「クワデ・イナ」 (~14580316)、摂政「ホメリナ・フルゴソ」 (2回目~14580316)
- 1457年7月9日-09:00|日本| ||康正3年6月18日|<死去>存如(62歳)浄土真宗の僧、本願寺第7世
- 1457年9月2日-09:00|日本|大阪府|康正3年8月14日|河内で、関所撤廃を要求して土一揆が蜂起
- 1457年9月7日-01:00|アルバニア/トルコ| ||スカンデベルグがオスマン朝軍に勝利
- 1457年9月20日-01:00|モロコシ| ||<就任>モロコシ摂政「ラハ・ムタ・グ・リマルティ」 (~14580316)
- 1457年9月22日-01:00|フランス| ||<死去>ブルガリア公「ピエール2世単純公」41歳
- 1457年9月22日-01:00|フランス| ||<即位>ブルガリア公「アルテュール3世正義公」ジャン4世とジャンヌ・ド・ナヴァールの次男 (~14581226死去65歳)
- 1457年9月30日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|康正3年9月12日|財部土持氏、伊東氏に降伏して新名爪へ移り、伊東祐堯、財部十城を知行
- 1457年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「シモネ・デ・アントニオ・ベルツィ」「マリノ・デ・ベッテリノ」
- 1457年10月16日-09:00|日本| ||長祿1年9月28日|「長祿」に改元
- 1457年10月19日-09:00|日本|茨城県古河市|長祿1年10月|足利成氏は古河公方館からめ下総古河城に移転
- 1457年10月19日-09:00|日本|京都府京都市|長祿1年10月|山城土一揆、徳政を求めて京に攻め入り土倉兵と戦い、ついで幕府兵八百騎と合戦して勝つ/以後50年間、毎年土一揆が、山城・大和・近江地域に起こる
- 1457年10月23日-01:00|イタリア| ||ヴエネツィア統領フランチェスコ・フォスカリが、十人委員会から追放される
- 1457年10月31日-01:00|イタリア| ||<就任>ヴエネツィア共和国「ジョゼ(元首)」「バスクアーレ・マリビエロ」 (~1462年)
- 1457年11月 00:00|イギリス| ||<就任>初代ロズ・伯「ジョージ・レスリー」 (~1490年死去)
- 1457年11月3日-01:00|ドイツ/フランス| ||<死去>ヴュルテンベルク＝ウラハ伯「ルートヴィヒ2世」兼モンベリアル伯「ルイ5世」
- 1457年11月3日-01:00|ドイツ/フランス| ||<就任>ヴュルテンベルク＝ウラハ伯「エーバーハルト5世」 (⇒14821214ヴュルテンベルク伯⇒149050721ヴュルテンベルク公「エーバーハルト1世」~14960224死去) 兼モンベリアル伯「エーバーハルト1世」 (~1473年)
- 1457年11月20日-09:00|日本|京都府京都市|長祿1年11月4日|義敏家來が田上某の京宅で亂暴/足利義政の上意を得、甲斐常治・朝倉孝景・織田・山名教豊らが越前・尾張・遠江の名だたる國侍四十餘人を京中で殺す
- 1457年11月23日-01:00|オーストリア| ||<死去>オーストリア公「シュタイマルク公」ラティスラウス
- 1457年11月23日-01:00|チェコ/ハンガリー/ルクセンブルグ| ||<死去>ボヘミア王・モラヴィア辺境伯「ラジスラフ・ホフバク」兼ハンガリー王・オーストリア公「ラズロ5世」兼ルクセンブルク公「ラティスラウス・ホフスタムス」/17歳(誕生14400222)
- 1457年11月23日-01:00|オーストリア| ||<即位>オーストリア大公「アルブレヒト6世」 (~14631202死去)、「フリートリヒ5世」(ローマ王フリートリヒ4世、ローマ皇帝フリートリヒ3世~14930819死去)
- 1457年11月23日-01:00|ルクセンブルグ| ||<即位>ルクセンブルク公「アンナ・フォン・エスターライヒ」ラティスラウス・ホフスタムスの妹 (~14621113死去)、「ヴイヘルム3世」アン・ド・チューリンゲン方伯 (~14820917) 共同統治
- 1457年12月18日-09:00|日本|奈良県|長祿1年12月2日|<長祿の変>赤松遺臣らは大和の豪族小川弘光と共に後南朝の行宮を襲い、南朝の皇胤である自天王と忠義王(後南朝の征夷大將軍である)や野長瀬盛高・盛実兄弟、楠木正理らの兄弟を騙し討って、神璽を持ち去ったが、後南朝を支持する吉野の民によって神璽を再度奪還され、赤松等は一旦引き上げた

1470迄 (1502件)

- 1457年12月21日-09:00|日本| ||長禄1年12月5日|室町幕府、分一徳政令を出す
- 1458年-05:30|インド| ||<即位>シヤウンブル・スルタン朝「フサイン・シャー」(~1479年)
- 1458年-05:30|インド| ||ハンガリーがハブスブルグ朝をやぶり、ワシントン朝を攻略
- 1458年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| ||<即位>トランシルヴァニア総督「セバステイエン・ロスゴニイ」(1回目~1460年4月)
- 1458年-02:00|トルコ| ||オスマン朝でエウブ・モスクと聖廟が建設
- 1458年-01:00|イタリア| ||<即位>カラブリア公(両シチリア王の推定相続人の称号)「アルフォンソ」(~14940125)ナポリ王アルフォンソ2世
- 1458年-01:00|マルタ/イタリア| ||<即位>シチリア領マルタ副総督「Pietro Giovanni de Mazarà」(~1460年)
- 1458年-01:00|イタリア| ||<即位>シチリア王「ジョヴァンニ1世」アラゴン王フアン2世、ハルシニア王、サルデーニャ王(~1479年)
- 1458年-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー国王「マチャーシュ1世」(~14900406死去)
- 1458年-01:00|デンマーク/カタル| ||デンマーク人のジョン・スコルブが北アフリカに上陸
- 1458年 00:00|イギリス| ||<即位>初代モートン伯「ジェームズ・ダグラス」(~14931022死去)
- 1458年1月13日-09:00|日本|山梨県甲府市|長禄1年12月28日|<小河原合戦>武田氏一門の吉田氏らは、守護代跡部景家と小河原で戦うが敗北。岩崎氏も攻められ一族が全滅
- 1458年1月15日-07:00|ベトナム| ||大越・延寧5年|<死去>チャンパ王「摩訶貴由」兄・摩訶貴該(1452年病没)の子に殺された
- 1458年1月15日-07:00|ベトナム| ||大越・延寧5年|<即位>チャンパ王「槃羅茶悦」(~1460.9死去)
- 1458年1月16日-09:00|日本|愛知県一宮市|長禄2年|尾張妙興寺の足利義教像できる
- 1458年1月16日-09:00|日本|静岡県御殿場市|長禄2年|小田原城主大森氏頼、亡くなった息女章子のために、真言宗青龍山般若梵篋寺を移し、材庵正棟を開山に曹洞宗蔵春山宝持院(東田中沓間)を再興
- 1458年1月16日-09:00|日本|静岡県浜松市東区|長禄2年|浄土宗の定明寺(浜松市笠井町)創建
- 1458年1月17日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン方伯「ルートヴィヒ1世平和伯」ヘッセンはオーバーヘッセンとニダーヘッセンに分裂)
- 1458年1月17日-01:00|ドイツ| ||<即位>オーバーヘッセン方伯「ハインリヒ3世」(富裕伯)「ルートヴィヒ1世」の下の息子(~14830113死去);ニダーヘッセン方伯「ルートヴィヒ2世」(正直伯)「ルートヴィヒ1世」の上の息子(~14711108死去)
- 1458年1月19日-01:00|セルビア| ||<即位>セルビア専制公共同摂政「ミハイロ・アンジェロヴィッチ」(~3月)、「エリナ・パレロウ」(~14590620)
- 1458年1月19日-01:00|セルビア| ||<即位>セルビア専制公「ステファン・ブランコヴィッチ」ジュージ1世の息子(~14590321)
- 1458年1月24日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<即位>ハンガリー王国国王・クロアチア王「マチャーシュ1世」ジョン・フニャティの息子(~14900406死去)
- 1458年2月3日 00:00|イギリス| ||<死去>デューク伯「Thomas de Courtenay」
- 1458年2月3日 00:00|イギリス| ||<即位>デューク伯「Thomas Courtenay」(~14610403死去)
- 1458年2月13日-01:00|フランス| ||パリに給水用の水道が作られる
- 1458年3月2日-01:00|チェコ| ||<即位>ボヘミア王「ジギスムント」(~14710322死去)兼モラヴィア辺境伯・上下ラウジッツ辺境伯(~1469年)
- 1458年3月16日-01:00|モロコシ| ||<即位>モロコシ領主「ランバルト」(~14940315)
- 1458年3月22日-01:00|フランス| ||<死去>オマル伯「Antoine」
- 1458年3月22日-01:00|フランス| ||<即位>オマル伯「John6世」(~1473年死去)
- 1458年3月27日-09:00|日本|京都府京都市左京区|長禄2年2月13日|鞍馬寺焼ける
- 1458年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<即位>サマリヤ共和国執政「シロ・ラモ・ティ・フランチェスコ・ベルツィ」「チッコ・ティ・ジョヴァンニ・ダ・ヴァッレ」
- 1458年4月2日-09:00|日本|京都府京都市右京区|長禄2年2月19日|清凉寺、栖霞寺焼亡
- 1458年4月10日-09:00|日本|愛知県西尾市|長禄2年2月27日|三河国真福寺で火災
- 1458年4月12日-09:00|日本| ||長禄2年2月29日|幕府の命により武衛斯波義敏と越前守護代甲斐将久(常治)とが一応和睦。斯波義敏は斯波邸(武衛陣)に戻る
- 1458年4月14日-09:00|日本| ||長禄2年3月1日|幕府が、尼寺に関する4カ条の禁制を発令
- 1458年5月-05:30|インド| ||<死去>グジャラート・スルタン朝スルタン「アフマド・シャー2世」
- 1458年5月-05:30|インド| ||<即位>グジャラート・スルタン朝スルタン「ダーウット・シャー」(~5.25)
- 1458年5月7日-05:30|インド| ||<即位>ハブスブルグ朝第11代スルタン「アラー・ウッディーン・フマユーン・ザリム・シャー」(~14610904)
- 1458年5月25日-05:30|インド| ||<即位>グジャラート・スルタン朝スルタン「アフマド・シャー1世」(~15111123死去)
- 1458年5月31日-09:00|日本|島根県隠岐郡|長禄2年4月19日|足利義政、弟・義永の罪を赦して隠岐から召還
- 1458年6月-02:00|キリシヤ/トルコ| ||アクロリスがオスマン帝国に占領される
- 1458年6月9日-09:00|日本|愛知県名古屋熱田区|長禄2年4月28日|熱田社渡用殿遷宮が行われる
- 1458年6月24日-09:00|日本|滋賀県|長禄2年5月14日|<交替>近江国守護「六角高頼」解任⇒「六角政堯」(~長禄4(1460)年7月)
- 1458年6月27日-01:00|イタリア/スペイン| ||<死去>ナポリ王「アルフォンソ1世」兼アラゴン王「アルフォンソ5世」(誕生1396年)
- 1458年6月27日-01:00|スペイン/イタリア| ||<即位>アラゴン国王・サルデーニャ国王「フアン2世」兼バルセロナ伯「ジュアン2世」兼シチリア王「ジョヴァンニ1世」(~1468年)フェルナンド1世とレオノール・デ・アルブルケルクの息子(~14790120死去81歳)
- 1458年6月27日-01:00|イタリア| ||<即位>ナポリ王「フェルディナンド1世」(~14940125死去)
- 1458年7月15日-01:00|ドイツ| ||<死去>ハーンテン・ハーンテン辺境伯「ヘルンハルト2世」
- 1458年7月26日-02:00|パレスチナ/キプロス/トルコ| ||<死去>エルサレム王・キプロス王国・キリキア・アルメニア王国国王「ヨハン2世」
- 1458年7月26日-02:00|キプロス| ||<即位>キプロス王国国王・キリキア・アルメニア王国国王「シャーロット(シャルロット)女王」(~14600926)
- 1458年7月30日-09:00|日本|北海道|長禄2年6月20日|花沢の館(現在の上下ノ国町)にいた武田信広によってコシヤマイ

1470迄 (1502件)

がうたれ、ア奴軍は敗れ、シム軍が道南を回復

- 1458年8月2日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|長祿2年6月23日|<任命>関東執事(堀越公方)「上杉(犬懸)教朝」(~寛正2(1461)年死去)、「洪川義鏡」(~寛正7(1466)年) 蕨に下向
- 1458年8月2日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|長祿2年6月23日|<任命>堀越公方「足利政知」(~延徳3年4月3日(14910511)死去)
- 1458年8月6日-01:00|バチカン| |||<死去>第209代ローマ教皇「カリストゥス3世」[1378年12月31日生~]享年79
- 1458年8月19日-01:00|バチカン| |||<就任>第210代ローマ教皇「ピウス2世」(~14640814死去)
- 1458年9月8日-09:00|日本/韓国| ||長祿2年8月|幕府朝鮮に大蔵経を求む
- 1458年9月8日-09:00|日本|沖縄県|長祿2年8月|阿麻和利(不明)琉球王国の按司. 反乱を起こすが、敗れて討死
- 1458年9月8日-09:00|日本|沖縄県|長祿2年8月|護佐丸(不明)琉球王国の按司. 謀反を企てていると阿麻和利に讒言されて攻められ、自害
- 1458年9月14日-09:00|日本|福井県|長祿2年8月7日|<長祿合戦(越前国)>守護斯波義敏派の堀江石見守が越前に下向し守護代派を破る、しばらく守護派(義敏派)が越前を押さえる
- 1458年9月18日-09:00|日本|福井県|長祿2年8月11日|<長祿合戦(越前国)>越前守護代派の敦賀郡司大谷将監が守護派に破れ自刃
- 1458年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「メンギーノ・デ・イ・フランチェスコ・カルチーニ」「アントニア・デ・イ・チェッコ」(1459年死去)⇒バルトロ・デ・イ・ミケレ・パシニ
- 1458年10月4日-01:00|イタリア| |||<死去>スペイン公「Pedro Luis de Borja」
- 1458年10月7日-09:00|日本|石川県|長祿2年8月30日|<交替>加賀北半国守護「富樫成春」追放⇒「赤松政則」(~応仁元(1467)年)
- 1458年10月7日-09:00|日本|京都府京都市|長祿2年8月30日|赤松氏の遺臣、吉野から神璽を奪還し朝廷に献上
- 1458年10月8日-09:00|日本|奈良県奈良市|長祿2年9月|<廃城>鬼箇山城
- 1458年10月23日 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||アル・ア・セル・セーブルをポルトガルが支配(~1550年)
- 1458年10月25日-01:00|イタリア| |||ベネチアで十人委員会の権限を制限する法律
- 1458年11月7日-09:00|日本|愛知県西尾市|長祿2年10月|三河国金蓮寺の不動明王堂が再建
- 1458年11月13日-01:00|クワチア/トルコ| |||ラゲザ地区はオスマン帝国支配下(~18080131)
- 1458年12月6日-09:00|日本|兵庫県|長祿2年11月|<交替>但馬国守護「山名教豊」解任⇒「山名持豊」(~文明4(1472)年8月隠居)
- 1458年12月6日-09:00|日本|兵庫県|長祿2年11月|<交替>播磨国守護「山名教豊」解任⇒「山名持豊」(~応仁元(1467)年5月)
- 1458年12月16日-09:00|日本|福井県|長祿2年11月11日|甲斐敏光(常治の子)、朝倉孝景が守護代派の巻き返しのために越前下向を図るも、守護派堀江利真に阻まれ果たせず、海津に後退
- 1458年12月25日-09:00|日本|福井県あわら市|長祿2年11月20日|甲斐方の軍勢が加賀より坂井郡金津を攻撃し堀江利真を包囲するも、敗北
- 1458年12月26日-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ公「アルテュール3世正義公」65歳
- 1458年12月26日-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公「フランソワ2世」リシャール・デ・タンブとマルク・リット・ド・ルアンの子(14880909死去55歳)
- 1459年-08:00|マレーシア| |||<死去>マラッカ王国スルタン「ムザッファル・シャー」
- 1459年-08:00|マレーシア| |||<即位>マラッカ王国スルタン「スルタン・マンスール」(~1477年死去)
- 1459年-05:30|インド| |||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「Nasiruddin Mahmud Shah1世」
- 1459年-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(デヤ朝)国王「チャマ・ラージャ1世」
- 1459年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Rukunuddin Barbak Shah」(~1474年死去)
- 1459年-05:30|インド| |||<即位>マイソール王国(デヤ朝)国王「ティンマ・ラージャ1世」(~1478年死去)
- 1459年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<死去>ジョチウルス・ハン「Kuchuk Muhammad」
- 1459年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン/ロシア| |||<即位>大オルダ・ハン、金帳ハン国ハン「マフマト」(~1465年)
- 1459年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「サイト・マフマト」建国(~1466年死去)
- 1459年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「レオナルド・ド・ウオード」(~1462年)
- 1459年-02:00|トルコ| |||<即位>トレビザント帝国第21代皇帝「ダウイド」(~1461年)
- 1459年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン朝がモリア半島を攻略
- 1459年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>ブランデイス卿「ヴォルフハルト2世」
- 1459年-01:00|クワチア| |||<就任>クワチアとタルマチア・ハン「ハバオ・シヒランチチ」(~1463年)
- 1459年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ブランデイス卿「ヴォルフハルト3世」(~14771009没)、「ジークムント1世」(~1492年没)、「ウルリッヒ」(~14860820没)
- 1459年-01:00|クワチア| |||<即位>ポルヴィツァ大公「マティヤ・トウスチェヴィッチ・シンジッチ」
- 1459年-01:00|イタリア| |||ベネチア、マロ修道士による輪形世界地図が制作
- 1459年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「トイルド・ヘルバツァ・ホーク・オブ・リアン」
- 1459年 00:00|イギリス| |||<私権剥奪>ラランド伯「エドムント」
- 1459年 00:00|イギリス| |||<爵位褫奪>第3代タンカーウール伯「リチャード・グレイ」
- 1459年 00:00|イギリス| |||<就任>初代マー伯・初代キリー伯「ジョン・ステュアート」(~1479年死去)
- 1459年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「トドグ・アン・チョムハイド・オブ・リアン」トイルド・ヘルバツァ・ホーク・オブ・リアンとキャザリン・ハークの息子(~1466年没)、「ドンチャド・マック・マスカム・オブ・リアン」マスカム・ハイン・タル・オブ・リアンの息子(~1461年没)

1470迄 (1502件)

- 1459年1月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケウ-国王「ハ・ソウ・ヒュ」(~14820805)
- 1459年1月9日-09:00|日本|京都府京都市|長祿2年12月5日|<就任>関白「一条教房」(~寛正4年4月)
- 1459年1月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭昌孫」(~22日)
- 1459年2月4日-09:00|日本|愛媛県|長祿3年|<交替>伊予国守護「細川勝元」⇒「河野通春」再任(~同年)
- 1459年2月4日-09:00|日本|佐賀県|長祿3年|<任命>肥前国守護「渋川教直」(~寛正2(1461)年)
- 1459年2月4日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|長祿3年|春慶が法隆寺の五髻文殊像を造る
- 1459年2月7日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|長祿3年1月4日|鎌倉円覚寺焼失
- 1459年2月14日-01:00|トイ | |||<死去>ツァイブ・リュッケン公・フェルデ・ツツ伯「シュテファン」
- 1459年2月14日-01:00|トイ | |||<昇格>シュボ・ンハム伯「フリド・リヒ1世」⇒「ファルツ=ジ・ンメル」公(~14801129死去)
- 1459年2月14日-01:00|トイ | |||<即位>ツァイブ・リュッケン公「ファルツ=ツァイブ・リュッケン家ルートヴ・ヒ1世」(~14890719死去)
- 1459年2月17日-09:00|日本|愛知県|長祿3年1月14日|越前守護斯波氏と守護代甲斐氏の合戦が、尾張国でも勃発
- 1459年2月20日 00:00|マン島| |||<死去>マン王「Thomas1世 Stanley」
- 1459年2月20日 00:00|マン島| |||<就任>マン王「Thomas2世 Stanley」(~15040729死去)
- 1459年3月10日-09:00|日本|大分県|長祿3年2月6日|<死去>豊後守護「大友親綱」(不明)
- 1459年3月21日-01:00|セルビア | |||<即位>セルビア専制公「ステファン・トマシェヴィッチ」(~6. 20、オスマン帝国によりセルビア専制公国滅亡)コトマニッチ王朝
- 1459年3月25日-09:00|日本|福井県福井市|長祿3年2月21日|<阿波賀城戸口合戦>堀江利真は甲斐派の朝倉教景(敏景の祖父)が守る一乗谷を攻撃、阿波賀木戸口で合戦に在るが教景が利真を退けた
- 1459年3月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|長祿3年2月22日|室町北小路に、室町第(将軍の御所)が上棟される
- 1459年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ビ・アンコ・デ・イ・アントニオ」「バルロ・デ・イ・アントニオ」
- 1459年4月4日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|長祿3年3月2日|今川彦四郎(寂庵性阿)、洞慶院賢窓常俊を開山に、真言宗国光寺から鳳凰山真珠院(梅ヶ谷)に改称し曹洞宗に改める
- 1459年5月3日-01:00|デンマーク | |||<死去>デンマーク王「エリク7世」
- 1459年5月3日-01:00|ポーランド/トイ | |||<死去>ホンメル=ヴ・ホルガ・スト=シュトルブ公「エリク1世」
- 1459年5月4日-09:00|日本|福井県敦賀市|長祿3年4月2日|越前守護義敏派の堀江利真が甲斐方の敦賀城を攻めめるも敗退
- 1459年5月16日-09:00|日本|鳥取県|長祿3年4月14日|<死去>因幡国守護「山名熙幸」⇒「山名豊氏」が継ぐ(~寛正7(1466)年)
- 1459年6月9日-09:00|日本| ||長祿3年5月9日|<死去>清巖正徹(79歳)臨濟宗の僧、歌人
- 1459年6月13日-09:00|日本|福井県敦賀市|長祿3年5月13日|遠江・尾張・越前守護斯波義敏と堀江利真が、越前守護代の甲斐常治の敦賀城を攻撃するが敗退、800人討ち死に
- 1459年6月20日-01:00|セルビア/トルコ/コソボ | |||セルビア、コソボ(~19121009)がオスマン帝国の支配下に入る
- 1459年6月25日-09:00|日本|福井県福井市|長祿3年5月25日|<長祿合戦>越中・能登・加賀の軍勢が越前に乱入、敏光らも府中を押さえ越前守護斯波義敏方は越前から撤退
- 1459年6月27日-09:00|日本|福井県福井市|長祿3年5月27日|甲斐方の軍勢、府中を制圧、甲斐敏光が守護所に入る
- 1459年6月30日-09:00|日本|愛知県|長祿3年6月|<交替>遠江・尾張・越前守護「斯波義敏」追放され周防の大内氏のもとへ落ち延びる⇒子の「斯波義寛」が継ぐ(~寛正2(1461)年8月2日解任)
- 1459年6月30日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|長祿3年6月1日|筒井順永・光宣が許され順永は筒井城を回復、越智氏は引き退く
- 1459年7月5日-01:00|ポーランド | |||<死去>ツァア公「Margareth of Raciborz」
- 1459年7月30日-09:00|日本|奈良県|長祿3年7月1日|筒井順永が小泉・龍田氏を攻め、小泉金力丸・龍田英舜らが自害
- 1459年8月21日-09:00|日本|福井県|長祿3年7月23日|斯波義敏方の国人堀江氏等盛返し再び越前に進攻し長崎に陣を敷く
- 1459年8月28日-09:00|日本|静岡県|長祿3年8月|<長祿の乱>斯波氏の内紛に乗じ、今川治部少輔範将・原遠江入道忠頼・小笠原氏・久野氏・名和氏・垂井氏・尾崎氏・井伊浪人が「中遠一揆」を起こす
- 1459年8月28日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|長祿3年8月1日|筒井順永が番条・万歳氏を攻め両氏は没落、順永は筒井郷を回復し没落から立ち直る
- 1459年9月7日-09:00|日本|福井県福井市|長祿3年8月11日|足羽郡和田荘などの合戦で守護方が甲斐方に敗北し、総大将の堀江利真をはじめ、朝倉豊後守父子・同新蔵人・同掃部、平泉寺大性院・豊原寺成舜院らが戦死
- 1459年9月17日-09:00|日本|京都府京都市|長祿3年8月21日|室町幕府が、京都七口に新関を設置
- 1459年9月23日 00:00|イギリス | |||イギリス、プロヴァンスの戦いでヨーク派が勝利
- 1459年9月27日-09:00|日本|奈良県|長祿3年9月|大和国土一揆蜂起
- 1459年10月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・ダントロ・サンマリターニ」「ホ・リノ・デ・イ・アントニオ・ルナルデ・イノ」
- 1459年10月6日-09:00|日本| ||長祿3年9月10日|近畿大風・大洪水/吉野川沿岸家屋流出死者350人出ず
- 1459年10月12日 00:00|イギリス | |||イギリス、ラオドの戦いで、ランカスター派(国王軍)がヨーク派を破る
- 1459年10月13日-09:00|日本|奈良県宇陀市|長祿3年9月17日|室生寺焼ける
- 1459年10月28日-07:00|ベトナム | ||大越・天興1年10月3日|<死去>後黎朝(大越)前期第3代皇帝「仁宗黎邦基」殺害される
- 1459年11月1日-07:00|ベトナム | ||大越・天興1年10月7日|<即位>後黎朝(大越)前期第4代皇帝「前廢帝黎宜民」(~14600624殺害される)/天興と改元(~1460年旧6月7日)

1470迄 (1502件)

- 1459年11月8日-09:00|日本|愛知県津島市|長禄3年10月13日|尾張国津島社弥五郎殿の仮殿遷宮(⇒11月2日、帰座遷宮)
- 1459年11月9日-09:00|日本|埼玉県熊谷市|長禄3年10月14日|<太田庄の戦い(武蔵国)>関東管領上杉房顕が一族の主だった者たちを結集させた五十子城砦に足利成氏が攻撃を加えようとして出撃/両軍は上杉本陣の五十子近くの太田庄でぶつかる/激戦は丸一日続き、この日の戦いで上杉教房(持房の息子)をはじめとする主力武将が討死を遂げ、上杉方の敗戦
- 1459年11月10日-09:00|日本|群馬県|長禄3年10月15日|<太田庄の戦い>越後国守護・上杉房定・政藤は利根川を渡って上野側に陣地を張る古河軍を羽継原・海老瀬口にて攻撃をかけるが、再度敗戦/上杉軍は大打撃を受けたが、古河軍も撤退したため五十子は上杉軍の手に確保された
- 1459年11月25日-09:00|日本|京都府京都市|長禄3年11月|京都の土一揆蜂起
- 1459年11月26日-09:00|日本| ||長禄3年11月2日|幕府質物の利子及び償還期限の制を定む
- 1459年11月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「姜孟卿」(~14610526)
- 1459年12月1日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|長禄3年11月7日|宇和郡津島郷白王権現社殿が造営せられる
- 1459年12月4日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<死去>シュレスヴィヒ公「アドルフ1世」兼ルシタイン=レンズブルク伯「アドルフ8世」
- 1460年-04:00|ジョージア| ||<就任>ミンゲリア公「キオキ」4世「パルティア」(1回目~1704年)
- 1460年-04:00|ロシア| ||<即位>モスコフスキ=ナメトク「ユリーウ=アシノウイ」(~同年)⇒「イヴァン=ウアシノウイ」(~1461年)
- 1460年-03:00|イェメン| ||<即位>死リト=スルタン「Al-Mujahid Ali」(~1479年)
- 1460年-02:00|ルマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督「ラースロー=カニツサイ」(~4月)
- 1460年-02:00|エジプト| ||<即位>ブルジ=マムルーク朝第15代スルタン「ムアヤド=アアマト」(~1461年廃位)
- 1460年-02:00|ギリシャ/トルコ| ||オスマン帝国がアンケ=カストロンを占領
- 1460年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏=長官「ピエトロ=ダ=モスト」(~1463年)
- 1460年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<就任>シュレスヴィヒ公「クリスチャン1世」(~14810521死去)
- 1460年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Pietro de Valdez」(~1461年)
- 1460年-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事「エリック=オッセン=ローゼンクラツ」(~1480年)
- 1460年-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ホンメルン=シュテッティン公「オットー3世」(~14640907死去)
- 1460年-01:00|セルビア/トルコ| ||オスマン軍がベロ=ネリスを征服
- 1460年 00:00|イギリス| ||<再任>トラウト=伯「エドムント」回復(~14601230処刑)
- 1460年 00:00|イギリス| ||<死去>7代サ=ラント=伯「ジョン=ド=モウア(ジョン=サ=ラント)」
- 1460年 00:00|イギリス| ||<就任>8代サ=ラント=伯「ジョン=ド=モウア(ジョン=サ=ラント)」(~1508年死去)
- 1460年 00:00|イギリス| ||<就任>第5代ケンプリッジ=伯「エドワード=フランジネット」(~14610628国王位に統合)
- 1460年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージ=島守護者「Druet Le Marchant」
- 1460年 00:00|マリ| ||<即位>マリ帝国マサ「ウリ2世」(~1481年)
- 1460年 00:00|アイルランド/イギリス| ||アイルランド=議会がイングランド=議会から独立
- 1460年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ピコ島トリア長官「Alvaro de Ornelas」(~14821229)
- 1460年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<設立>ピコ島トリア
- 1460年-07:00|ベトナム| ||<即位>ハントウランガ王「Po Kabrah(Ba Ke)」(~1494年)
- 1460年1月24日-09:00|日本|岡山県|長禄4年|<任命>備中国守護「細川勝久」(~明応2(1493)年)
- 1460年1月24日-09:00|日本|岡山県|長禄4年|<任命>美作国守護「山名政清」(~応仁元(1467)年)
- 1460年1月24日-09:00|日本|岐阜県関市|長禄4年|岐阜新長谷寺本堂できる
- 1460年1月24日-09:00|日本|群馬県高崎市|長禄4年|藤原泥大夫景光、山名郡八幡宮造営
- 1460年1月24日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|長禄4年|曹洞宗寺院で天林寺末の万福寺(八幡町)創建
- 1460年1月24日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|長禄4年|大崎神明宮(三ヶ日町大崎)創始
- 1460年1月24日-08:00|中国| ||明=天順4年|このころ、万里の長城が増築され九辺鎮をおく(モンゴル対策)
- 1460年2月29日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<死去>上バ=イェルン=ミュンヘン公「アルブレヒト3世」
- 1460年2月29日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<即位>上バ=イェルン=ミュンヘン公「ヨハン4世」アルブレヒト3世の長男(~14631118死去)、「ジギスムント」アルブレヒト3世の次男(⇒1467年バ=イェルン=グッハウ公~15010201死去)
- 1460年3月5日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<即位>シュレスヴィヒ公「クリスチャン1世」(~14810521死去)兼ルシタイン伯(⇒1474年ルシタイン公~1481年)
- 1460年3月23日-08:00|中国/日本| ||長禄4年3月|出雲の住人たちが明国寧波を荒らして帰る
- 1460年4月-02:00|ルマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督代行「ミハイ=ツァーゼー」(~1461年4月)
- 1460年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ=デ=イ=ベンチュリーノ」「リッチョ=デ=イ=アントリア」
- 1460年5月12日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージ=島守護者「John Nanfan」(2期目~1461年)
- 1460年5月27日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|長禄4年5月7日|堀越公方足利政知、本陣伊豆国清寺を古川公方軍に攻められ退く
- 1460年5月28日-09:00|日本|和歌山県岩出市|長禄4年5月8日|根来寺の衆徒、住民と灌漑の権利を争い、調停に赴いた守護の家臣を攻めて自刃させる
- 1460年5月30日-09:00|日本|和歌山県|長禄4年5月10日|分国の紀伊国で根来寺と畠山軍が合戦を起こし畠山軍が大敗
- 1460年6月23日-09:00|日本|沖縄県|明=天順4年6月5日|<死去>琉球国王「尚泰久」46歳(誕生:応永22(1415)年)
- 1460年6月23日-09:00|日本|沖縄県|明=天順4年6月5日|<即位>琉球国王「尚徳」(~1469年死去)
- 1460年6月24日-07:00|ベトナム| ||大越=光順1年6月6日|<死去>後黎朝(大越)前期第4代皇帝「前廢帝黎宜民」殺害される

1470迄 (1502件)

- 1460年6月26日-07:00|ベトナム| ||大越・光順1年6月8日|<即位>後黎朝(大越)前期第5代皇帝「聖宗黎思誠」(~14970303死去)/光順と改元(~1469年)、黎朝大越の最盛期をむかえる
- 1460年7月6日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「エイボンデール卿アントニー・スチュワート」(~14820617)
- 1460年7月10日 00:00|イギリス| ||<死去>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「ジョン・タルボット」戦死
- 1460年7月10日 00:00|イギリス| ||<死去>パッキンガム公・スタッフォード 伯「ハンフリー・スタッフォード」
- 1460年7月10日 00:00|イギリス| ||<就任>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「ジョン・タルボット」先代の息子(~14730628死去)
- 1460年7月10日 00:00|イギリス| ||<就任>パッキンガム公・スタッフォード 伯「ヘンリー・スタッフォード」先代の孫(~148301102死去)
- 1460年7月10日 00:00|イギリス| ||イギリス、ノサンプトンの戦いで、ヨーク派のウォリック伯が国王軍に大勝
- 1460年7月15日-09:00|日本|愛知県一宮市|長祿4年6月27日|尾張国長隆寺が再建され、本尊の供養が行われる
- 1460年7月18日-09:00|日本|滋賀県|長祿4年7月|<交替>近江国守護「六角政堯」解任⇒「六角高頼」(2度目~応仁元(1467)年)
- 1460年7月18日-09:00|日本| ||長祿4年7月1日|皆既日食が起こる
- 1460年7月25日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 連邦大法官「エセター司教ジョージ・ネイル」(1期目~14610310)
- 1460年8月3日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド 王「ジェームズ2世」殺害される/29歳(誕生14301016)
- 1460年8月3日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド 王「ジェームズ3世」ジェームズ2世とメアリー・オブ・グエイルダースの息子(~14880611死去36歳)
- 1460年8月4日-09:00|日本|京都府京都市|長祿4年7月18日|京で地震。相国寺西明楼崩れる
- 1460年8月8日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー-島・ガーンジー-島主「Richard Neville」(2期目~14710414)
- 1460年9月9日-09:00|日本| ||長祿4年8月24日|幕府、東海道の諸関を撤廃
- 1460年9月14日-01:00|スイス| ||スイス盟約者団がトゥールカウを制服
- 1460年9月15日-07:00|ベトナム| ||大越・光順1年9月|<死去>チャンパ 王「槃羅茶悦」
- 1460年9月15日-07:00|ベトナム| ||大越・光順1年9月|<即位>チャンパ 王「槃羅茶全」(~1471年死去)
- 1460年9月19日-09:00|日本| ||長祿4年9月5日|幕府侍所が、關所および縁座・連座の規定を定める
- 1460年9月26日-02:00|キプロス| ||<即位>キプロス王国・キリキア・アルメニア王国国王「ジャック2世ろくでなし王」(~14730611没)
- 1460年9月30日-09:00|日本|大阪府|長祿4年9月16日|<解任>河内・紀伊・山城・越中国守護「畠山義就」河内へ逃亡
- 1460年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「フェッコ・デ・イ・ジョヴァンニ・ダ・ウァッレ」「シモーネ・デ・マリノ・デ・イ・ジョヴァンニ」
- 1460年10月4日-09:00|日本|大阪府|長祿4年9月20日|<任命>河内・紀伊国守護「畠山政長」(~応仁元(1467)年1月2日)
- 1460年10月4日-09:00|日本|京都府京都市|長祿4年9月20日|<任命>山城国守護「畠山政長」(~寛正5(1464)年11月)
- 1460年10月4日-09:00|日本|富山県|長祿4年9月20日|<任命>越中国守護「畠山政長」(~明応2年閏4月25日(14930609)死去)
- 1460年10月16日-09:00|日本|京都府京都市上京区|長祿4年閏9月3日|日蓮宗の僧日親が肥前で布教したため、幕府が日蓮宗の本法寺を襲撃し、堂舎を破壊
- 1460年11月3日-09:00|日本|福井県あわら市|長祿4年閏9月21日|堀江民部、坂井郡細呂宜郷下方奪回のため乱入するが、百姓の抵抗を受け、金津道場の仲介により徹兵
- 1460年11月7日-09:00|日本|和歌山県|長祿4年閏9月25日|畠山義就の兵が紀伊国に入るが畠山政長が撃退
- 1460年11月13日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ウァレウ公「エンリケ航海王子」ポルトガルの王子
- 1460年11月13日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ウァレウ公「フェルナンド」(~14700918死去)トウアル1世の次男、ペーリャ公
- 1460年11月21日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|長祿4年10月10日|<河鍋山合戦>畠山義就方が畠山政長方の龍田・平群嶋氏の陣所を襲うが敗れる、越智家国・越智彦三郎戦死、義就方遊佐国助・菅田金宝・菅田祥栄・甲斐庄戦死
- 1460年12月30日 00:00|イギリス| ||<死去>第3代ヨーク公・マーチ伯・アルスター伯・ラランド 伯・ケンブリッジ 伯「リチャード・プランタジネット」ウェークフィールドの戦いで敗死/49歳(誕生1411年)
- 1460年12月30日 00:00|イギリス| ||<死去>ラランド 伯「エドムンド」処刑
- 1460年12月30日 00:00|イギリス| ||<就任>第4代ヨーク公・アルスター伯・ケンブリッジ 伯・マーチ伯「エドワード・プランタジネット」(~14610304イングランド 王エドワード4世として即位、爵位は王領に統合)
- 1460年12月31日 00:00|イギリス| ||<死去>ソールズベリー伯「リチャード・ネイル」
- 1461年-05:30|インド| ||<即位>サマ朝スルタン「Jam Nizamuddin2世」(~1508年)
- 1461年-05:30|インド| ||ハルジー-ガハ・フマニ-朝に遠征し、ベラル地方を一時占領
- 1461年-04:00|ロシア| ||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ウラジミール・アントレヴィチ」(~1462年)
- 1461年-02:00|トルコ| ||<即位>イスファエンディヤリス 君主「Kizil Ahmed・ベイ」(~1461年)
- 1461年-02:00|エジプト| ||<即位>ブルジ-マムルーク朝第16代スルタン「ザヒル・フシカタム」(~1467年死去)
- 1461年-02:00|エジプト| ||<廃位>ブルジ-マムルーク朝第15代スルタン「ムアイヤト・アフマト」
- 1461年-02:00|ウクライナ| ||テトロー公国がトモス(マングップ)で独立(~14750606)
- 1461年-01:00|ドイツ| ||<死去>マルク伯「ケルハルト」
- 1461年-01:00|フランス| ||<就任>オーペルニュ伯「Bertrand6世of La Tour」(~1494年)
- 1461年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Bartolomeo de Clementis」(~1462年)
- 1461年-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(1期目~1462年)

1470迄 (1502件)

- 1461年-01:00|ドイツ| |||<就任>マルク伯「ヨハン1世」レーフェ公 (~14810905死去)
- 1461年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「Antonio Todeschini Piccolomini」 (~1493年)
- 1461年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイヤーン朝スルタン「アブー・アブドゥッラー3世」 (~1468年)
- 1461年-01:00|クワチア| |||<即位>ポルヒツァ大公「コムラ・ウイトコウ・イツ」
- 1461年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「ドンチャド・マック・マスカムナ・オー・ブリアン」
- 1461年 00:00|イギリス| |||<就任>エックス伯「ヘンリー・ハウチャー」 (~14830404死去)
- 1461年 00:00|イギリス| |||<就任>クレンス公「ジョージ・プランタジネット」ヨーク公リチャード・プランタジネットの六男 (~14780218死去)
- 1461年 00:00|イギリス| |||<就任>グロスター公「リチャード」 (~1483年に即位してリチャード3世)
- 1461年 00:00|イギリス| |||<剥奪>第3代エセター公・ハンティントン伯「ヘンリー・ホランド」 (~1475.9死去)
- 1461年 00:00|イギリス| |||<剥奪>ペンブルック伯「ジャスパー・テューダー」
- 1461年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サントマリア島司令長官「Goncalo Velho Cabral」
- 1461年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サントマリア・サンミゲル島トナリア長官「Joao Soares de Albergaria」(14740310サンミゲルを分離~1499年死去)
- 1461年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<設立>サントマリア・サンミゲル島トナリア
- 1461年1月29日-09:00|日本|大阪府富田林市|長祿4年12月19日|<嶽山城の戦い(河内国)>幕府軍の嶽山城攻撃が始まったが、義就の抵抗は激しく攻撃はことごとく撃退
- 1461年2月1日-09:00|日本| ||寛正1年12月21日|「寛正」に改元
- 1461年2月2日 00:00|イギリス| |||ヨーク公エドワードが、モティマス・クロスの戦いでランカスター派を破る
- 1461年2月11日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛正2年|「絹本著色地蔵十王図」(鍛冶町正覚寺所在)、駿河国先照寺第4代住職梅巖祖春の資金により作られる
- 1461年2月17日 00:00|イギリス| |||ヘンリー6世の王妃のマーガレットがセント・オールバンスの戦いでヨーク派のウォリック伯を破って王を救出
- 1461年2月26日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<死去>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・イナール」
- 1461年2月26日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ムアイヤド・アフマド」 (~6.28)
- 1461年3月4日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド王国国王「エドワード4世」リチャード・プランタジネットとセリー・ネヴィルの男子 (~14701002退位~14830409死去40歳)
- 1461年3月4日 00:00|イギリス| |||<統合>ヨーク公・アルスター伯・ケンブリッジ伯・マーチ伯⇒王領
- 1461年3月12日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「プロスペロ・アトルノ」 (~7.17)
- 1461年3月12日-09:00|日本|京都府京都市|寛正2年2月|<寛正の大飢饉> (~3月) 数万人の流民(飢民)が京都市中に流れ込み事態は悪化。飢餓と疫病により2ヵ月で京都で8万2000人の死者。鴨川も死体で埋まる
- 1461年3月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーサンバラント伯「ヘンリー・パーシー」戦死没収
- 1461年3月29日 00:00|イギリス| |||薔薇戦争タウトンの戦い/ヨーク家のエドワード4世がランカスター派を破り、ヘンリー6世はスコットランドに逃走
- 1461年4月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「セバスティアン・ロスゴニ」(2回目~9月)
- 1461年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・ディ・アントニオ・ベルツィ」 「フランチェスコ・ディ・ジョヴァンニ・サバティニ」
- 1461年4月3日 00:00|イギリス| |||<死去>テウオン伯「Thomas Courtenay」
- 1461年4月3日 00:00|イギリス| |||<就任>テウオン伯「John Courtenay」 (~1465年)
- 1461年4月11日-09:00|日本|愛知県豊橋市|寛正2年3月|町田国信ら、三河国東觀音寺の本堂を建立
- 1461年4月15日-09:00|日本|京都府京都市北区|寛正2年3月5日|真如寺火事
- 1461年4月30日-09:00|日本|神奈川県|寛正2年3月20日|<継承>駿河国守護「今川範忠」54歳⇒「今川義忠」26歳/代替わり
- 1461年5月-01:00|フランス| |||シャルル7世はブルゴニュ善良公に「王太子の預かり賃」を支払う事にして和解
- 1461年5月 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島・ガーンジー-島主「Pierre de Breze」 (~14650716死去)
- 1461年5月 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||<就任>ジャージー-島フランス司令官「Jean Carbonnel」 (~1467.10)
- 1461年5月 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||ジャージー-島をピエール・ド・ブリーズの下でフランスが占領 (~1467.10) 西部の小教区はフィリップ・ド・カテレットの下で反抗し続ける
- 1461年5月10日-08:00|中国| ||明・天順5年4月|明の版図を京師・南京・中都・興都の4門に分けてその地理などを詳細に記した「大明一統志」90巻が吏部尚書翰林学士李賢らの撰によって完成
- 1461年6月7日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭昌孫」 (~14620607)
- 1461年6月22日-09:00|日本|群馬県|寛正2年5月14日|堀越公方政知方の岩松家純が幕府・上杉側に寝返ったばかりの岩松持国・次郎父子を討って、岩松氏を統一
- 1461年6月23日-09:00|日本|広島県尾道市|寛正2年5月15日|弥陀三尊の磨崖仏(尾道千光寺蔵)成る
- 1461年6月28日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ザ・ヒル・フシカダム」 (~14671009死去)
- 1461年6月28日 00:00|イギリス| |||<就任>クレンス公「ジョージ・プランタジネット」ヨーク公リチャード・プランタジネットの六男 (~14780218死去)
- 1461年7月4日-09:00|日本|神奈川県|寛正2年5月26日|<死去>駿河国守護「今川範忠」54歳⇒「今川義忠」が継ぐ (~文明8年2月6日(14760301)死去)
- 1461年7月8日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|寛正2年6月|古河公方成氏が武蔵に進出し、松山城を落とす/次いで下総葛西城を攻め落とす

1470迄 (1502件)

- 1461年7月10日-01:00|ホ^スニア^{ヘルツェ}ビ^ナ| |||<死去>ホ^スニア王「ステパ^ントマシュ^{オスト}イツ」
- 1461年7月10日-01:00|ホ^スニア^{ヘルツェ}ビ^ナ| |||<即位>ホ^スニア王「ステパ^ン3世トマシェウ^{イツ}」(~14630605没)
- 1461年7月18日-01:00|イ^タリ^ア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ト^ージェ「スピ^{ネッタ}・デ^イ・カンホ^{フレコ}・ソ」(~7. 24)
- 1461年7月22日-01:00|フ^ランス| |||<死去>フ^ランス王^ヘリ公「シャル^ル7世」/58歳(誕生14030222)
- 1461年7月22日-01:00|フ^ランス| |||<即位>ヘ^リ公「シャル^ル」シャル^ル7世の末子(~14720524死去)
- 1461年7月25日-01:00|イ^タリ^ア| |||<再任>ジェノヴァ共和国ト^ージェ「ロ^ウ・イコ^デ・イ^{カンホ}・フレコ^ソ」(2期目~14620514)
- 1461年8月15日-01:00|フ^ランス| |||<即位>フ^ランス国王「ル^イ11世慎重王(遍在する蜘蛛)」シャル^ル7世の子(~14830830)
- 1461年8月15日-01:00|イ^タリ^ア/トルコ| |||オスマン朝がジ^ヤンダ^ルル候国とトレビ^ゾンド^{帝国}を征服
- 1461年8月17日-02:00|キ^ャロス| |||<死去>聖ヨハ^ネ騎士団グ^ラント^{マスター}「ジャック^ト・ミ^リ」
- 1461年8月24日-02:00|キ^ャロス| |||<就任>聖ヨハ^ネ騎士団グ^ラント^{マスター}「ピ^エロ^{ライ}モン^ト・サ^コスタ」(~14670221没)
- 1461年9月4日-05:30|イ^ンド^ネ| |||<即位>ハ^マニ朝第12代ス^ルタン「ニ^ザム^{ッテ}・イ^ン・ア^フマ^ト・シ^ヤ3世」(~14630730死去)
- 1461年9月6日-09:00|日本|愛知県|寛正2年8月2日|<交替>尾張[・]越前[・]遠江国守護「斯波松王丸」解任⇒遠縁の「斯波義廉」が継ぐ(~文正元(1466)年8月25日解任)
- 1461年9月23日-01:00|ス^ペイン| |||<死去>ナ^{バラ}王国国王「カル^ロス4世」40歳
- 1461年9月23日-01:00|ア^ント^ラ| |||<就任>ア^ント^ラ公国共同大公「ウル^{ヘル}ム教ヨ^ム・ト^カルト^ナ・イト^{カン}・デ^イ」(~14661201)
- 1461年9月23日-01:00|ス^ペイン| |||<即位>ナ^{バラ}王「ブ^{ラン}カ2世」フ^ラン2世とブ^{ラン}カ1世の女子(~14641202死去40歳)
- 1461年10月1日-01:00|サ^{マリ}ノ| |||<就任>サ^{マリ}ノ共和国執政「メ^{ット}・デ^イ・メ^{ット}・ホ^ネリ」「ヒ^アンコ^デ・イ^{アント}・ニ^オ」
- 1461年11月-01:00|フ^ランス| |||<就任>ヘ^リ公「シャル^ル」シャル^ル7世の末子(~1465年ル^{マン}デ^イ公に変更)
- 1461年11月1日 00:00|イ^キリス| |||<就任>初代ケ^{ント}伯「ウィ^{リア}ム[・]ネ^{イル}」(~14630109死去)
- 1461年11月4日 00:00|イ^キリス| |||<剥奪>サ^メット公「ヘ^ンリー[・]ホ^フォ^{ート}」
- 1461年11月6日 00:00|イ^キリス| |||<死去>ノ^フォーク公[・]ノ^ッティンガ^ム伯「ジ^ョント[・]モ^ウブ^{レー}」
- 1461年11月6日 00:00|イ^キリス| |||<就任>ノ^フォーク公[・]ノ^ッティンガ^ム伯「ジ^ョント[・]モ^ウブ^{レー}」先代の子(~14760114死去)
- 1461年11月15日-09:00|日本|滋賀県長浜市|寛正2年10月13日|大浦荘代官松平益親、三河勢などを引き連れ菅浦を攻める
- 1461年11月25日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|寛正2年10月23日|<死去>関東執事(堀越公方)「上杉教朝」自害⇒「上杉(犬懸)政憲」が継ぐ(~長享元(1487)年死去)
- 1461年11月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|寛正2年10月24日|足利義政、雲頂院の造園を行う/卵塔の背後に、東山から楓の木を移し、「庭園の美」を追求
- 1461年11月29日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|寛正2年10月27日|僧元久の勧進により、篠島村神宮寺の堂舎が建立される
- 1461年12月2日-09:00|日本|愛知県岡崎市|寛正2年11月|松平信光、三河国岩津に妙心寺を建立
- 1461年12月3日-09:00|日本|愛知県名古屋市区|寛正2年11月2日|尾張国氷上社において、遷宮が行われる
- 1461年12月15日 00:00|ポ^{ルト}ガル| |||<死去>初代ブ^ラガ^ンサ公「ア^フソ^ン1世」8代ハ^ロロ^ス公, 2代ネ^ウア^公
- 1461年12月15日 00:00|ポ^{ルト}ガル| |||<就任>2代ブ^ラガ^ンサ公「フェ^ルナ^ンド^{1世}」(~14780401死去)初代グ^イラ^ウ・イ^ソザ^候, 5代オ^レム^伯公, 9代ハ^ルセ^ス公, 3代ア^イオ^ロス^伯, 3代ネ^ウア^伯
- 1461年12月31日-01:00|ポ^ーランド| |||<死去>ワ^ルシヤ^ワ公[・]統一フ^ウツク公「シ^モウ^イト6世」
- 1462年-08:00|イ^ンド^ネシア| |||<即位>サ^ムト^ラハ^{サイ}王国第9代ス^ルタン「ア^フマ^ト2世」(~1464年)
- 1462年-05:00|ウ^スベ^キスタン| |||<即位>モ^グリス^{タン}・ハン^{ハン}「ド^ースト^ムハン^ド」エ^セン^フカの子(~1469年)
- 1462年-04:00|ロ^{シア}| |||<就任>ウ^グゴ^ロト^{共和国}「ウ^グアン^ウ・ア^{シリ}エ^ウ・イ^チ」(~1480年ウ^グアン^ウ・ア^{シリ}エ^ウ・イ^チ(ウ^グアン^{3世}・ウ^グアン^雷帝)によりモ^{スク}ワ大公国へ併合)
- 1462年-04:00|ロ^{シア}| |||<即位>カ^ザン^{ハン}国ハン「ハ^リル」マ^ムテ^クの子(~1467年)
- 1462年-04:00|ロ^{シア}| |||<即位>リ^ヤザ^ン公「ウ^グアン^{4世}ウ^グ・ア^{シリ}エ^ウ・イ^チ」モ^{スク}ワ大公(~1464年)
- 1462年-03:00|イ^エメン| |||<死去>ラ^ッン朝イ^マム「アル^{マン}ス^ル・ア^ンナ^ジール[・]ヒ^ン・ム^{ハン}マ^ト」
- 1462年-03:00|イ^エメン| |||<即位>ラ^ッン朝イ^マム「アル^マイ^ヤト[・]ム^{ハン}マ^ト」アル^{マン}ス^ル・ア^ンナ^ジールの息子(~15030225死去)
- 1462年-02:00|キ^リシヤ/イ^タリ^ア| |||<就任>ウ^ェネ^ツイ^アの^{カン}テ^イア公「ロ^レンツ^オ・モ^ロ」(~1464年)
- 1462年-02:00|ル^マニア/ハンガ^{リー}| |||<就任>ト^ランシ^ルガ^{ニア}総督「ミ^クロ[・]シ^ウジ^ラキ」(3回目)+「ヤ^ス・ホ^ング^ラチ」(1回目)(~1465年)
- 1462年-02:00|エ^スト^{ニア}/ト^イツ| |||<就任>リ^ウオ^{ニア}の^レガ^ル司令官「ヨ^ハン[・]フ^ォン[・]ク^リッケ^ンベ^{ック}」(~1468年)
- 1462年-02:00|トルコ| |||<即位>ア^イユ^ブ朝(ヒ^スン[・]カ^イフ^ア)ア^ミル「Ak Koyunlu occupation」(~1482年)
- 1462年-02:00|ル^マニア/トルコ| |||ワ^ラキ^アはオスマン帝国の家臣(~1476年)
- 1462年-01:00|マルタ/イ^タリ^ア| |||<就任>シ^チリア領マルタ副総督「Paolo de Nasis」(~1466年)
- 1462年-01:00|フ^ランス| |||<就任>ヌ^ムル公「ジ^ャック[・]ダ^ルマ^ニャック」エ^レオ^ノール^ト・ブ^ルボンとハ^ルテ^イアック伯ベルナル8世の息子(~14770804処刑され領地没収)
- 1462年-01:00|ス^ペイン/ポ^{ルト}ガル| |||<就任>ポ^{ルト}ガル領セ^ウタ暫定提督「Pedro de Albuquerque」(~1463年)
- 1462年-01:00|ス^ペイン| |||<即位>ア^ラゴン王フ^ラン2世に対する対立王「カ^スティ^ーリヤ王エンリケ4世」カ^スティ^ーリヤ王フ^ラン2世とマ^リア[・]デ[・]ア^ラゴンの息子(~1463年~14741211死去49歳)
- 1462年-01:00|ス^ペイン| |||<復位>グ^ラナダ^{王国}ナル朝ア^ミル「ユ^スフ5世」(2期目~同年)⇒<復位>「Sa' d」(~1464年)
- 1462年-01:00|ト^イツ| |||自由都市マインツがマインツ司教に従属し、自由を失う
- 1462年-01:00|サ^{マリ}ノ| |||リ^ミの^マラ^テスタからフィ^オレン^{ティ}ーノ、モン^テジ^ヤル^テ・イ^ノ、セ^ラウ^アッ^ルがサ^{マリ}ノに加わった
- 1462年 00:00|イ^キリス| |||<死去>ソ^ルス[・]ヘ^リ女^伯「ア^リス[・]モン^タキ^ュト」
- 1462年 00:00|イ^キリス| |||<死去>デ^スモ^{ント}伯「ジ^ェイ^ムス[・]フ^ィツ^ツ・エ^ラルト」
- 1462年 00:00|イ^キリス| |||<就任>ソ^ルス[・]ヘ^リ伯「リ^チャ^ート[・]ネ^{イル}」(~14710414死去爵位停止)

1470迄 (1502件)

- 1462年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「トマス・フィッツ・エラト」(~1467年死去)
- 1462年 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<設立>最初のポルトガル人入植地(リベラ・グランデ、サント・アンタン、サン・ピセンテ、サン・テイヤコ、サン・ニコラウ、マイオ、ポアビスタ、サル、フオゴ、ブラバ)
- 1462年1月30日-08:00|中国| ||明・天順6年|<死去>モグ・リスタン・ハン国ハ「エセン・ブ」
- 1462年1月30日-08:00|中国| ||明・天順6年|<即位>モグ・リスタン・ハン国ハ「トースト・ムハンマド」(~1468年死去)、「ユース」(~1487年死去)
- 1462年1月30日-08:00|モンゴル| ||明・天順6年|ユースがモグ・リスタン・ハン国を継承
- 1462年1月31日-09:00|日本|石川県|寛正3年|<死去>富樫成春(不明)元加賀守護
- 1462年1月31日-09:00|日本|滋賀県栗東市|寛正3年|金勝寺建立
- 1462年1月31日-09:00|日本|静岡県浜松市東区|寛正3年|曹洞宗寺院で東漸寺末の盛福寺(大島町)創建
- 1462年1月31日-09:00|日本|広島県|寛正3年|<交替>安芸国守護「山名教豊」⇒「山名是豊」(~文明7(1475)年解任)
- 1462年1月31日-09:00|日本|広島県|寛正3年|<交替>備後国守護「山名教豊」解任⇒「山名是豊」(~文明8(1476)年)
- 1462年1月31日-09:00|日本|福岡県|寛正3年|<降格>筑後国守護「菊池為邦」⇒筑後半国守護(~寛正6(1465)年)
- 1462年1月31日-09:00|日本|福岡県|寛正3年|<任命>筑後半国守護「大友政親」(~寛正6(1465)年)
- 1462年2月21日-01:00|スペイン| |||<就任>アストリアス公(スペイン国王の推定相続人)「フナ」エンリケ4世の娘(~1464年)
- 1462年2月26日 00:00|イギリス| |||<死去>12代オックスフォード伯「ジョン・ウイアー」
- 1462年2月26日 00:00|イギリス| |||<就任>13代オックスフォード伯「ジョン・ウイアー」先代の子(~1475年剥奪~1485年回復~15130310死去)
- 1462年2月27日-01:00|ポーランド| |||<死去>統一プウォツク公「ウラデイスワフ2世」
- 1462年2月27日-01:00|ポーランド| |||<即位>プウォツク公「コンラト3世ルィ赤公」ホレスワフ4世の息子(~14710403)
- 1462年2月27日-01:00|ポーランド| |||<即位>ワルシャワ公「コンラト3世ルィ赤公」、「カジミェシュ3世」,「ヤヌシュ2世」ホレスワフ4世の息子(~14710403)
- 1462年3月1日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|寛正3年2月|堀江筑前守清忠室妙智院殿心窓永秀大姉、命天慶受師開山に法幢院(三ヶ日町大崎)開基
- 1462年3月8日-09:00|日本|静岡県焼津市|寛正3年2月8日|<死去>福翁山大満寺(下江留)中興開山快全法印
- 1462年3月10日 00:00|イギリス| |||<就任>サメット公「ヘンリー・ポーフート」(~14640515死去剥奪)
- 1462年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク公「ジョン・ラホール」(~14920514死去)
- 1462年3月27日-04:00|ロシア| |||<死去>モスクワ大公「ヴァシリ2世ヴァシリエヴィチ」
- 1462年3月28日-04:00|ロシア| |||<即位>モスクワ大公「イワン3世ヴァシリエヴィチ」(~15051027死去)
- 1462年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメー・アントニオ」「マリノ・デ・アントニオ・ジャンネーニ」
- 1462年4月26日-09:00|日本|奈良県奈良市|寛正3年3月27日|大和元興寺炎上
- 1462年4月28日-09:00|日本| ||寛正3年3月29日|<死去>総一検校(不明)琵琶法師
- 1462年5月5日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国「ジョーエハ・スケラレ・マリビエロ」
- 1462年5月7日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国「ジョーエ」(元首)「クリストフォ・モロ」(~14711110)
- 1462年5月9日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス王ルイ11世(シャルル7世の子、慎重王)、「パヴェンヌ条約」を締結/アラゴン王フアン2世のカタロニア地方の「反乱」鎮圧に協力/見返りに、南フランスの「ルシヨン伯領」と「スルターニュ伯領」を割譲される
- 1462年5月14日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国「ジョーエハ・フロコッ」(~5.31)
- 1462年5月16日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王「クレンス卿ジョージ・ブランタジネット」(~14700323)、代行「ポートスター卿ローランド・フィッツユースタス」(~14630401)
- 1462年6月8日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国「ジョーエ」「ロドヴィコ・デ・カンポ・フロコッ」(3期目~1463.1)
- 1462年6月9日-09:00|日本|大阪府富田林市|寛正3年5月12日|細川成之・政長、河内金胎寺城に畠山義就を撃破
- 1462年6月13日-09:00|日本|三重県|寛正3年5月16日|幕府が伊勢の山田閼を廃止
- 1462年6月17日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「申叔舟」(~14660531)
- 1462年7月-02:00|ルーマニア| |||<解任>ワキア総督・領主「ウラド3世突刺シ候」
- 1462年7月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ウラド3世美候」ウラド2世の息子(1回目~14731123)
- 1462年7月-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世(故シャルル7世の子、慎重王)、軍を送り、ピレネー山麓地中海側にある「ルシヨン伯領」と「スルターニュ伯領」を占領
- 1462年7月11日-09:00|日本|長崎県壱岐市|寛正3年6月14日|源義、壱岐州安国禅寺の仏殿を造営し、寺領を寄進
- 1462年7月12日-09:00|日本|長野県|寛正3年6月15日|<死去>前信濃国守護「小笠原持長」67歳
- 1462年7月18日-09:00|日本|京都府京都市中京区|寛正3年6月21日|幕府が、小栗宗湛に高倉第の襖絵を描かせる
- 1462年7月27日-09:00|日本|静岡県浜松市|寛正3年7月|佐田城主堀江下野守久実の老妣妙智院心窓永秀大姉、永平寺命天慶受和尚を開山に寺倉山法幢院(浜松市三ヶ日町大崎)開基
- 1462年8月18日-01:00|イタリア| |||ナポリ王フェルナント1世が、アンジュー家のジャンに勝利して反乱を鎮圧
- 1462年8月20日-01:00|ジブラルタル/スペイン| |||ジブラルタルはカスティリアに征服された
- 1462年9月24日-09:00|日本|京都府木津川市|寛正3年9月|木津で馬借が蜂起し、奈良侵入を計る
- 1462年9月24日-09:00|日本|奈良県奈良市|寛正3年9月|南都絵師重有死去
- 1462年10月 00:00|イギリス| |||<死去>初代エール伯「ウィリアム・ヘイ」
- 1462年10月 00:00|イギリス| |||<就任>2代エール伯「ニコラス・ヘイ」(~1470年死去)
- 1462年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・デ・アントニオ・サンマリナーニ」「リッチョ・デ・アントレア」
- 1462年10月4日-09:00|日本|京都府京都市|寛正3年9月11日|蓮田兵衛を指導者とする土一揆が、徳政を要求して京都一帯で蜂起
- 1462年10月8日-09:00|日本|京都府京都市|寛正3年9月15日|蓮田兵衛の土一揆が下京に放火し、30町余りを焼く

1470迄 (1502件)

- 1462年10月13日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛正3年9月20日|山城国願成寺焼失
- 1462年10月14日-09:00|日本|京都府京都市|寛正3年9月21日|この日以前、土一揆により錦小路付近30余町が放火される
- 1462年11月13日-01:00|ルクセンブルク| |||<死去>ルクセンブルク公「アン・フォン・エスターライヒ」
- 1462年11月13日-01:00|ルクセンブルク| |||<即位>ルクセンブルク公「エリザベト・フォン・ハプスブルク」,「ガジメシユ4世」(~1467年)
- 1462年11月19日-09:00|日本|京都府京都市|寛正3年10月28日|赤松政則らが蓮田兵衛の一揆を鎮圧
- 1462年11月23日-09:00|日本|京都府京都市|寛正3年11月2日|蓮田兵衛(土一揆指導者)が討ち死に
- 1463年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「ニヤライ・リヤミヤトウパティ」(~1469年国内分裂)
- 1463年-05:30|インド| |||<即位>ラウラ王がウヰジャナガル王国の南部へ侵攻
- 1463年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリティ王「バグラト2世」(~1478年死去)
- 1463年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「イヴァン・アレクサンドロヴィチ」(~1466年)
- 1463年-04:00|ジョージア| |||アフハズ公国がグルジアから分離
- 1463年-02:00|ギリシャ| |||<即位>ナクス摂政「ペトロニョ・ジャ・ベネ」(~1464年)
- 1463年-02:00|ギリシャ| |||<即位>ナクス公「フランチェスコ2世」(~同年)⇒「ジャコモ3世」(~1480年)
- 1463年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<即位>ウヰネツアのデユラツォ執達吏・長官「パオ・キレニ」(~1466年)
- 1463年-01:00|クワチア| |||<即位>クワチアとタルマフ・ハン「ステファン3世フランコハン」(~同年)
- 1463年-01:00|ドイツ| |||<即位>ブラウンスシュヴァイクゲツティンゲン侯「ウイヘルム1世」ブラウンスシュヴァイク公ハインリヒ1世の息子(~1473年)1482年死去
- 1463年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<即位>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(2期目~1464年)
- 1463年-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン王ファン2世に対する対立王(アヴィニョン家)「ペドロ5世」[コインブラ公「ペドロ」とウルジェイ女伯「エリサベ」の息子](~1466年死去37歳)
- 1463年-01:00|イタリア/トルコ| |||ウヰネツアがアク・ユル朝と同盟
- 1463年-01:00|イタリア/トルコ| |||ウヰネツア共和国オスマン帝国との戦争に突入/以後7度にわたる戦役に
- 1463年-01:00|セルビア/トルコ| |||オスマン帝国がボスニアを支配下に置く
- 1463年 05:00|エクアドル| |||第9代インカ皇帝「偉大な戦士」Pachacuti Inca Yupanqui, 息子Topaにエクアドル征服を命じる/トパはQuituを負かした後、海上に出てガラパゴス諸島、あるいはマルサス諸島を征服/グアヤキル湾周辺の部族の征圧には失敗
- 1463年1月8日-01:00|イタリア| |||<再任>ヴェネツア共和国「ジョゼフ・パオ・フレゴロ」(2期目~1464. 4)
- 1463年1月9日 00:00|イギリス| |||<死去>初代セントパウル「ウイリアム・ネヴィル」
- 1463年1月16日-09:00|日本| ||寛正3年12月27日|伊勢皇大神宮で31年ぶりに正遷宮が行われる
- 1463年1月18日-09:00|日本|茨城県結城市|寛正3年12月29日|古河公方成氏方の武将で上杉憲忠殺害の首謀者だった結城氏朝が結城城内で家臣の多賀谷氏に殺され、結城氏は氏広が継ぐ
- 1463年1月20日-09:00|日本| ||寛正4年|土佐光信が融通念仏縁起を描く
- 1463年1月20日-09:00|日本|静岡県湖西市|寛正4年|吉美庄(吉美)の応賀寺が、現在寺域(新居町中之郷)に移転
- 1463年1月20日-09:00|日本|東京都八丈町|寛正4年1月|八丈島で疱瘡六百人死亡
- 1463年2月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブラウンスシュヴァイクゲツティンゲン侯「オットー2世」
- 1463年2月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>ブラウンスシュヴァイクゲツティンゲン侯「ウイヘルム1世」ブラウンスシュヴァイク公ハインリヒ1世の息子、ゲツティンゲン侯領を継承し、ウオルフェンビュッテル侯領と同君連合を築く(~1473年)
- 1463年4月-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公「エロノール・ド・ブルボン」
- 1463年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<即位>サンマリノ共和国執政「シロラモ・テ・フランチェスコ・ベッリ」[マウリツィオ・デ・アントニオ]
- 1463年4月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<即位>アイルランド 副王代行「デズモンド」伯爵「トマス・フィッツジェラルド」(~1467年10月)
- 1463年4月21日-09:00|日本|京都府京都市|寛正4年4月3日|<即位>関白「二条持通」(~応仁元年5月10日)
- 1463年5月-04:00|ロシア| |||ヤロスラブリがモスクワに併合
- 1463年5月3日-09:00|日本|大阪府富田林市|寛正4年4月15日|<嶽山城の戦い>幕府軍の攻撃により畠山義就の嶽山城は陥落、義就は高野山、次いで紀伊、最後に吉野へ逃れた
- 1463年5月19日-09:00|日本| ||寛正4年5月|心敬の連歌論書「さざめごと」成る
- 1463年5月27日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア陸軍元帥(首相)「ラドビラ・アスティカイトス」(2回目~1471122)
- 1463年6月5日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| |||<死去>ボスニア王「ステファン3世トマシェヴィッチ」
- 1463年6月5日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<即位>ボスニア総督「ミサトール・メフメド・ベイ」(~1464年)
- 1463年6月5日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| |||<即位>ボスニア女王「カリーナ・コサチャ=コトマニッチ」(イタリア亡命~14781025没)
- 1463年6月5日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||ボスニアはオスマン帝国の一部(ボスニア・サンジャクとして)
- 1463年7月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン=ラウエンブルク公「ベルンハルト2世」
- 1463年7月16日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=ラウエンブルク公「ヨハン4世」(~15070815死去)
- 1463年7月30日-05:30|インド| |||<即位>ハフマニ朝第12代スルタン「ニザムッディーン・アフマド・シャー3世」
- 1463年7月30日-05:30|インド| |||<即位>ハフマニ朝第13代スルタン「シャムスッディーン・ムハンマド・シャー3世」(~14820326死去)
- 1463年8月20日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世(故シャルル7世の子、慎重王)、「ブルゴーニュ公」フィリップと「パロニス条約」(パロニスはフランス北部)を結ぶ/父故シャルル7世が割譲した北フランスのソム両岸の諸都市を大金で買い戻す(9月・10月に支払う)
- 1463年8月24日-09:00|日本|京都府京都市上京区|寛正4年7月10日|狩野正信が相国寺雲頂院に壁画観音と羅漢を描く
- 1463年9月12日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世がソム川流域をブルゴーニュ善良公から購入

1470迄 (1502件)

- 1463年9月16日-09:00|日本|インドネシア/マレーシア|沖縄県|寛正4年8月4日|琉球王の尚徳がマラッカ、スマタラと通交を再開
- 1463年9月18日-09:00|日本|和歌山県伊都郡九度山町|寛正4年8月6日|畠山義就、紀伊岡城を捨て、吉野に逃れる/畠山政長の兵、義就の義子畠山次郎を捕らえる
- 1463年9月19日-09:00|日本|石川県|寛正4年8月7日|<交替>加賀南半国守護「富樫泰高」⇒「富樫政親」(⇒応仁元(1467)年、一国守護~文明5(1473)年)
- 1463年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「チェッコ・デ・イ・ジ・ヨウ・アンニ・ダ・ウ・アッレ」 「ハ・スキノ・デ・イ・アントニオ」
- 1463年10月3日-09:00|日本|石川県|寛正4年8月21日|<死去>畠山義忠(不明)前能登守護
- 1463年11月9日-09:00|日本|京都府|寛正4年9月28日|京都で土一揆が起こり、徳政を求めるが、諸将に鎮圧される
- 1463年11月18日-01:00|トイ/オーストリア| |||<死去>上バエルク=ミューンゲン公「ヨハン4世」
- 1463年11月18日-01:00|トイ/オーストリア| |||<即位>上バエルク=ミューンゲン公「アルブレヒト4世狡猾公」アルブレヒト3世の3男(⇒15031201兼下バエルク=ラツワート公~15080318死去)
- 1463年12月2日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<死去>オーストリア大公・シュターアマルク公・カニチラ公「アルブレヒト6世」
- 1463年12月23日-09:00|日本|京都府京都市|寛正4年11月13日|<交替>山城国守護「畠山政長」⇒「山名是豊」(~応仁2(1468)年)
- 1463年12月23日-09:00|日本|京都府京都市|寛正4年11月13日|<任命>管領「畠山政長」(~応仁元(1467)年1月)
- 1464年-08:00|インドネシア| |||<即位>サトウラハサイ王国第10代スルタン「アブ・サード・アハマド3世」(~1466年)
- 1464年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン大公「ウァシーリー・イヴァノフ・イ・トクトノイ」(~1483年死去)
- 1464年-02:00|トルコ| |||<死去>カラマニ朝「イDamad2世 Ibrahim Bey」
- 1464年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ヤコブ・コーナ」(~1465年)
- 1464年-02:00|トルコ| |||<即位>カラマニ朝「イSultanzade ishak Bey」(~1465年)
- 1464年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン帝国がモリアを再征服
- 1464年-01:00|トイ| |||<死去>ブルンシュヴァイク=グエルンハーゲン侯「ハインリヒ3世」
- 1464年-01:00|トイ| |||<死去>リュネブルク侯「ベルンハルト2世」
- 1464年-01:00|トイ| |||<就任>東フリースラフ伯「Ulrich1世」(~14660925死去)
- 1464年-01:00|スペイン| |||<就任>アストリアス公(スペイン国王の推定相続人)「アルフォンソ」アナの叔父、後のカスティリヤ対立王アルフォンソ12世(~1468年~14680705死去)
- 1464年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・パン「エメリック・サボリスキ」スラヴォニア・パン(~1465年)
- 1464年-01:00|トイ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ヒンネブルク伯「アドルフ12世(10世)」(~1474年)
- 1464年-01:00|トイ| |||<就任>ブルンシュヴァイク=グエルンハーゲン侯「アルブレヒト2世」ハインリヒ3世の弟(~14850815死去)
- 1464年-01:00|ポルトガル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル総督「イサベル・グ・イジャコウ・イッチ」(~1470年)
- 1464年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領領事提督「Joao Rodrigues de Vasconcelos」(~1479年)
- 1464年-01:00|スペイン| |||<即位>グアラナ王国ナシル朝「アムール「アルハン・アリー」」(~1482年)
- 1464年-01:00|サンマリノ| |||ファエターノが自発的にサンマリノに合流
- 1464年 00:00|ポルトガル| |||<就任>キマランイス公「フェルナント2世」(~14830620死去)キマランイス伯、ブルガソン公
- 1464年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソングアイ帝国皇帝「スニ・アリ大王」(~14921106)
- 1464年1月6日-02:00|キプロス| |||キプロス王ジャック2世がジェノヴァ人からファマグーストを奪還
- 1464年1月9日-09:00|日本|長野県|寛正4年12月|越後の上杉右馬頭が信濃国高井郡高橋で高梨政高と戦い討死、幕府に提訴
- 1464年1月19日-01:00|イタリア| |||<就任>モンフェラート侯「グリエルモ8世」ジョヴァンニ・ジャコモの次男(~14830227死去)
- 1464年2月23日-08:00|中国| |||明・天順8年1月17日|<死去>明第8代皇帝「英宗天順帝(朱祁鎮)」
- 1464年2月28日-08:00|中国| |||明・天順8年1月22日|<即位>明第9代皇帝「憲宗成化帝(朱見深)」(~成化23年8月22日1487年9月9日)正統帝の子
- 1464年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ベントゥーリニ」 「シモネ・デ・イ・チェッコ・デ・イ・ベネット」
- 1464年4月1日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|寛正5年2月25日|<死去>日隆上人が本興寺で(80)本能寺を開山した日蓮宗の僧
- 1464年4月7日-09:00|日本|茨城県桜川市|寛正5年3月|武田信長、上総国真壁に真如寺を建立
- 1464年4月22日-09:00|日本|京都府京都市上京区|寛正5年3月16日|室町第泉西殿が完成
- 1464年4月25日 00:00|イギリス| |||エドワード4世の軍が、スコットランドから侵攻してきたランカスター派の軍をヘズリー・ヒムルの戦いで撃破
- 1464年5月15日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「ヘンリー・ボーフート」剥奪
- 1464年5月15日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「エドムント・ボーフート」(~14710504死去)
- 1464年5月15日 00:00|イギリス| |||ヘクスラムの戦いで、ランカスター派が敗れる
- 1464年5月15日-09:00|日本|宮崎県日南市|寛正5年4月9日|島津立久と伊東祐国、鶴戸山で会合/両家の和睦成立
- 1464年5月25日-01:00|フランス| |||<死去>ウエル伯・ルテル伯「シャルル1世」
- 1464年5月25日-01:00|フランス| |||<就任>ウエル伯・ルテル伯「ジャン2世」(~14910925死去)ウー伯
- 1464年5月27日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバラント伯「ジョン・コウイル」(~14700325ハース家に戻還、代わりにモンターギュー侯爵~14710414剥奪)
- 1464年5月31日-09:00|日本|滋賀県守山市|寛正5年4月25日|近江赤野井門徒の親鸞絵伝掛幅が出来る
- 1464年6月2日-01:00|トイ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ヒンネブルク伯「オットー2世」
- 1464年6月2日-01:00|トイ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ヒンネブルク伯「アドルフ12世」(~14741009死去)
- 1464年8月1日-01:00|イタリア| |||<死去>フィレンツェのシニョーレ「コジモ・デ・メディチ(イル・ウエッキオ)」
- 1464年8月1日-01:00|イタリア| |||<就任>フィレンツェのシニョーレ「ピエロ・デ・メディチ(イル・コッットーリ)」(~14691202死去)

1470迄 (1502件)

- 1464年8月9日-01:00|スウェーデン| |||<復位>スウェーデン王国国王「カール8世」(~14650130)
- 1464年8月14日-01:00|バチカン| |||<死去>第210代ローマ教皇「ピウス2世」58歳(誕生14051018)
- 1464年8月21日-09:00|日本|京都府京都市|寛正5年7月19日|<譲位>102代「後花園天皇」院政を開く
- 1464年8月21日-09:00|日本|京都府京都市|寛正5年7月19日|<踐祚>103代「後土御門天皇」/寛正6年12月27日即位~15000928
- 1464年8月30日-01:00|バチカン| |||<就任>第211代ローマ教皇「パウル2世」(~14710726死去)
- 1464年9月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「フリードリヒ2世紳士公」
- 1464年9月7日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホーエンシュテッティン公「オット3世」
- 1464年9月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「エルスト」フリードリヒ2世次男. 北マイセン、南テューリンゲン、ヴァイッテンベルクを継承(~14860826死去)
- 1464年9月7日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホーエンシュテッティン公「エリク2世」(~14740705死去)
- 1464年9月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「アルブレヒト」フリードリヒ2世3男. 南マイセン、北テューリンゲンを継承
- 1464年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・ディ・アントニオ・ベルツィ」 「ジョヴァンニ・カルチーニ」
- 1464年10月10日-09:00|日本|静岡県浜松市|寛正5年9月10日|遠江国蒲御厨代官大河内真家、遠江・三河両国の軍勢を率いて、同御厨東方諸公文の談合場所に押し寄せ狼藉を働く
- 1464年10月23日-09:00|日本|京都府京都市|寛正5年9月23日|<任命>室町幕府管領「畠山政長」(~応仁1(1467)年1月8日)
- 1464年12月-01:00|フランス| |||諸公達により公益同盟(反王権同盟)が結成/諸公達はルイに対して結束して反旗を翻す/ブルターニュ公、デュノワ伯、ブルボン公、ルイの実の弟であるペリ公シャルル・ド・フランス等に シャロレ伯シャルル(のちの突進公)が加担
- 1464年12月2日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「フランカ2世」40歳
- 1464年12月11日-09:00|日本|愛媛県|寛正5年11月13日|前管領細川勝元の兵が河野通春の軍勢と伊予で戦う/幕府が大内教弘に河野通春の追討を命じる
- 1464年12月26日-01:00|スウェーデン| |||<再任>スウェーデン王国摂政「ケイル・カールソン・ヴァーサ」(~14650811)
- 1465年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Marhum」(~1486年)
- 1465年-05:30|インド| |||<建国>ヒマケール国(都市設立は1488年)
- 1465年-05:30|インド| |||<即位>ウジヤガール王国(サンガマ朝)国王「ウーイルパークシャ2世」(~1485年)
- 1465年-05:00|カザフスタン/キルギスタン/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>大ボルク・ハン「アフマト・ハン」(~14810106死去)
- 1465年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「ケレ・ハン」建国/エンケ・ブラトの子(~1473年死去)
- 1465年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Khalilullah1世」
- 1465年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「アフマト」(~1481年)
- 1465年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン国ハン「マフマト・アストラハニ」(~1466年死去)
- 1465年-04:00|ジョージア| |||<即位>カブルジア国王「バグラト6世」(イメリティ王バグラト2世~1478年死去)
- 1465年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Farrukh Yassar1世」(~1500年死去)
- 1465年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ウエツィアのカンテ・イア公「ドメニコ・マルチェッロ(副公爵)」(~1466年)
- 1465年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤノス伯爵シントギョルジ」(~1467年10月)、 「ジギスムント・シエンギョルジ」(~1467年)、 「ペルトルト・エルター・バツハ」(~1468年)
- 1465年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>フィンランド公「カール・クヌートソン・ボンデ」(~14671112)
- 1465年-02:00|トルコ| |||<即位>カラマニ朝ベイ「Sultanzade Pir Ahmed Bey」(~1469年)
- 1465年-01:00|フランス| |||<就任>エタプ伯爵「Francis2世」ブルターニュ公(~1478年)
- 1465年-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルテルン公「アドルフ」(~1471年)
- 1465年-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国ルマンディエ公「シャルル2世」フランス王シャルル7世の末子(~1469年、兄ルイ11世によりキューエンスに転封)
- 1465年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Johannes Hinderbach」(~1486年)
- 1465年-01:00|ポズナア・ヘルツェゴビナ| |||<即位>ポズナア王「マティヤ・ラティウ・オイェウ・イチ・コトマニッチ」名目上(~1471年)
- 1465年 00:00|モロッコ| |||<即位>イドリス朝スルタン「Muhammad ibn Ali Idrisi-Joutey」(~1471年)
- 1465年 00:00|モロッコ| |||フェスでシャーリフ層が率いる民衆蜂起がおこりスルタンを殺害、シャーリフを代表とする政権を樹立(~1972)
- 1465年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「マルコルク・スウケト・ハン」殺害される
- 1465年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「モラン・ハン」(~1466年没)
- 1465年1月-01:00|モンテネグロ| |||<就任>セータ卿「イワン・ステハノヴィッチ」(~1490年7月没)
- 1465年1月5日-01:00|フランス| |||<死去>オールアン公「シャルル1世」70歳
- 1465年1月5日-01:00|フランス| |||<即位>オールアン公「ルイ2世」兼ヴァロア公「ルイ12世」フランス王ルイ12世(~14980407)
- 1465年1月27日-09:00|日本|京都府京都市北区|寛正6年|京都真珠庵の達磨図ができる
- 1465年1月27日-09:00|日本|島根県|寛正6年|<交替>石見国守護「山名持豊」⇒「山名成清」(~応仁元(1467)年)
- 1465年1月27日-09:00|日本|兵庫県淡路市|寛正6年|<死去>淡路国守護「細川持親」⇒「細川成春」(~文明17年5月15日(14850627)死去)
- 1465年1月27日-08:00|中国| ||明・成化1年1月1日|明・成化と改元
- 1465年1月29日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サヴォイア公「ルドヴィーゴ」
- 1465年1月29日-01:00|イタリア/フランス| |||<即位>サヴォイア公「アメーネ9世」(~14720330死去)
- 1465年2月5日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛正6年1月10日|(9日~)延暦寺衆徒が祇園感神院の犬神人150人あまりを従え、東山大谷本願寺を襲撃/僧蓮如、近江国堅田に逃れる

1470迄 (1502件)

- 1465年3月20日 00:00|イギリス| |||<死去>パカ女伯「マリー・ステュアート」
- 1465年3月27日-09:00|日本|静岡県富士宮市|寛正6年3月|大石寺(上条)九世日有、大客殿を創建
- 1465年3月27日-08:00|中国| ||明・成化1年3月|明で劉通ら湖北省の漢水上流農民による反乱がおこる(荊壤の乱)/劉通自立し漢を建国、徳勝と改元(~1466年旧閏3月)
- 1465年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ビアンコ・ディ・アントニオ」「パロ・ディ・アンソニョ・ディ・ソノ」
- 1465年4月1日-09:00|日本|京都府京都市|寛正6年3月6日|前夜の大風雨で、桂川の浮き橋が壊れる
- 1465年4月16日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛正6年3月21日|祇園社の犬神人が、延暦寺の命令で東山大谷本願寺を襲い、ことごとく破却
- 1465年4月26日-09:00|日本| ||寛正6年4月|この月、心敬、句集「心玉集」を自編
- 1465年5月16日-09:00|日本|京都府京都市|寛正6年4月21日|延暦寺僧徒、本願寺僧徒と闘争
- 1465年5月30日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ケント伯「エドモンド・ゲレイ」(~14900522死去)
- 1465年6月13日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|寛正6年5月20日|千葉氏の執権中村越前守胤頼は佐嘉庄に居た今川胤秋討伐軍をおこし佐嘉・川上に合戦し今川胤秋戦死/千葉氏は今川の所領も併せ領した
- 1465年6月17日-01:00|フランス/ベルギー| |||フランス王ルイ11世、「ブルゴニユ公家」と対立しているリエージュ市と「同盟」を結ぶ
- 1465年6月19日-09:00|日本|愛知県岡崎市|寛正6年5月26日|幕府政務執事伊勢貞親、三河守護細川讃岐守成之の意を受け、被官松平和泉入道信光・戸田十田弾正左衛門尉宗光に、井口(岡崎市井ノ口町)に砦を構えて乱を起こした東条吉良義藤被官衆の丸山中務入道父子・弟彦次郎・弟出家・大庭次郎左衛門・弟長満寺・尾尻七郎太郎・高力・黒柳・片山・築田左京亮・芦谷助三郎兄弟の討伐命じる/丸山中務入道父子は大平郷で戸田宗光に、大庭次郎左衛門は深溝で、芦谷助三郎は保母松平信光の子大炊助に討たれ、首は京都に送られる/松平弥九郎元心、深溝城を攻め、深溝松平大炊助忠定、大庭次郎左衛門を討取る
- 1465年7月2日-09:00|日本|愛知県豊田市|寛正6年6月9日|管領畠山尾張守政長、小笠原遠江守六郎光康に、豊田郡加茂村侵し割拠した高梨彌太郎信濃守為氏(村上兵部少輔属す)を討たせる
- 1465年7月16日-01:00|フランス| |||公益同盟が、モンリーの戦いでルイ11世を破り、廃位を迫る
- 1465年7月16日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー-島・ガーンジー-島主「Pierre de Breze」
- 1465年7月16日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島・ガーンジー-島主「Jacques de Breze」(~1467.10)
- 1465年7月18日-09:00|日本|愛媛県|寛正6年6月25日|幕府、伊予国河野通春を討つ/大内教弘、ひそかに兵を率いて河野氏を援ける
- 1465年7月23日-09:00|日本| ||寛正6年7月|堯恵の「善光寺紀行」出来る
- 1465年7月24日-09:00|日本|東京都八王子市|寛正6年7月2日|甲斐の武田信昌が小田野城に守護代の跡部景家を攻略
- 1465年8月-01:00|ベルギー-/フランス| |||フランス王ルイ11世と「同盟」したリエージュ市、「公益同盟」に宣戦布告
- 1465年8月1日-01:00|イタリヤ| |||<死去>フィレンツェの富豪・政治家C・メディチ
- 1465年8月11日-01:00|スウェーデン| |||<再位>スウェーデン王国摂政「イェンス・ベントソフ・オクセツユル」(~14661018)
- 1465年8月21日-09:00|日本|福岡県|寛正6年7月30日|<交替>筑後国守護「菊池重朝」「大友政親」⇒「大友親繁」(~文明9(1477)年6月隠居)
- 1465年9月6日-09:00|日本|京都府京都市|寛正6年8月16日|山城国で洪水、橋・人家が多数損壊
- 1465年9月13日-09:00|日本|静岡県磐田市|寛正6年8月23日|「寛正の兵乱」幕府から、横地鶴寿長秀・勝田修理亮の支援を受けた遠江守護斯波義廉方遠江郡代狩野加賀守、見付城攻落し遠江守護代甲斐祐徳方狩野介入道・狩野七郎右衛門尉久親父子自害させる
- 1465年9月15日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|寛正6年8月25日|畠山義就が吉野で拳兵、政長の領国河内を攻めた
- 1465年9月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|寛正6年9月3日|尋尊の依頼で、善阿弥が奈良の興福寺大乘院庭園を改造
- 1465年9月23日-09:00|日本|山口県|寛正6年9月3日|<死去>周防・長門・筑前・豊前国守護「大内教弘」興居島で(46歳)
- 1465年9月23日-09:00|日本|山口県|寛正6年9月3日|<任命>周防・長門・豊前国守護「大内政弘」(~明応4年9月18日(14951006)死去)
- 1465年9月25日-09:00|日本| ||寛正6年9月5日|京都・奈良、大風雨、洪水/淀橋が流される
- 1465年9月26日-09:00|日本|京都府京都市|寛正6年9月6日|<文正の政変>斯波義敏父子・伊勢貞親父子・蔭涼軒真蕊ら反斯波義廉派8名が京都から追放
- 1465年9月30日-09:00|日本|福岡県|寛正6年9月10日|<任命>筑前国守護「少貳教頼」(~応仁2年12月6日(14690118)死去)
- 1465年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロ・ディ・アントニオ」「シモーネ・ディ・バルト」
- 1465年10月3日-09:00|日本|奈良県桜井市|寛正6年9月13日|大和多武峰寺の大織冠(藤原鎌足)像が破裂し、多武峰が鳴動する/夜、天狗、流星が出る
- 1465年10月5日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世、「公益同盟」と、パリの北西20kmにあるコンフラン=サントリヌの約定」を結ぶ/北フランスのソム両岸を「ブルゴニユ公家」に返還/「シャロレ伯」シャルルに「ギューヌ伯領」と「ブーローニュ伯領」を譲渡/公益同盟は解体
- 1465年10月6日-09:00|日本|愛媛県|寛政6年9月16日|細川勝元の軍が、河野通春・大内政弘と伊予国井付で戦い、敗北

1470迄 (1502件)

- 1465年10月20日-09:00|日本|京都府|寛正6年10月|山城国西岡で徳政一揆が蜂起
 1465年10月27日-01:00|フランス| ||王弟「ペリー公」シャルル、「ルマンティ公」となることで、兄フランス王ルイ11世と和解
 1465年10月29日-09:00|日本|愛媛県|寛正6年10月10日|これより先、大内政弘、河野通春に合力して細川方の軍勢を破る
 1465年11月19日-09:00|日本|静岡県磐田市|寛正6年11月|今川義忠、横地・勝間田らを従えて府中の見付城に拠る遠江守護代「狩野宮内少輔」を攻め滅ぼす
 1465年11月19日-08:00|中国| ||明・成化1年11月|明が大藤峡の農民反乱を鎮圧
 1465年11月19日-09:00|日本|広島県|寛正6年11月1日|<死去>安芸国[佐東郡・安南郡・山県郡]守護「武田信繁」⇒「武田元綱」が嗣ぐ
 1465年11月29日-09:00|日本|京都府|寛正6年11月11日|山城国西岡に徳政一揆蜂起し東寺に拠る
 1465年12月22日-01:00|フランス| ||フランス王ルイ11世、「ブルターニュ公」フランス2世に「エタン」伯領を与えることで和解
 1466年-08:00|インドネシア| ||<即位>サム・ラハ・サイ王国第11代スルタン「アフマト 4世」(~同年)⇒第12代スルタン「マフムト」(~1468年)
 1466年-08:00|インドネシア| ||<即位>マジャパヒト王国国王「シガウイクラマワタハナ」(~1478年)
 1466年-05:30|インド| ||<建国>マルゴール国
 1466年-05:30|インド| ||ハマニ朝とマール地方のハルジが和平を締結
 1466年-04:00|ロシア| ||<死去>アストラハン・ハン「サイト・マフムト」
 1466年-04:00|ロシア| ||<死去>カザン・ハン「マフムト」
 1466年-04:00|ロシア| ||<即位>アストラハン・ハン「カム1世」ジュチ・ウルのマフムト・ハンの子(~1495年)
 1466年-04:00|ロシア| ||<即位>カザン・ハン「ハリル」(~1467年死去)
 1466年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ペルナルティエーノ」(~1469年)
 1466年-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ラム・マフムト・ハシヤ」(~1469年)
 1466年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのテュラツツ執達吏・長官「バルトロメオ・コンタリニ」(~1468年)
 1466年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「イワン・トウース・ト・ラカスラヴ・オニア・ハン」(~1467年)
 1466年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Raimondo de Parisio」(~1467年)
 1466年-01:00|クロアチア| ||<就任>スラヴ・オニア全土のハン「イワン・チェスミチュキ」(~1470年)
 1466年-01:00|スペイン| ||<即位>アラゴン王フアン2世に対する対立王「レナト1世」アンジュー公ルイ2世とヨランド・ダラゴンの息子(~1472年~14800710死去71歳)
 1466年-01:00|トルイ| ||<即位>メレンブルク=シュタルブ公「ウルリヒ2世」ハインリヒの息子(~14710713死去)
 1466年-01:00|トルイ| ||トルイ語の聖書がシュトラスブルグで印刷出版
 1466年 00:00|アイルランド| ||<死去>トモント王「トク・グ・アン・チョムハイト・オ・ブリアン」
 1466年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガーンジー-島副守護者「Thomas de la Court」(~同年)
 1466年 00:00|アイルランド| ||<即位>トモント王「コンチョバル・ナ・スロ・ナ・オ・ブリアン」トイルヘルバツハ・ホーク・オ・ブリアンの息子(~1496年没)
 1466年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>エス・キリスト島「タリア」長官「Alvaro Martins Homem1世」(~1474年)
 1466年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「モロン・ハン」殺害される
 1466年1月2日-09:00|日本|京都府京都市南区|寛正6年12月16日|遍照心院炎上
 1466年1月6日-09:00|日本|京都府京都市上京区|寛正6年12月20日|相国寺大徳院・勝定院炎上
 1466年1月17日-09:00|日本|愛媛県|寛正7年|<任命>伊予国守護「細川賢氏」(~不詳)
 1466年1月17日-09:00|日本|熊本県|寛正7年|<交替>肥後国守護「菊池為邦」隠居⇒「菊池重朝」が継ぐ(~応仁3(1469)年)
 1466年1月17日-09:00|日本|静岡県磐田市|寛正7年|連阿上人、今川家代官門名美作屋敷跡に、時宗嶺松山金台寺(天童)を開山
 1466年1月17日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|寛正7年|備中国洞松山の聖徳栄源和尚、曹洞宗龍頭山栄泉寺(三倉)を開基
 1466年1月17日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|寛正7年|佐田城主堀江下野守久実、命天慶受師を開山に藤谷山宿蘆寺(庄内町)開基
 1466年1月17日-09:00|日本|滋賀県守山市|寛正7年1月|<金森合戦(近江国)>延暦寺衆徒が蓮如の寄住する金森を攻め蓮如は赤野井に難を避ける(~9月)史上初の一向一揆
 1466年2月24日-09:00|日本| ||寛正7年2月10日|<死去>細川持春(67歳) 武将、歌人
 1466年3月8日-01:00|イタリア| ||<死去>ミラノ公「フランチェスコ1世・スフォルツァ」(誕生1401年)
 1466年3月8日-09:00|日本|埼玉県|寛正7年2月12日|<任命>武蔵国守護「上杉(山内)顕定」(~文明13(1481)年)
 1466年3月8日-09:00|日本|埼玉県本庄市|寛正7年2月12日|<死去>関東管領・上野・武蔵・伊豆国守護「上杉(山内)房顕」武蔵国五十子陣中で(32歳)
 1466年3月14日-09:00|日本| ||文正1年2月28日|「文正」に改元
 1466年3月14日-09:00|日本|鹿児島県大島郡喜界町|文正1年2月28日|琉球王尚徳が、朝貢が途絶えたことを理由に、500艘の船と200余の兵を率いて喜界島を攻撃併合
 1466年3月17日-09:00|日本|埼玉県|文正1年閏2月|武蔵南多賀谷(騎西町付近)や北根原(川里村)で河越・岩槻城の上杉軍と私市城の古河公方軍が合戦
 1466年3月17日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文正1年閏2月|遣明船、肥前国呼子浦で遭難
 1466年3月20日-01:00|イタリア| ||<即位>ミラノ公「ガレアツォ・マリア・スフォルツァ」フランチェスコの息子(~14761226死去)
 1466年3月22日-09:00|日本|山口県長門市|文正1年閏2月6日|<死去>上杉憲実(57) 大寧寺で/下野の足利学校を再

1470迄 (1502件)

興した

- 1466年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「パスキノ・デ・イ・アントニオ」「マリノ・デ・イ・ベンチュリーノ」
- 1466年4月24日-09:00|日本|山梨県北杜市|文正1年3月10日|<念場野辺山合戦>武田信昌は村上政清の武将杵淵下野守と戦う/多くの戦死者を出して両者とも撤退
- 1466年5月31日-09:00|韓国/朝鮮 | |||<就任>朝鮮国領議政「具致寛」(~11. 26)
- 1466年6月13日-08:00|中国 | ||明・成化2年5月|<死去>漢王「劉通」/石竜、継位
- 1466年7月 00:00|イギリス | |||ヘンリー6世がロンドン塔に幽閉される
- 1466年7月8日-09:00|日本 | ||文正1年5月26日|幕府、貸借の法を定める
- 1466年7月15日-09:00|日本 | ||文正1年6月3日|<任命>関東管領「(山内)上杉顕定」(~永正7(1510)年6月20日死去)
- 1466年7月15日-09:00|日本|群馬県|文正1年6月3日|<任命>上野・伊豆国守護「上杉(山内)顕定」(~永正7(1510)年6月20日死去)
- 1466年8月-02:00|ウクライナ | |||<死去>クリミア・ハン国第3代ハン「ハジ・1世ギレイ」
- 1466年8月-02:00|ウクライナ | |||<即位>クリミア・ハン国第4代ハン「ヌール・テウレト」(1期目~1467年)
- 1466年9月10日-09:00|韓国/朝鮮 | ||朝鮮・成化2年8月|朝鮮で職田法が制定される
- 1466年9月25日-01:00|ドイツ | |||<死去>東フリースラ伯「Ulrich1世」
- 1466年9月25日-01:00|ドイツ | |||<就任>東フリースラ伯「Theda Ukena」(~14941116死去)
- 1466年10月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジ・ローモ・デ・イ・フランチェスコ・ベ・ルツツィ」「チェッコ・デ・イ・ジョヴァンニ・ダ・ウ・ヴァル」
- 1466年10月4日-09:00|日本|愛知県|文正1年8月25日|<交替>尾張・遠江・越前国守護「斯波義廉」解任⇒「斯波義敏」(~9月14日)
- 1466年10月4日-09:00|日本|大阪府|文正1年8月25日|畠山義就は大和から河内に向かい諸城を落とす
- 1466年10月9日-01:00|ドイツ/ポーランド | |||ドイツ騎士団とポーランドの間に第2次トルン条約が締結され、13年戦争が終結/東ポモージェを得るとともに、東プロシヤに残ったドイツ騎士団国家に対しても、騎士団総長をポーランド王の封建的臣下とし、騎士団領をポーランド王に与えられた封土とする
- 1466年10月10日-09:00|日本|静岡県袋井市|文正1年9月|安井治郎左衛門、八幡社(浅羽町浅岡)を再興
- 1466年10月12日 10:00|日本|大阪府河内長野市|文正1年9月3日|夜、畠山義就、烏帽子形城(喜多町)を攻め落とす
- 1466年10月14日-09:00|日本 | ||文正1年9月5日|しし座流星群
- 1466年10月15日-09:00|日本|京都府京都市|文正1年9月6日|<文正の政変>室町幕府8代将軍足利義政の側近伊勢貞親と季瓊真薬らが諸大名の反発で追放され、政変に巻き込まれた真薬、義敏、赤松政則らも一時失脚して都を追われた
- 1466年10月16日-09:00|日本|京都府京都市|文正1年9月7日|斯波義廉を支持する山名宗全や朝倉孝景の被官が京中の土倉・酒屋を襲い、略奪・放火を働く
- 1466年10月18日-01:00|スウェーデン | |||<再任>スウェーデン王国摂政「エリク・アクセルソン・トット」(~14671112)
- 1466年10月22日-09:00|日本 | ||文正1年9月13日|北東から南西の方角に光り物が飛んだ/天狗流星
- 1466年10月23日-09:00|日本|福井県|文正1年9月14日|<交替>越前・尾張・遠江国守護「斯波義敏」解任⇒「斯波義廉」再任(~応仁2(1468)年7月10日解任)
- 1466年10月26日-09:00|日本|大阪府富田林市|文正1年9月17日|畠山義就、河内嶽山城・深田城(富田林市)を攻略
- 1466年10月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|文正1年9月18日|大和国の馬借、福智院などに放火
- 1466年11月8日-08:00|中国 | ||明・成化2年10月|漢・石竜、捕殺
- 1466年11月9日-09:00|日本|愛知県豊田市|文正1年10月2日|三河国奥下山郷の村社の社殿が造立される
- 1466年11月23日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文正1年10月16日|<第二次筒井城の戦い>畠山義就が筒井城を攻め、筒井順永軍は筒井城から脱出し南西へ約10km距離をおいた箸尾城に退避
- 1466年11月26日-09:00|韓国/朝鮮 | |||<就任>朝鮮国領議政「韓明カイ」(~14670509)
- 1466年12月2日-09:00|日本|静岡県駿東郡小山町|文正1年10月25日|<死去>飯盛山本蓮寺(駿東郡小山町湯船)開基本果院日朝(83歳)
- 1466年12月22日-09:00|日本|栃木県足利市|文正1年11月15日|長尾景人は下野足利庄勸農城に入部して下野に上杉方の拠点を築いた
- 1466年12月23日-01:00|チェコ | |||ボヘミア王「ジギスムント・ジエボラト」、教皇に破門され、内戦が勃発
- 1467年-08:00|マレーシア | |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・マンズール・シャー」(~1522年)
- 1467年-05:30|スリランカ | |||<即位>コッテ王国国王「ジャヤパ72世(Vira Parakrama Bahu7世)」(~1472年)
- 1467年-05:30|スリランカ | |||<復位>ジャナ王国国王「Kanakasooriya Cinkaiariyan」(~1478年死去)
- 1467年-05:30|インド | |||ジャルキ朝の首都ウヤンプルにジャミー・マスジッドが完成
- 1467年-05:00|モルデイグ | |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Sayyid Mohamed Keerithi Maha Radun」(~同年廃位)⇒<復位>「Hasan3世 Raadha Veeru」(2期目~1468年)
- 1467年-05:00|モルデイグ | |||<廃位>ヒルリ朝スルタン「Hasan3世 Raadha Veeru」
- 1467年-04:00|ロシア | |||<死去>カザン・ハン「ハリル」
- 1467年-04:00|ロシア | |||<即位>カザン・ハン「イブラヒム」ハリルの兄弟(~1479年死去)
- 1467年-04:00|ロシア | |||<即位>モスコフスキー・ナメストク「フォートル・ユリエウイチ」(~1472年)
- 1467年-03:30|イラン | |||<即位>パタスハニド朝君主「Jahangir1世」(~1499年)
- 1467年-02:00|エジプト | |||<死去>ブルジュー・マムルーク朝第16代スルタン「ザ・ヒル・フシカタム」
- 1467年-02:00|ウクライナ | |||<即位>クリミア・ハン国第5代ハン「メンケリ1世ギレイ」(1期目~同年)⇒第6代ハン「ヌール・テウレト」(2期目)

1470迄 (1502件)

~1469年)

- 1467年-02:00|エジプト| |||<即位>ブルジ-マムルク朝第17代スルタン「ザ-ヒル-ヤルバ-イ」(~1468年廃位)
- 1467年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||マニをヴェネツィアが占領(~1479年)
- 1467年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazara」(1期目~1468年)
- 1467年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「シャルル2世」(~1477年)
- 1467年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<変更>上バ イェルン=ミュンヘン公「ジギスムント」⇒ハ イェルン=ダ ッハウ公(~15010201死去)
- 1467年-01:00|オーストリア/ドイツ| |||ハ イェルン=ミュンヘンは小バ イェルンとハ イェルン=ダ ッハウに分割
- 1467年 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「トマス・フィッツジェラルド」
- 1467年 00:00|イギリス| |||<就任>初代アラン伯「トマス・ホイト」(~1469年剥奪)
- 1467年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「ジェームス・フィッツジェラルド」(~14871207死去)
- 1467年 00:00|イギリス| |||<就任>リンカーン伯「ジョン・ド・ラ・ポール」(~14870616死去)
- 1467年1月4日-09:00|日本|奈良県|文正1年11月28日|十市遠清の仲介で越智家栄らが政長方の大和国人筒井順永と和睦して大和の争乱は収まった
- 1467年1月17日-09:00|日本|京都府京都市|文正1年12月12日|延暦寺が京極持清の不法を訴え、神輿を奉じて入洛、祇園社に集結して、持清邸襲撃を企図。侍所所司代・多賀高忠逃亡/失火により祇園社焼失
- 1467年1月19日-09:00|日本|京都府京都市|文正1年12月14日|近江坂本の馬借、侍所頭人京極持清邸を襲撃
- 1467年1月25日-09:00|日本|京都府京都市|文正1年12月20日|京都火災/相国寺塔頭、川崎観音など延焼
- 1467年2月5日-09:00|日本/韓国/朝鮮|沖縄県|明・成化3年|琉球国使が朝鮮へ貢船
- 1467年2月5日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文正2年|総見寺金剛力士像できる
- 1467年2月5日-09:00|日本|静岡県袋井市|文正2年|江間小四郎義時家臣土屋三郎源維時、三清山明香寺(愛野)開基
- 1467年2月5日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文正2年|妙覚山大泉寺(黒田)10世日祐の代に堂宇を焼失
- 1467年2月5日-09:00|日本|島根県|文正2年|<交替>石見国守護「山名成清」⇒「山名政清」(~文明9(1477)年)
- 1467年2月5日-09:00|日本|栃木県足利市|文正2年|上杉秋定の家宰長尾景人、足利学校を移建
- 1467年2月6日-09:00|日本| |||文正2年1月2日|<死去>音阿弥/70歳(誕生:応永5(1398))義教、義政の2代の将軍の愛顧を受けた能役者。名は観世三郎元重
- 1467年2月6日-09:00|日本|大阪府|文正2年1月2日|<交替>河内・紀伊国守護「畠山政長」⇒「畠山義就」(~5月)
- 1467年2月12日-09:00|日本|京都府京都市|文正2年1月8日|<9日>畠山政長の兵、三条高倉・正親町京極あたりの市街地に火をかけ、酒屋・土倉の掠奪
- 1467年2月12日-09:00|日本|京都府京都市|文正2年1月8日|<解任>室町幕府管領「畠山政長」
- 1467年2月12日-09:00|日本|京都府京都市|文正2年1月8日|<任命>室町幕府管領「斯波義廉」(~翌年7月10日罷免)
- 1467年2月21日-02:00|キプロス| |||<死去>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「ヒェロライメント・サスタ」
- 1467年2月22日-05:00|日本|京都府京都市|文正2年1月18日|<御霊合戦(山城国)>畠山政長は午前4時頃に屋敷を放火、北上して京都郊外の上御霊神社に陣取った
- 1467年2月22日 05:00|日本|京都府京都市|文正2年1月18日|<御霊合戦(山城国)>山名宗全が午後2時頃に後土御門天皇・後花園上皇らを内裏から花の御所へ避難させる
- 1467年2月22日 07:00|日本|京都府京都市|文正2年1月18日|<御霊合戦(山城国)>午後4時頃、畠山義就が上御霊神社へ進軍して合戦が始まった
- 1467年2月23日-05:00|日本|京都府京都市|文正2年1月19日|<御霊合戦(山城国)>畠山政長と家臣の遊佐長直らは必死に畠山義就方と戦い午前4時頃まで持ちこたえたが、孤立状態で不利な状況に変わりはないため、上御霊神社の拝殿に放火して細川勝元の屋敷へ逃げ延びた
- 1467年2月25日-09:00|日本|京都府京都市|文正2年1月21日|西軍の朝倉孝景、京都の斯波持種・竹王父子を襲撃して追放
- 1467年2月28日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「ジョヴァンニ・ハ ッティスタ・オルシーニ」(~14760608没)
- 1467年3月6日-09:00|日本|長崎県対馬市|文正2年2月|以降<死去>対馬国守護「宗成職」⇒「宗貞国」が継ぐ(~明応元(1492)年隠居)
- 1467年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・ディ・マリノ」 「リッチオ・ディ・アンドレア」
- 1467年4月5日-09:00|日本|三重県|応仁1年3月|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「一色義直」⇒「世保(土岐)政康」(~文明3(1471)年解任)
- 1467年4月9日-09:00|日本| |||応仁1年3月5日|「應仁」に改元
- 1467年5月1日-09:00|日本|奈良県奈良市|応仁1年3月27日|山城国木津の土民、徳政を要求して蜂起、奈良に侵入
- 1467年5月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「黄守身」(~6. 21)
- 1467年6月-01:00|フランス| |||旗印の王令発布/地区制の都市市民兵隊を廃止し、パリのコムンを六十の首都防衛の軍事組織として、16~60歳のすべての組合員を所属させ、それぞれの隊にそれぞれの旗印を持たせた/国王の家来は61番目
- 1467年6月1日-09:00|日本|福井県|応仁1年4月29日|加賀国の長井家房、天野長景が若狭国に入り、武田信賢と協力して山名勢を国外に追放
- 1467年6月2日-09:00|日本|兵庫県|応仁1年5月|<交替>播磨・備前・美作国守護「山名持豊」解任⇒「赤松政則」再任(~文明16(1484)年2月更迭)
- 1467年6月11日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年5月10日|<就任>関白「一条兼良」(~文明2年7月19日)
- 1467年6月11日-09:00|日本|兵庫県姫路市|応仁1年5月10日|細川方の赤松政則、宮上野守を攻めて撃破し、播磨を占領、姫路城に入る/但馬の大田垣氏、播磨に侵入し赤松政則を攻めるが敗退

1470迄 (1502件)

- 1467年6月15日-01:00|オランダ/ベルギー/デンマーク/フランス/ルクセンブルグ| |||<死去>ブラバント公・リンブルフ公・ブルゴニユ公・ナミュール伯・アルトワ伯・フランドル伯・ブルゴニユ伯「フィリップ3世善良公」兼ルクセンブルグ公・エノー伯「フィリップ1世善良公」70歳(誕生13960731)
- 1467年6月15日-01:00|フランス/オランダ/ベルギー/ルクセンブルグ| |||<即位>フランス王国ブルゴニユ公・リンブルフ公・ブラバント公・エノー伯・アルトワ伯「シャルル1世突進公(勇胆公、無鉄砲公、猪突公)」兼ルクセンブルグ公・フランドル伯「シャルル2世勇胆公」(~14770105死去)
- 1467年6月15日-09:00|日本|大阪府|応仁1年5月14日|<交替>河内・紀伊国守護「畠山義就」⇒「畠山政長」再任(~明応2(1493)年間4月25日死去)
- 1467年6月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化3年5月16日|朝鮮で李施愛の乱が起こり、咸鏡道全土が政府に反抗
- 1467年6月20日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「パスとウェルズ」司教「ハート・ステリントン」(1期目~14700929)
- 1467年6月21日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「沈が」(~10.17)
- 1467年6月25日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年5月24日|<一色義直邸の戦い>東軍、本営の細川第と一色義直第の間にある土倉の正実坊を襲って占領/一色義直、西軍の陣中に退却
- 1467年6月27日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年5月26日|<上京の戦い(山城国)>応仁の乱始まる/東軍の武田信賢は夜明け前に堀川支流の小川西岸の実相院を、政長の側近成身院光宣は東岸の正実坊を占拠(政長は細川勝元の軍勢動員に伴い復帰)/武田軍は夜明け頃に一色邸を奇襲、義直は反撃出来ず完全の屋敷へ逃亡/東軍は義政を確保し西軍討伐の大義名分を得た。山名軍は実相院・正実坊の奪還に向かったが、東軍の反撃で完全邸付近まで退却/続いて中央の一条大宮で市街戦が行われ、細川勝元の同族の備中守護細川勝久の屋敷は堀川西岸にあり、西軍の勢力圏にあり孤立していたため、西軍はこの邸宅に目を付けて襲撃を開始。攻撃側は斯波義廉が家臣の朝倉孝景と甲斐敏光を引き連れて勝久邸へ向かい、対する東軍は勝久の救援に京極持清が出動、一条通りを西進して斯波軍に攻めかかったが、朝倉孝景の反撃に遭い敗走。京極軍の敗走後に赤松政則は一条通りから南に下がった正親町通りを進み迂回して斯波軍と交戦、斯波軍は長期戦で疲労していたため退却、屋敷で抵抗していた勝久は屋敷を焼いて脱出、同族の阿波守護細川成之の屋敷へ逃れた
- 1467年6月29日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年5月28日|<上京の戦い(山城国)>義政の停戦命令が出され両軍は戦闘を止めた/明確な勝敗はなかったが東軍は花の御所を押さえたため優位に立ち、西軍は突出していた勝久の屋敷跡を占拠しただけに終わった
- 1467年7月9日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年6月8日|<一条大宮の戦い>東軍の赤松政則、一条大宮で山名教之を破る/東軍は斯波義廉邸を攻め、細川成之は朝倉孝景の攻撃をはね返す/市街は再び大火災を起こし二条から上御霊の辻まで西は大舎人町から東は室町まで、その殆どが焼亡
- 1467年7月12日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年6月11日|<斯波義廉邸の戦い>東軍が斯波義廉邸を攻撃/洛中所々に火災が発生し、南禅寺・相国寺・誓願寺など寺院・邸宅を焼失
- 1467年7月15日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年6月14日|朝倉孝景、東軍の武田信賢勢を京都二条で破る
- 1467年7月22日-09:00|日本|佐賀県小城市|応仁1年6月21日|今川胤秋は探題渋川教直の軍と共に小城の千葉領に攻撃をかけた/今川胤秋は破れ討死/千葉教胤は今川領も合せ領有
- 1467年8月-01:00|フランス| |||王弟「ルマンティ公」シャル、¹「ブルターニュ公」フランス2世と結び、フランス王ルイ11世に反抗
- 1467年8月-01:00|イタリア/オーストリア| |||トリエステがオーストリアの支配を一時的に覆す(~14690814)
- 1467年8月19日-09:00|日本|福岡県太宰府市|応仁1年7月20日|対馬の宗盛直・筑前の少式直頼が大内政弘東上の隙を突くが敗死
- 1467年8月24日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年7月25日|武衛の構えが細川衆に攻め入られ、義廉の方、甲斐左京亮をはじめ屈強の兵が数人討死
- 1467年8月30日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|応仁1年8月|美濃国齊藤妙椿、美濃国瑞竜寺を建立
- 1467年9月7日-09:00|日本|静岡県沼津市|応仁1年8月9日|<死去>桃源院(大平)開山興国玄震
- 1467年9月14日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|応仁1年8月16日|丹波村雲合戦で西軍山名勢が東軍細川勢を破る
- 1467年9月29日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年9月1日|<三宝院の戦い(山城国)>西軍は攻勢に出て畠山義就が武田信賢の守る三宝院を放火して落とす
- 1467年10月-01:00|フランス| |||¹「ブルゴニユ公」シャル豪胆公(突進公)、王弟「ルマンティ公」シャルと¹「ブルターニュ公」フランス2世の「同盟」に加わる
- 1467年10月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「ウーチェスター伯」ジョン・ティフトン(~1470年4月没)
- 1467年10月 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島イギリス所長兼知事「Richard Harleston卿」(~14730113)
- 1467年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモネ・デ・アントニオ・ベルツィ」¹「マウツィオ・デ・アントニオ」
- 1467年10月4日-09:00|日本|神奈川県|応仁1年9月6日|<死去>相模国守護「上杉持朝」50歳⇒孫の「上杉政真」が継ぐ(~文明5年11月24日(14731213)死去)
- 1467年10月7日-09:00|日本|兵庫県|応仁1年9月9日|<死去>但馬・播磨・備後・安芸守護「山名教豊」(44歳)
- 1467年10月9日-02:00|エジプト/シリア-アラブ| |||<死去>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ザ-ヒル・フシカダム」
- 1467年10月9日-02:00|エジプト/シリア-アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ザ-ヒル・ヤルバーイ」(~12.4)
- 1467年10月11日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年9月13日|西軍が室町第の細川勝元邸を襲撃/畠山義就は内裏を占拠
- 1467年10月15日-01:00|フランス| |||王弟「ルマンティ公」シャル、¹「ブルターニュ公」フランス2世と共に、フランス北西部のルマンティに侵攻

1470迄 (1502件)

- 1467年10月16日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年9月18日|<東岩倉の戦い(山城国)>西軍の南禅寺山攻撃が始まった/東軍は激しく抵抗
- 1467年10月17日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「崔恒」(~14680107)
- 1467年10月28日-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>「ブルゴニユ公」シャルル豪胆公(突進公)、リエージュの軍隊を破り、占領
- 1467年10月29日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年10月2日|<東岩倉の戦い(山城国)>西軍は攻撃を中止して京都へ戻り、東軍はその隙に北から迂回して入京、御霊神社を通り東軍本陣へ辿り着いた。この戦いで南禅寺・青蓮院が炎上
- 1467年10月30日-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン| |||<死去>黒羊朝ベイ「ジャハン・シャー」
- 1467年10月30日-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン| |||<死去>黒羊朝ベイ「ハサン・アリー」(~1468年死去)
- 1467年10月30日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年10月3日|<相国寺の戦い(山城国)>西軍は更なる攻勢に出て東軍が構える花の御所・相国寺・内裏に進軍を開始、西軍の畠山義就・大内政弘・一色義直らの軍勢が朝倉孝景らと合流して、相国寺及び周辺の東軍に攻めかかった/相国寺には細川勝元の猶子細川勝之と勝元の家臣安富元綱・武田信賢らが守り、南方の烏丸殿・内裏・三条殿には京極持清らが構えていた/畠山義就と朝倉孝景の軍はまず相国寺を攻撃、激戦の末武田軍を退却させて相国寺を焼き討ち、烏丸殿・内裏・三条殿の兵も逃亡して相国寺を制圧/花の御所は相国寺のすぐ西側にあったためこちらも西軍に攻撃されたが、半分焼け落ちながらも陥落を免れた/東軍側は一旦退却したが、畠山政長らの援軍を得て反撃に転じ、相国寺跡地に陣取っていた一色軍と六角高頼軍を急襲して打ち破り相国寺を奪回/しかし、再度孝景が率いる西軍の軍勢が相国寺の占拠に成功し、一旦休戦となった/西軍は相国寺の奪取により東軍を追い詰めたが、双方に多大な死傷者を出す消耗戦となった
- 1467年11月11日-01:00|ポーランド| |||<死去>グワグフ公「ハンリ9世the Older」
- 1467年11月11日-01:00|ポーランド| |||<就任>グワグフ公「ハンリ11世」(~14760222死去)
- 1467年11月12日-01:00|スウェーデン| |||<復位>スウェーデン王国国王「カール8世」(3期目~14700515死去62歳)
- 1467年11月21日-09:00|日本|静岡県藤枝市|応仁1年10月25日|藤原永春、大井大明神(岡部町青羽根)宝殿修造
- 1467年11月27日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルル司教」リコト・ホーヤ・イ・エスクリヴァ」(~14721211)
- 1467年11月30日-09:00|日本|宮城県登米市|応仁1年11月4日|大崎教兼に唆された葛西清連(持信の弟)が登米郡吉田で葛西持信に反抗するが、敗れる
- 1467年12月4日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| |||<即位>ブルギー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ザ・ヒル・ティムルバガー」(~14680131)
- 1468年-08:00|インドネシア| |||<即位>サムトラパサイ王国第13代スルタン「ザイナル・アビデイン3世」(~1474年)
- 1468年-08:00|インドネシア| |||<即位>マジャパヒト王国第12代国王「ハレ・ケルタマ」(~1478年)
- 1468年-05:30|インド| |||<建国>マラコトラ国前身国家が領地(ジャキル)として
- 1468年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>ブハラ・ハン国シャイバニ朝ハン「アブル=ハイル=ハン」
- 1468年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Mohamed2世 Bavana Abaarana」(~1480年)
- 1468年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニ朝ハン「シャイフ=ハイタル」アブル=ハイルの子(~1468年)
- 1468年-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン| |||<死去>黒羊朝ベイ「ハサン・アリー」
- 1468年-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン| |||<即位>黒羊朝ベイ「ミルザ・ユースフ」(~14691022死去、白羊朝により滅亡)
- 1468年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤヌ・ホングラッチ」(2回目)+「マイクロ・シュチュボル」(~1472年)
- 1468年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴァニアのレヴァル司令官「ヨハン・ヴァルトハウス・フォン・ヘルゼ」(~1470年)
- 1468年-02:00|エジプト| |||<即位>ブルギー=マムルーク朝第18代スルタン「ザ・ヒル・ティムルバガー」(~同年廃位)→第19代スルタン「フシラフ・カーイトバニー」(~14960808息子に譲位)
- 1468年-02:00|エジプト| |||<廃位>ブルギー=マムルーク朝第17代スルタン「ザ・ヒル・ヤルバニー」
- 1468年-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「イサベル」アルフォンソの姉、後のカスティーリヤ女王イサベル1世(~1470年~15041126)
- 1468年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「ステファノ・マグリオ」(~1471年)
- 1468年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Tristano de Guevara」(~1470年)
- 1468年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイヤン朝スルタン「アフ=タシュフィン3世」(~同年)⇒「アフ=アブドゥッラー4世」(~1504年)
- 1468年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルヒツァ大公「テュヤム・ハパリッチ」
- 1468年 00:00|チャン礼諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島守護者「Geoffrey Walsh」(~14710414死去)
- 1468年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ウィリアム・ハーバート」(~14690727死去)
- 1468年1月2日-09:00|日本|京都府京都市北区|応仁1年12月7日|東軍、船岡山の太内政弘を攻撃/攻略できず
- 1468年1月7日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「曹錫文」(~8.4)
- 1468年1月8日-09:00|日本|滋賀県犬上郡豊郷町|応仁1年12月13日|京極持清、六角高頼方の高野瀬城を攻め落とす
- 1468年1月14日-09:00|日本|京都府京都市|応仁1年12月19日|乱で建仁寺塔頭・八坂塔・祇園社大門など焼亡
- 1468年1月17日-01:00|アルバニア| |||<就任>アルバニア同盟総司令官「ジョン・ジエリジ=カストリティ」(~14780615)
- 1468年1月19日-09:00|日本|茨城県|応仁1年12月24日|<死去>常陸守護「佐竹義人」(68歳)佐竹氏第12代当主
- 1468年1月25日-09:00|日本|愛知県田原市|応仁2年|普濟寺13門派の一人潔堂義俊、常光寺(渥美町)開基
- 1468年1月25日-09:00|日本|静岡県磐田市|応仁2年|匂坂六郎左衛門重能、見取村蔵参寺を岩田村に移し岩田山蔵参寺と号す。物外禅師を開山とする
- 1468年1月25日-09:00|日本|三重県|応仁2年|<任命>伊賀国守護「仁木政長」(~永正6(1509)年死去)

1470迄 (1502件)

- 1468年1月25日-08:00|中国| ||明・成化4年|<死去>モグーリスタン・ハン国ハン「ドースト・ムハンマド」
- 1468年1月31日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| ||<即位>ブルジーン(フェルナス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・カーイトバール」(~14960807死去)
- 1468年2月2日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト=ベルンブルク侯「Bernhard6世」アンハルト・デッサウ侯に統合
- 1468年2月3日-09:00|日本|広島県|応仁2年1月10日|西軍の備後衆約六十人が東軍山名是豊に降参
- 1468年2月17日-09:00|日本|大阪府|応仁2年1月24日|西軍大内政弘の軍が摂津の諸郡を攻略
- 1468年2月21日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ファイアル島トナリア長官「Joss de Utra」(⇒14821229ファイアル島・ピコ島トナリア長官~1495年)
- 1468年2月21日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<設立>ファイアル島トナリア
- 1468年2月23日-01:00|ドイツ| ||<死去>ドイツの発明家ヨハネス・グーテンベルク(1400年~)活版印刷を発明、書物を機械的に製造するという新しい方法を開拓
- 1468年2月25日-09:00|日本|福井県|応仁2年2月2日|武田信賢が若狭に城郭を築く
- 1468年3月18日-09:00|日本|愛知県知多市|応仁2年2月24日|<補任>尾張国知多郡守護「伊勢貞宗」
- 1468年3月24日-09:00|日本|静岡県駿東郡長泉町|応仁2年3月|日安、円蔵寺(長泉町元長窪)を創建
- 1468年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・デ・イ・ベンチュリーノ」「マリノ・ジヤンギ」
- 1468年4月6日-01:00|フランス| ||全国三部会を開きカール、ルマンディーが王領である事を認めさせる
- 1468年4月9日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年3月17日|<北大路烏丸の戦い>北小路烏丸で大内政弘勢と小早川熙平、毛利豊元の軍勢が合戦に及び、三百余が死傷
- 1468年4月12日-09:00|日本|兵庫県朝来市|応仁2年3月20日|丹波夜久野合戦で細川方内藤勢が山名方太田垣勢に敗れる
- 1468年4月13日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|応仁2年3月21日|<伏見の戦い>西軍主力の山名持豊(宗全)や畠山義就・大内政弘・斯波義廉らが京・伏見の稻荷山を攻める/稻荷山に拠る東軍・細川勝元の足軽大将で盗賊集団の首領・骨皮道賢が朝倉孝景(宗滴の父)に討たれる
- 1468年4月23日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|応仁2年4月1日|<第一次観音寺城の戦い>細川勝元率いる東軍に属していた京極持清の長男勝秀は六角高頼の居城観音寺城を攻撃し観音寺城の留守居役の伊庭行隆は敗れ城を明け渡した
- 1468年4月29日-01:00|フランス| ||フランス王ルイ11世、王弟「ルマンディー公」シャルを「ギューイヌ公」に任命することで弟と和睦
- 1468年5月18日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|応仁2年4月26日|六角高頼方の山内政綱、六角政堯の長光寺城を攻め落とす
- 1468年5月22日-09:00|日本|福井県|応仁2年5月|斯波義敏方の軍勢、朝倉氏など西軍斯波義廉与党を国中から追い出す
- 1468年5月27日-09:00|日本|石川県加賀市|応仁2年5月6日|加賀で赤松方小寺氏の軍勢と富樫方額氏の軍勢が交戦し、赤松方が勝利
- 1468年6月20日-09:00|日本|静岡県湖西市|応仁2年6月1日|延兼山妙立寺(湖西市吉美)六世大乘院日典、小和波村(湖西市太田)に釈迦堂(後の妙安寺)建立
- 1468年6月26日-09:00|日本|愛知県津島市|応仁2年6月7日|尾張国津島社本社の仮殿遷宮が行われる
- 1468年7月3日-01:00|フランス/イギリス| ||ブルジョー公シャルが、イングランド王エドワード4世の妹のマーガレットと再々婚
- 1468年7月23日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年7月4日|応仁・文明の乱で、吉田社・新長谷寺・浄蓮華院など焼亡
- 1468年7月24日-06:30|ミャンマー| ||<即位>アワ王「ティハトウ1世」(~1480年8月)
- 1468年7月29日-09:00|日本|愛知県|応仁2年7月10日|<交替>尾張国守護「斯波義廉」解任⇒「斯波松王丸(義寛)」任命(~文亀元(1501)年)
- 1468年7月29日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年7月10日|<交替>幕府管領「斯波義廉」(西軍派)解任⇒「細川勝元」(東軍~文明5年(1473年)5月11日)
- 1468年7月29日-09:00|日本|静岡県|応仁2年7月10日|<交替>遠江国守護「斯波義廉」解任⇒「斯波松王丸(義寛)」任命(~文明3(1471)年)
- 1468年7月29日-09:00|日本|福井県|応仁2年7月10日|<交替>越前国守護「斯波義廉」解任⇒「斯波松王丸(義寛)」任命(~文明3(1471)年5月21日)
- 1468年8月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李浚」(~14690103)
- 1468年8月16日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|応仁2年7月28日|北畠教具が土岐政康の上箕田城を攻略
- 1468年8月21日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応仁2年8月4日|鎌倉、大風で寿福地・極楽寺の塔が転倒/青蓮院・聖護院など炎上
- 1468年8月21日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年8月4日|応仁・文明の乱で、青蓮院・若王子・法勝寺・聖護院など焼亡
- 1468年8月24日-03:00|エチオピア| ||<死去>エチオピア帝国(ソモソモ朝)皇帝「ザラ・ヤコブ・ベ・エテ・マリアム」
- 1468年9月4日-09:00|日本|静岡県静岡市|応仁2年8月18日|由比にて一揆(両由比氏為光系と光茂系の争い)
- 1468年9月6日-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(ソモソモ朝)皇帝「ベ・エテ・マリアム・ザラ・ヤコブ」(~14780819死去)
- 1468年9月7日-09:00|日本| ||応仁2年8月21日|神奈川・三重・兵庫に大風/極楽寺や寿福寺の十三重塔が転倒
- 1468年9月8日 00:00|イギリス/デンマーク/ノルウェー| ||シトランド諸島はデンマーク・ノルウェーによってスコットランドに抵当に入れられた
- 1468年9月10日-01:00|フランス| ||フランス王ルイ11世のブルジョア侵攻を受けた「ブルジョア公」フランソワ2世、フランス西部のアンジで「アンジ条約」を結び、フランス王と和睦

1470迄 (1502件)

- 1468年9月11日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応仁2年8月25日|東軍の細川勢が丹波から嵯峨に侵攻して西軍と合戦に及び、六、七十人ほどが戦死
- 1468年9月12日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年8月26日|法性寺に陣取る西軍を東軍が攻め、泉涌寺、妙法院を焼く
- 1468年9月20日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応仁2年9月4日|西軍、仁和寺を焼く
- 1468年9月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化4年9月7日|<譲位>李氏朝鮮国王「世祖」上王となった(翌日に51歳で崩御)
- 1468年9月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化4年9月7日|<即位>李氏朝鮮国王「睿宗」(~14691231死去)
- 1468年9月22日-09:00|日本|岐阜県郡上市|応仁2年9月6日|篠脇城(大和町)東下野守氏教、美濃守護代齋藤妙椿に占拠される
- 1468年9月23日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年9月7日|応仁の乱、船岡山合戦により天龍寺・臨川寺・宝幢寺など焼亡
- 1468年9月23日-09:00|日本|京都府京都市北区|応仁2年9月7日|<船岡山の戦い>東軍・野田泰忠、嵐山・法輪寺を攻撃、西軍敗走/東軍、船岡山城を焼き退陣
- 1468年10月1日-01:00|サマリ| ||<就任>サマリ共和国執政「トウゴ・イコ・テ・イ・マリノ・カチニ」「チェッコ・デ・イ・ジ・ヨウ・アンニ・ダ・ウ・アッリ」
- 1468年10月2日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|応仁2年9月16日|<手越河原合戦>伊東伊賀入道道安祐遠、今川義忠にお供をして戦い、嫡子九郎祐範・弟修理進時氏・被官小北三郎祐貞・中間5人討死し、数人の負傷者を出す
- 1468年10月11日-01:00|フランス| ||「ブルゴニユ公」シャルル豪胆公(突進公)、リエージュ市(現ベルギー)が反旗を翻したという報を受け、フランス王ルイ11世の身柄を拘束し、「パロニス条約」を結ばせる/フランス北部の「ピカルデー全土」を割譲させる/王弟「ルマンデイ公」シャルルには「ギューイニス」ではなく、フランス北東部の「シャンニユ」を与える
- 1468年10月16日-09:00|日本|福島県白河市|応仁2年10月|宗祇、白河へ下向「白河紀行」できる
- 1468年10月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|応仁2年10月7日|<死去>摂津国西成郡守護「細川持賢」⇒「細川政国」が継ぐ(~文明14(1482)年)
- 1468年10月23日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|応仁2年10月8日|<綱取原合戦>新田方面から公方勢が西進、玉村方面からは総大将上杉顕定勢が東に進み毛呂島、綱取原で合戦、上杉軍が勝利
- 1468年10月26日-01:00|ベルギー/フランス| ||「ブルゴニユ突進公、リエージュを蹂躪/リエージュ公に対して蜂起したリエージュの町は四日間に渡る激しい市街戦の果てに壊滅させられた
- 1468年11月6日-09:00|日本|京都府向日市|応仁2年10月22日|東軍・野田泰忠ら、鶏冠井(かいで)城の奪回を図るが奪回ならず
- 1468年11月28日-09:00|日本|福井県|応仁2年閏10月14日|斯波義廉、越前国に朝倉孝景を遣わし斯波義俊を討つ
- 1468年12月-01:00|スペイン| ||<死去>3代ニポラ伯「Juan Alonso de Guzman」
- 1468年12月-01:00|スペイン| ||<死去>初代マテオ・シトニア公「フアン・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・スラス・デ・フィゲロア・ホスコ」
- 1468年12月-01:00|スペイン| ||<就任>2代マテオ・シトニア公「エンリケ・ペレス・デ・グスマン・イ・フォンセカ」(~1492年死去)先代の子
- 1468年12月13日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡竜王町|応仁2年閏10月29日|高頼方の山内政綱、弓削において、六角政堯を破る/弓削の瑞光寺七堂伽藍は残らず焼失
- 1468年12月15日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年11月2日|かつての東軍大将足利義視が斯波義廉邸(武衛陣)に入り、西軍に迎えられ、將軍足利義視、管領斯波義廉で西幕府(西軍)体制の正当化をはかる
- 1468年12月18日-09:00|日本|滋賀県守山市|応仁2年11月5日|六角政堯、京極持清、六角高頼方の守山城を攻め落とす
- 1468年12月21日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|応仁2年11月8日|<第二次観音寺城の戦い>六角政堯と京極持清の連合軍は観音寺城を攻め落とすべく攻撃を開始、陣代山内政綱は防戦したが守り切ることができず火を放ち敗走
- 1469年-07:00|カンボジア| ||<即位>カンボジア王国国王「レアチア・レアミトヒッテイ」(~1475年)
- 1469年-07:00|カンボジア| ||<廃位>カンボジア王国国王「ニヤクイ・リヤミトクバティ」国内分裂
- 1469年-05:30|インド| ||<即位>マルワー・スルタン朝(ハルジー朝)スルタン「ギヤースッディーン・シャー」(~1500年)
- 1469年-05:30|スリランカ| ||キャンディ王国が始まる(あるいは、ウタラ王国)
- 1469年-05:00|ガザフスタン| ||<即位>ガザフ汗国ハ「ジャニベク・ハン」ハラクの子(~1480年死去)共治
- 1469年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>モグリスタン・ハン国ハ「ユヌス」ワイスの子(~1487年)
- 1469年-05:00|ガザフスタン| ||ガザフ人はウズベク汗国を破り、西部、北部、南東部を除く現在のガザフスタンの領土の大部分を占領
- 1469年-04:00|ロシア| ||<死去>カシモフ・ハン国(ガザン・ハン国系)ハ「カスィム」
- 1469年-04:00|ロシア| ||<即位>カシモフ・ハン国(ガザン・ハン国系)ハ「ダニヤール」カスィムの子(~1486年)
- 1469年-04:00|ロシア| ||<即位>シビル・ハン「サイト・イブラヒム(イバク)」(~1495年死去)
- 1469年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンティア公「ジローラモ・ダ・モリッ」(~1472年)
- 1469年-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「イシャク・パシャ」(1期目~1472年)
- 1469年-02:00|トルコ| ||<即位>カラマニ朝ヘイ「Kasim Bey」(~1483年)
- 1469年-02:00|エジプト| ||スルカーディル侯国がマムルーク朝内に進出
- 1469年-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト・テッサウ侯「Albert 5世」
- 1469年-01:00|スペイン| ||<就任>リパゴルサ伯「アルフォンソ」(~1485年)
- 1469年-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ公「シャルル」ペリー公(~1472年)
- 1469年-01:00|クロアチア| ||<即位>ホルツァ大公「ステイハ・ミクリッチ」

1470迄 (1502件)

- 1469年-01:00|フランス| |||<転封>ルマンデー公「シャル2世」⇒ギユイヌ(兄ルイ11世により)
- 1469年 00:00|イギリス| |||<就任>初代バカン伯「ジェームズ・ステュアート」(~1487年)
- 1469年 00:00|イギリス| |||<剥奪>初代アラン伯「トマス・ホイト」
- 1469年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第6代国王「アツヤカトル」(~1481年)
- 1469年1月-02:00|ウクライナ| |||<復位>クリミアハン国第7代ハン「メンクリ1世ギレイ」(2期目~1475. 3)
- 1469年1月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「朴元亨」(~2. 3)
- 1469年1月13日-09:00|日本|京都府|応仁2年12月|<任命>丹後国与謝郡守護「摂津之親」(~一時)
- 1469年1月13日-09:00|日本|滋賀県|応仁2年12月|<交替>近江国守護「六角高頼」解任⇒「六角政堯」(2度目~文明元(1469)年5月)
- 1469年1月14日-09:00|日本|京都府京都市|応仁2年12月2日|東軍の疾足(足軽)が洛中の西邑を焼く
- 1469年1月18日-09:00|日本|福岡県|応仁2年12月6日|<死去>筑前国守護「少貳教頼」大内氏の筑前守護代仁保盛安に筑前恰土郡の高祖城を攻めおとされ自決. 遺児頼忠(のち政資)は対馬に逃れた逃れた
- 1469年1月18日-09:00|日本|福岡県|応仁2年12月6日|<任命>筑前国守護「大内政弘」(~明応4年9月18日(1495)1006)死去)
- 1469年2月4日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「韓明カ」(~9. 27)
- 1469年2月8日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<死去>ティムール朝アミール「アブー・サイド」ウズン・ハンの戦いに敗れ捉えられるとシャー・ルフの曾孫で彼の政敵であったヤード・ガール・ムハマトに引き渡され処刑された
- 1469年2月12日-09:00|日本|愛知県犬山市|応仁3年|室町幕府の管領斯波氏の家臣であった織田広近が尾張丹羽郡に木ノ下城(犬山城)築城/愛知県
- 1469年2月12日-09:00|日本|大阪府|応仁3年|<交替>和泉下半国守護「細川頼久」⇒「細川持久」(~文明15(1483)年)
- 1469年2月12日-09:00|日本|滋賀県大津市|応仁3年|蓮如が近江大津に顕証寺を建立
- 1469年2月12日-09:00|日本|長崎県壱岐市|応仁3年|<任命>壱岐国守護「少貳政資」(~不詳)
- 1469年2月12日-09:00|日本|北海道|応仁3年|再びアイヌの蜂起起こる
- 1469年2月17日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝(サルカント)政権)アミール「スルタン・アフマド」アブー・サイドの長男(~1494年死去)
- 1469年2月22日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||アラゴン、英国、ブルゴニユが同盟
- 1469年3月23日-09:00|日本|広島県尾道市|応仁3年2月10日|山名是豊、小早川氏一族とともに、御調郡杉原芋原で山内豊成らの西軍を破る
- 1469年3月24日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝(ハート政権)アミール「フサイン・ハイク」(~1506)504死去)
- 1469年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ヒェアンコ・デ・イアントニオ」「シモネ・デ・マリノ・デ・ジョヴァンニ」
- 1469年4月7日-09:00|日本|群馬県太田市|応仁3年2月25日|岩松家純、金山城(太田市)を築く
- 1469年4月11日-09:00|日本|愛知県津島市|応仁3年2月29日|室町幕府の管領斯波氏の家臣であった織田広近が尾張丹羽郡に木ノ下城(犬山城)築城/愛知県
- 1469年4月12日-09:00|日本|静岡県掛川市|応仁3年3月|<死去>龍燈山法昌院開山通山玄達
- 1469年4月24日-09:00|日本|広島県|応仁3年3月13日|東西条郡代安富行房や安芸国人ら備後国の山名是豊の陣を攻落す
- 1469年4月27日-09:00|日本|京都府京都市左京区|応仁3年3月16日|<芝薬師堂の戦い>東軍・安富又次郎、西岡被官衆ら、芝薬師堂を攻撃/山名宗全の本陣まで攻め込むが、宗全軍の防戦により敗走
- 1469年5月 00:00|イギリス| |||<就任>デヴォン伯「Humphrey Stafford」(~8. 17死去)
- 1469年5月3日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア対立王「マティアス1世・コルヴァン」ハンガリー王マチャーシュ1世(~1490)406死去)兼モウヴァ辺境伯(~1479)721)
- 1469年5月12日-09:00|日本|京都府|応仁3年4月1日|<交替>丹後国守護「一色義直」(西軍)⇒「武田信賢」(~文明3年6月2日(1471)10620)死去)
- 1469年5月12日-09:00|日本|京都府|応仁3年4月1日|武田信賢の部将逸見・粟屋・温科氏ら、細川持賢の家臣天竺孫四郎とともに丹後に討ち入って一色義直を圧迫
- 1469年6月1日-09:00|日本|沖縄県|明・成化5年4月22日|<死去>琉球国王「尚徳」
- 1469年6月2日-09:00|日本|京都府京都市|応仁3年4月22日|<西岡の戦い(山城国)>谷の堂を根拠とする西岡国人衆は鶏冠井城に籠城する西軍を襲撃したが畠山義就が出撃、谷の堂は落とされ西岡国人衆は丹波へ逃亡. 西岡を含む乙訓郡は西軍が制圧
- 1469年6月3日-09:00|日本|沖縄県|応仁3年4月23日|死去)琉球の中山王尚徳/29歳(誕生:嘉吉1(1441))/国人らは世嗣を認めず、金丸(尚円)を王に迎える(第2尚氏)
- 1469年6月8日-09:00|日本| |||文明1年4月28日|「文明」に改元
- 1469年6月10日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文明1年5月|若狭守護武田信賢、京と若狭の通行確保のため北白川に城郭を築く
- 1469年6月10日-09:00|日本|滋賀県|文明1年5月|<交替>近江国守護「六角政堯」解任⇒「京極持清」(~文明2年8月4日(1470)0830)死去)
- 1469年6月10日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文明1年5月|<第三次観音寺城の戦い(近江国)>六角高頼は焼亡破却された観音寺城を修築して拠る/京極持清、六角政堯が攻撃するが、撃退
- 1469年6月10日-09:00|日本|福岡県太宰府市|文明1年5月|少貳政資、ふたたび太宰府奪回
- 1469年6月21日-09:00|日本|岐阜県|文明1年5月12日|斎藤妙椿(59)が東常縁の詠歌に感じて、美濃の侵略地を返還
- 1469年7月9日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|文明1年6月|千葉教胤は大村日向守家親を討伐のため藤津に

1470迄 (1502件)

- 兵を出したが戦わずに逃げ帰る/教胤の兵船が大町沖にさしかかった折、暴風がにわかにおこり教胤は溺死
 1469年7月24日-09:00|日本|大阪府|文明1年6月16日|大内政弘が摂津へ向かい東軍の拠点を殆ど奪い取り山城周
 辺は西軍に押さえられた
 1469年7月26日 00:00|イギリス| |||ヨーク家派の領袖ウリック伯が裏切って兵を起こし、ヨーク家の国王エドワード4世を逮捕
 /しかしウリック伯は国内の混乱をおさめ切れず、9月にエドワード4世を釈放することになる
 1469年7月26日-09:00|日本|愛媛県南宇和郡愛南町|文明1年6月18日|興禅寺の宗念、宇和郡篠山神宮寺の不動明
 王像を造らせる
 1469年7月27日 00:00|イギリス| |||<死去>ヘンリック伯「ウィリアム・ハーバート」
 1469年7月27日 00:00|イギリス| |||<就任>ヘンリック伯「ウィリアム・ハーバート」(~1479年)
 1469年8月1日-01:00|フランス| |||サン・ミッシェル騎士団を作る/最高位の諸公達から選ばれた騎士団員に対し金の貝殻
 を紐で結んで作った首飾りを贈った
 1469年8月7日-09:00|日本|沖縄県|明・成化5年7月|<即位>琉球国王「尚円」(~成化12年7月28日(14760817)死去)琉
 球(首里城)統一
 1469年8月15日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リウネ騎士団団長「ヨハン・フォン・メンゲデ・オストホフ」
 1469年8月15日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リウネ騎士団団長代行「ヨハン・フォン・クリッケンベック」(~14700107)
 1469年8月17日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴァン伯「Humphrey Stafford」
 1469年8月17日-09:00|日本|京都府京都市|文明1年7月10日|応仁・文明の乱で、東軍により清水寺・建仁寺・建仁寺
 など焼亡
 1469年8月19日-09:00|日本|大分県|文明1年7月12日|<補任>豊後国守護「大友親繁」/親繁は対馬に逃れていた少
 弐頼忠らとともに大内教幸を擁して豊前や筑前・肥前に攻め入る
 1469年9月1日-09:00|日本|滋賀県東近江市|文明1年7月25日|京極持清方、高頼方の愛知郡押立城を攻め落とす
 1469年9月6日-09:00|日本|滋賀県東近江市|文明1年8月初め|京極持清方、高頼方の神崎郡梁瀬城を攻め落とす
 1469年9月18日-09:00|日本|高知県|文明1年8月13日|雪舟らが乗り込む遣明船が帰国/摂津が大内氏に占拠され
 たため土佐に入港
 1469年9月23日-09:00|日本|兵庫県神崎郡福崎町|文明1年8月18日|持清方の多賀高忠、高頼方の山内政綱の守る
 金剛寺城を攻め落とす/この時、甲賀武士佐治一族、活躍するが、部下の戦死者も多く、佐治越前守為重の息子も
 戦死
 1469年9月25日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文明1年8月20日|京極方の多賀高忠、高頼方の慈恩寺城も破る
 1469年9月27日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪允成」(~14700506)
 1469年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「バルトロ・デ・イ・アントニオ」「メット・デ・イ・メット・ボネリ」
 1469年10月1日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文明1年8月26日|京極方の多賀高忠、観音寺城下石寺において高
 頼方を破る
 1469年10月19日-01:00|スペイン| |||スペイン、カスティリヤ王女のイザベル(18)とアラゴン王子のフェルナンド(17)がバリャドリッドで
 結婚/スペイン王国の基礎が築かれる
 1469年10月22日-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン| |||<死去>黒羊朝「イルミダ・ユスフ」白羊朝により滅亡
 1469年10月26日-09:00|日本|岡山県新見市|文明1年9月21日|備中新見荘の百姓が、代官寺町又三郎の入部に反対
 して一揆を起こす
 1469年11月19日-09:00|日本|兵庫県神戸市兵庫区|文明1年10月16日|東軍山名是豊・赤松政秀ら大内政弘の兵を
 兵庫で撃破
 1469年11月19日-09:00|日本|広島県|文明1年10月16日|これより先、備後国で土一揆蜂起し徳政を要求/宮田教言
 ,仁保弘有の合力を得てこれを鎮圧
 1469年11月20日-09:00|日本|兵庫県神戸市兵庫区|文明1年10月17日|一条政房、兵庫で東軍に殺される
 1469年12月2日-01:00|イタリア| |||<死去>フィレンツェのシニョレ「ピエロ・デ・メディチ(イル・ゴットロ)」
 1469年12月2日-01:00|イタリア| |||<就任>フィレンツェのシニョレ「ロレンツォ・デ・メディチ(イル・マンフィコ)」(~14920408死去)
 1469年12月24日-09:00|日本|奈良県|文明1年11月21日|南朝皇子の末裔が吉野と熊野で蜂起
 1469年12月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化5年11月28日|<死去>李氏朝鮮国王「睿宗」19歳
 1469年12月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化5年11月28日|<即位>李氏朝鮮国王「成宗」(~14950120死去)
 1470年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハハン・スルタン「ムハンマド・シャー」(~1475年没)
 1470年-05:30|インド| |||<建国>ラタック国ナムルギヤル王朝
 1470年-05:30|スリランカ| |||<即位>コッテ王国国王「Bhuvanai kabahu6世」(~1478年)
 1470年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リウネのレヴァル司令官代行「エルヴィント・フォン・ベラースハイム大尉」(~同年)⇒「デイト
 リヒ・フォン・デア・トルネブルク」(~1471年)
 1470年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマダニス・ハン「Omer・ベイ」(~1485年)
 1470年-02:00|トルコ| |||イスタンブールに、ファティヒ・モスクが建設
 1470年-02:00|キプロス/イタリア| |||キプロス王国は相続者を欠いたことから断絶し、ヴェネツィア共和国がキプロスを植民地と
 して手に入れた
 1470年-01:00|スペイン| |||<再任>アストリアス公(スペイン国王の推定相続人)「アナ・イザベル」世の姪。後のポルトガル王妃(~14
 75年~15300212死去)
 1470年-01:00|クアチア| |||<就任>クアチアとダルマチア・ハン「フランチエ・ポドマニッキ」スラヴォニア・ハン(1回目~1472年)
 1470年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giorgio de Xabica」(1期目~1471年)
 1470年-01:00|ポズナń・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナń総督「ヤヌス・ベイ」(1回目~1474年)
 1470年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ソング・アソウ」(14910523

1470迄 (1502件)

よりヨハ1世) (~1509年没)

- 1470年 00:00|イギリス| |||<死去>2代エドワード「ニコラス・ヘイ」
- 1470年 00:00|イギリス| |||<就任>3代エドワード「ウィリアム・ヘイ」 (~15070114死去)
- 1470年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ヒンリック・ケフケン」 (~?)
- 1470年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>グランド・サード島トリア長官「Duarte Barreto do Couto」 (~1475年死去)
- 1470年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<設立>グランド・サード島トリア
- 1470年 05:00|エクアドル/ペルー| |||インカ皇帝となったTupac Yupanqui, 北ペルーのチム帝国を征服/その後このペルー王国も手中に収める/中南部を支配するカヤリス王国(現カヤリス州インガピルカ)と、激戦の末に和睦
- 1470年1月3日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文明1年12月|東軍・細川勝元に与する赤松政則が置塩城を築城
- 1470年1月3日-09:00|日本|福岡県太宰府市|文明1年12月|大内軍は大宰府の少貳政資を包囲/戦いは翌文明2年に持ちこされ、大内軍は筑前の根拠城に引揚げた
- 1470年1月3日-09:00|日本|福岡県行橋市|文明1年12月|大内政弘は大軍を九州に派遣して反旗を翻へした大内道頓(教幸)を豊前の馬岳城に攻め、これを自刃に追いやった
- 1470年1月5日 00:00|イギリス| |||<就任>ペットフォード公「ジョージ・ベイル」初代モンターギュー侯の長男 (~1478. 3剥奪)
- 1470年1月7日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴォニア騎士団団長「ヨハン・ヴォルトス・ファン・ヘル」 (~1471年10月)
- 1470年2月1日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳1年|大越・洪徳と改元 (-1497)
- 1470年2月2日-09:00|日本|愛知県北設楽郡設楽町|文明2年|菅沼定信、田峯に築城し、城鎮護の為同地の高勝寺に十一面観音を勧請し、日光寺を再興し菩提寺とする
- 1470年2月2日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|文明2年|大友憲義(恕林長忠)、一州正伊(雙林寺二世)を開山にして下牧(月夜野町)に玉泉寺を創建
- 1470年2月2日-09:00|日本|佐賀県|文明2年|<任命>肥前国守護「少貳政資」 (~明応2(1493)年)
- 1470年2月2日-09:00|日本|滋賀県東近江市|文明2年|八幡村に永源寺が開創
- 1470年2月2日-09:00|日本|静岡県|文明2年|遠江守護今川義忠は幕府に仕える伊勢盛定の娘北川殿と結婚(北川殿・伊勢盛時(早雲)の父である伊勢盛定は今川家との申次衆だった)
- 1470年2月2日-09:00|日本|静岡県袋井市|文明2年|曹洞宗月見山観正寺(山科)創立
- 1470年2月2日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文明2年|沼久保山本妙寺(沼久保)京都本法寺開山日親の弟子貞元院日悦によって開創
- 1470年2月2日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明2年|太田道灌、大井浅間神社(本中根)創祀
- 1470年2月2日-09:00|日本|長崎県壱岐市|文明2年|天山瑞石和尚が医王山三光寺を勝本浦坂[坂本触]に開く
- 1470年2月2日-09:00|日本|山口県周南市|文明2年|陶弘護により若山城が築かれる
- 1470年2月15日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|文明2年1月14日|西軍山名勢、鳥取尾山城の山名是豊を攻めるも敗北
- 1470年2月16日-01:00|フランス| |||ハンリック・デイクビアがメーゲンをギ・ド・ブリムに売却
- 1470年2月20日-09:00|日本|大阪府茨木市|文明2年1月19日|これより先、山名是豊ら摂津国に打入り三宅城を囲む/大内政弘軍これを大破し吹田城以下を攻略
- 1470年2月21日-09:00|日本|鹿児島県|文明2年1月20日|<死去>薩摩・大隅・日向国守護「島津忠国」(島津氏第9代当主、享年64)「島津忠国」⇒次男の「島津立久」が継ぐ (~文明6年4月1日(14740426)死去)
- 1470年3月3日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文明2年2月1日|<死去>三河国龍溪院開山盧嶽都
- 1470年3月11日-09:00|日本|福岡県|文明2年2月9日|<大内道頓の乱(安芸国、石見国、長門国)>筑前守護代大内道頓は細川勝元側につき山名宗全側の内政弘に反旗を翻がえし政弘の派遣した討伐軍と北九州各地で戦争状態をひきおこした
- 1470年3月12日 00:00|イギリス| |||国王エドワード4世が、スタンフォード付近の戦いで反乱軍を一蹴/反乱の指導者がウリック伯の陰謀が洩らされる
- 1470年3月14日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文明2年2月12日|京極方の多賀高忠、観音寺城馬場において高頼方を破る
- 1470年3月25日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバランド伯「ハンリー・パーシー」3代伯の子 (~14890428死去)
- 1470年3月25日 00:00|イギリス| |||<変更>ノサンバランド伯「ジョン・ベイル」パーシー家に返還⇒モンターギュー侯 (~14710414剥奪)
- 1470年4月 00:00|アイスランド/イギリス| |||<死去>アイスランド副王代行「ウーチェスター伯」ジョン・ティプトフト
- 1470年4月 00:00|アイスランド/イギリス| |||<就任>アイスランド副王代行「エドマント・サットン卿」 (~7月)
- 1470年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・ディ・フランチェスコ・ベルツィ」 「パオロ・ディ・アンジエロ・ディ・ソノ」
- 1470年4月2日-09:00|日本|山口県|文明2年3月|<大内道頓の乱(安芸国、石見国、長門国)>大内道頓、西軍・大内政弘に従っている重臣・陶弘護と仁保盛安を調略/仁保盛安が東軍に寝返る
- 1470年4月9日-09:00|日本|和歌山県|文明2年3月8日|応仁の乱の硬直化の様相のなか、南朝の遺臣たちが小倉宮王子を奉じて紀州で挙兵
- 1470年5月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「尹子雲」 (~14711204)
- 1470年5月15日-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「カール8世」62歳
- 1470年5月16日-01:00|スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王国摂政「大ステン・ストウレ」 (~14971006)
- 1470年5月26日-09:00|日本|山口県|文明2年4月26日|大内政弘に従っていた仁保盛安の子・十郎も東軍に寝返る
- 1470年5月30日-09:00|日本|京都府京都市右京区|文明2年4月30日|高山寺焼亡

1470迄 (1502件)

- 1470年5月31日-09:00|日本|滋賀県|文明2年5月|高頼の被官、島郷、望月、村島、服部、大原ら甲賀武士たち、多賀高忠の兵に敗れる。望月、村島、服部五郎左衛門、大原ら討ち取られ、佐治美作守為定も戦死
- 1470年6月18日-09:00|日本|山口県|文明2年5月19日|西軍の大内政弘の配下の仁保弘有と宗全の子・山名政豊が東軍に呼応
- 1470年6月19日-09:00|日本|大阪府茨木市|文明2年5月20日|東軍の野田泰忠や薬師寺与次らが摂津国茨木城を攻略
- 1470年6月21日-09:00|日本| ||文明2年5月22日|<死去>観世政盛(42歳)能役者
- 1470年6月29日-09:00|日本|青森県南津軽郡藤崎町|文明2年6月|陸奥の檜山安東氏安東政季(師季)が失地回復を図り南部領津軽に討入り、藤崎城を攻めるが失敗
- 1470年7月-01:00|イタリヤ/トルコ| ||オスマン朝メフメト2世がヴェネチア領エパイアを占領
- 1470年7月 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王「ウーチェスター伯爵ジョン・テイフト」(~10.18)
- 1470年7月12日-01:00|イタリヤ| ||ベネチア、ネグロポンテ陥落
- 1470年7月12日-09:00|日本|京都府京都市|文明2年6月14日|賀茂社、祇園社焼亡
- 1470年7月15日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ハントリー伯「アレクザンダー・ゴードン」
- 1470年7月15日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ハントリー伯「ジョージ・ゴードン」(~15010608死去)
- 1470年7月16日-09:00|日本|山口県下関市|文明2年6月18日|西軍の筑前国・麻生弘家の一族麻生家延が東軍・大内道頼に呼応し、弘家の被官を討つ
- 1470年7月28日-09:00|日本|愛知県津島市|文明2年7月|僧相阿、尾張国蓮台寺に一向上人坐像を造立
- 1470年8月11日-09:00|日本|大分県|文明2年7月15日|<死去>「大友親隆」(不明)前豊後守護
- 1470年8月15日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明2年7月19日|応仁・文明の乱で、西軍・大内政弘軍が勧修寺兵火に遭う
- 1470年8月15日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明2年7月19日|山科の若狭守護武田氏の陣が西軍大内正弘の軍に攻められ、重臣逸見繁経討死
- 1470年8月16日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文明2年7月20日|応仁・文明の乱で、西軍・大内政弘軍が醍醐寺兵火に遭う。三宝院焼亡
- 1470年8月19日-09:00|日本|京都府宇治市|文明2年7月23日|東軍・宇治の真木島氏、宇治大路氏ら、西軍に降伏
- 1470年8月21日-09:00|日本|京都府相楽郡南山城村|文明2年7月25日|大内政弘が南山城を制圧
- 1470年8月26日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳1年8月|チャンパのチャトアン国王が陸、海路から10万の軍勢で大越(現在のフエあたり)に侵攻を開始
- 1470年8月30日-09:00|日本|大阪府|文明2年8月4日|畠山義就は越智家栄らを従えて若江城と南の誉田城を包囲したが、いずれも落とせず撤退
- 1470年8月30日-09:00|日本|島根県|文明2年8月4日|<死去>出雲・隠岐・飛騨・近江国守護「京極持清」病死/享年64 →孫の「京極孫童子丸」が継ぐ(~文明3(1471)年死去)
- 1470年9月5日-09:00|日本|京都府京都市|文明2年8月10日|<就任>関白「二条政嗣」(~文明8年5月13日)
- 1470年9月13日 00:00|イギリス| ||ランカスター家とウリック伯派の連合軍がターマスとプリスマに上陸
- 1470年9月18日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ウイェウ公・ペーリャ公「フェルナンド」ウイェウ公
- 1470年9月18日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ウイェウ公・ペーリャ公「ジョアン」(~1472年死去)フェルナンドの息子
- 1470年9月29日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 連邦大法官「ヨーク大司教ジョージ・ネイル」(2期目~14710304以降)
- 1470年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ファブツィオ・デ・イ・ビエーレ・ネ・コルベッリ」「リッチョ・デ・イ・アンドレア」
- 1470年10月2日 00:00|イギリス| ||<退位>イングランド 王国国王「エドワード4世」(~14830409死去40歳)
- 1470年10月13日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「キルデア伯爵トマス・フィッツジェラルド」(4回目⇒1478年2月、副王~14780325)
- 1470年10月16日-09:00|日本|滋賀県|文明2年9月22日|京極氏の被官で東軍細川方の多賀高忠が西軍六角高頼に敗れ、近江国が西軍の勢力下になる
- 1470年10月18日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「キルデア伯爵トマス・フィッツジェラルド」(3回目~1471年4月)
- 1470年10月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|文明2年10月3日|京都の相国寺に落雷があり、七重の塔が焼失
- 1470年10月28日-09:00|日本|福井県|文明2年10月5日|畠山義就の養子政国(総州家)、義就の命により越前で殺害される
- 1470年10月30日 00:00|イギリス| ||<復位>イングランド 王「ヘンリ6世」(~14710411退位~14710521殺害される49歳)
- 1470年11月8日-04:00|ロシア| ||<就任>ウゴロト 共和国「ウゴロト 公」ミハイル・オリコウイチ(対立元首~14710315)
- 1470年11月23日-09:00|日本|滋賀県小城市|文明2年11月|中村は少弐の援軍のくる前にと、岩部の陣へ討って出た/中村の必死の奮戦も土民の蜂起と少弐の後楯に意気があがる岩部軍には勝てず、大将中村は乱戦に討死し、中村軍は牛頭城に逃げ帰った
- 1470年11月23日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|文明2年11月|多賀高忠、蒲生郡八丁原において、高頼軍を破る
- 1470年12月16日-01:00|イタリヤ| ||<死去>カラブリア公(ホルリ王の推定相続人の称号)「ジョヴァンニ」兼ローヌ公「ジャン2世」
- 1470年12月16日-01:00|フランス| ||<死去>ローヌ(ロートリンゲン)公「ジャン2世」46歳
- 1470年12月16日-01:00|フランス/イタリヤ| ||<即位>ローヌ(ロートリンゲン)公・カラブリア公(ホルリ王の推定相続人の称号)「ニコラ1世」ジャン2世の息子(~14730727死去)
- 1470年12月21日 00:00|サントメ・プリンセ/ポルトガル| ||聖トマスの日にポルトガルのペドロ・エスコバルがサントメ島発見領有宣言

1470迄 (1502件)

1470年12月25日-01:00 | イタリア | || | ベネチア, ミラノとフィレンツェに25年間の同盟更新、パドヴァ王国も加入

1470年12月28日-09:00 | 日本 | 奈良県 | 文明2年12月6日 | 畠山政長吉野朝の余裔日尊を弑す